

令和 5 年度
区政に関する区民アンケート調査
結果報告書

令和 6 年 3 月
大阪市生野区役所

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収結果	1
4. 回答者数と内訳	1
5. 調査項目	2
6. 報告書の見方	2
第2章 調査結果	3
1. 回答者の属性について	3
2. 防災・防犯について	8
3. 地域福祉について	28
4. 人権・多文化共生について	48
5. まちの魅力・シティプロモーションについて	60
6. 子育て・教育について	89

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

大阪市生野区では、市民に身近な区政について、区の特性を活かした施策・事業に取り組んでいるところである。

この取組の成果を測る一つの手段として、サイレント・マジョリティを含めた多様な区民の意見やニーズを把握し、区政運営のより一層の充実を図ることを目的に実施する。

2. 調査方法

調査方法： 調査票を調査対象者に送付し、返信用封筒により回収・「大阪市行政オンラインシステム」による回答

調査対象者： 無作為抽出した生野区に住民登録がある 18 歳以上の者（外国籍住民を含む）1,300 名

調査実施期間：令和 5 年 11 月 28 日～令和 5 年 12 月 15 日

3. 回収結果

総配布数	総回収数	有効回収数	有効回収率
1,300	454	454	34.9%

※有効回収数：回収数の内、集計に使用可能なアンケートを有効回収数とする。

4. 回答者数と内訳

		性別			
		合計	男	女	その他
年 代 別	合計	454	190	262	2
	18・19 歳	3	2	1	0
	20～29 歳	30	11	19	0
	30～39 歳	34	16	18	0
	40～49 歳	55	17	37	1
	50～59 歳	80	35	45	0
	60～69 歳	78	41	37	0
	70～79 歳	99	38	61	0
	80 歳以上	75	30	44	1

5. 調査項目

- (1) 回答者の属性について 4 問
- (2) 防災・防犯について 9 問
- (3) 地域福祉について 5 問
- (4) 人権・多文化共生について 5 問
- (5) まちの魅力・シティプロモーションについて 14 問
- (6) 子育て・教育について 4 問

6. 報告書の見方

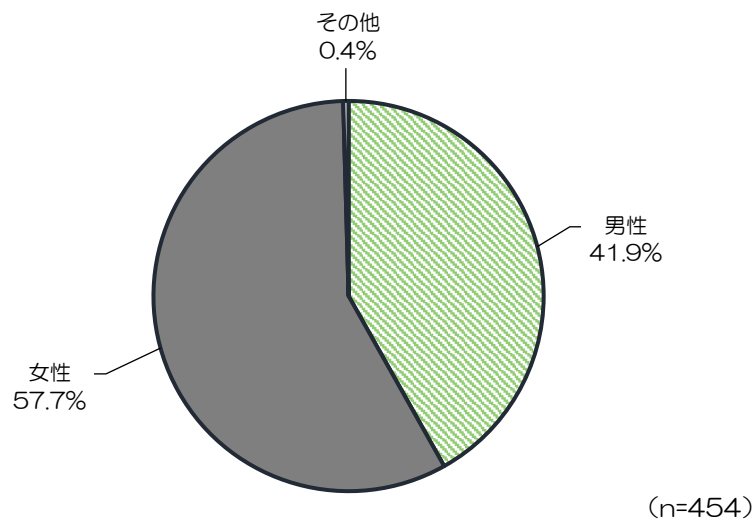
- (1) 質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。
- (2) クロス集計とは複数の質問を組み合わせることで集計することにより、性別・年代別などのグループごとの傾向を明らかにするための集計方法です。
- (3) 集計結果は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- (4) 複数回答可の場合、回答者数に対する回答の比率を表しているため、合計値が 100.0%にならないことがあります。

第2章 調査結果

1. 回答者の属性について

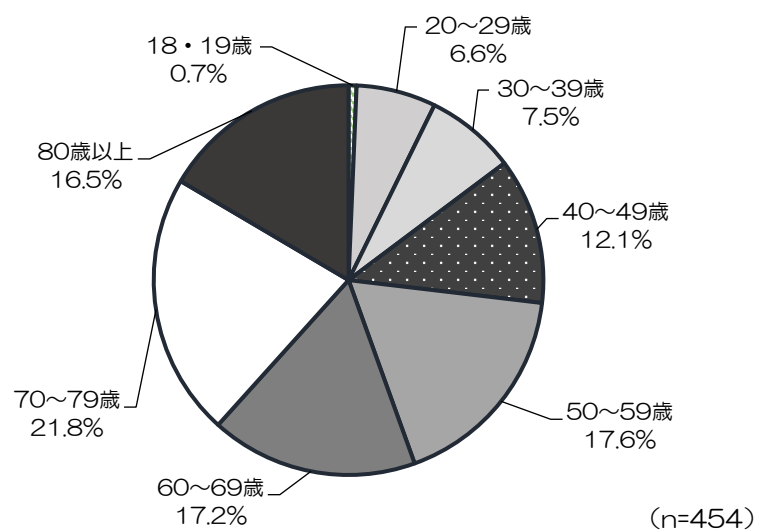
問1 あなたの性別をお答えください。

単一回答



問2 あなたの年齢をお答えください。

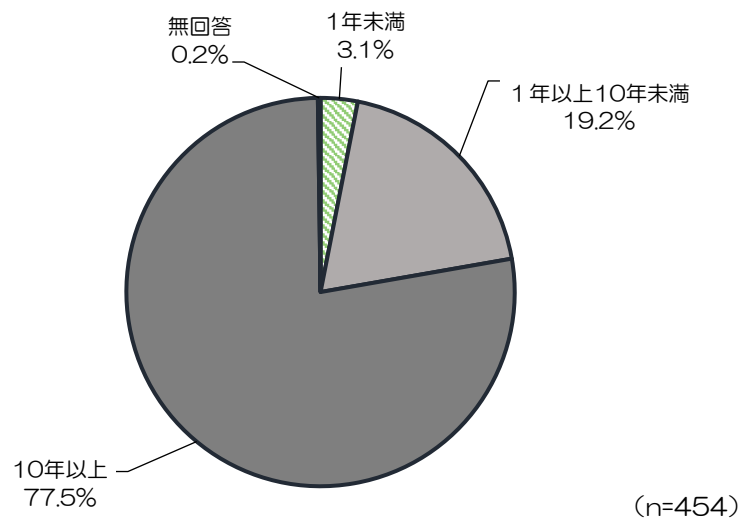
単一回答



問3

あなたが現在の住所にお住まいになってからの年数をお答えください。

単一回答

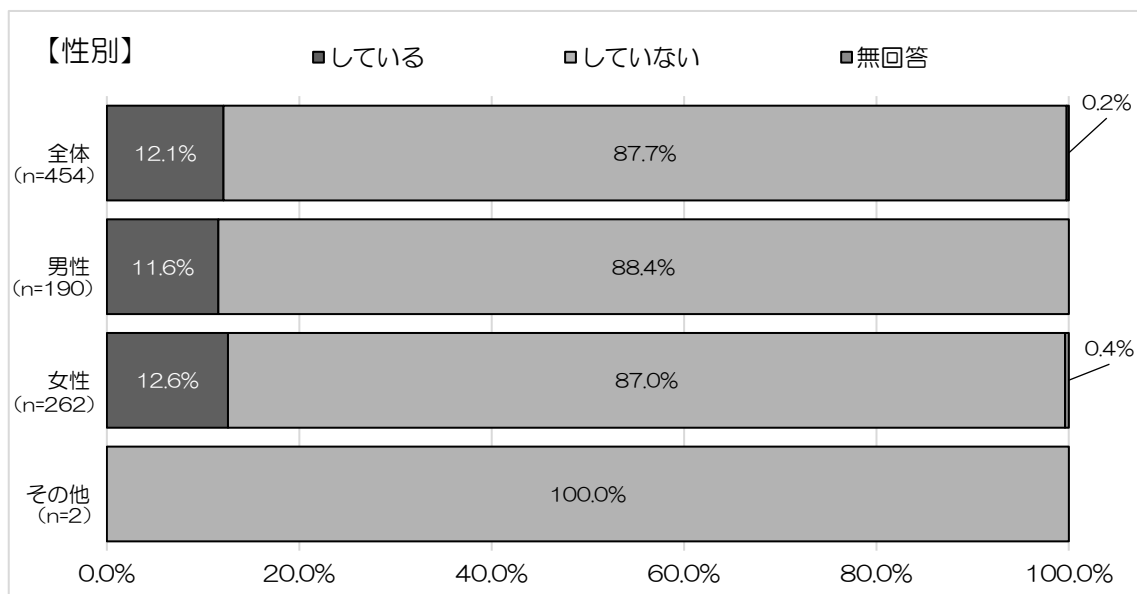


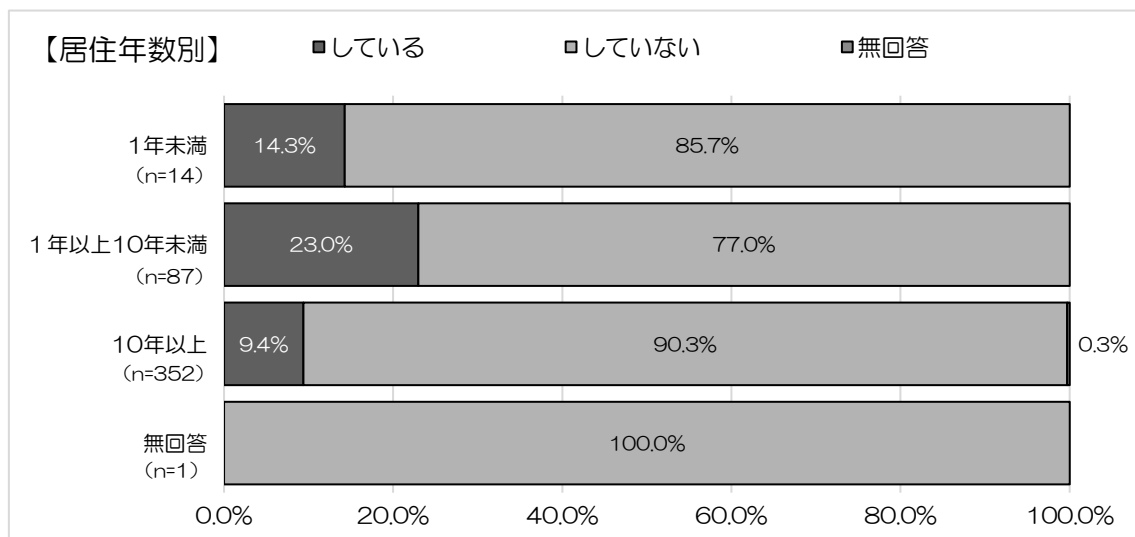
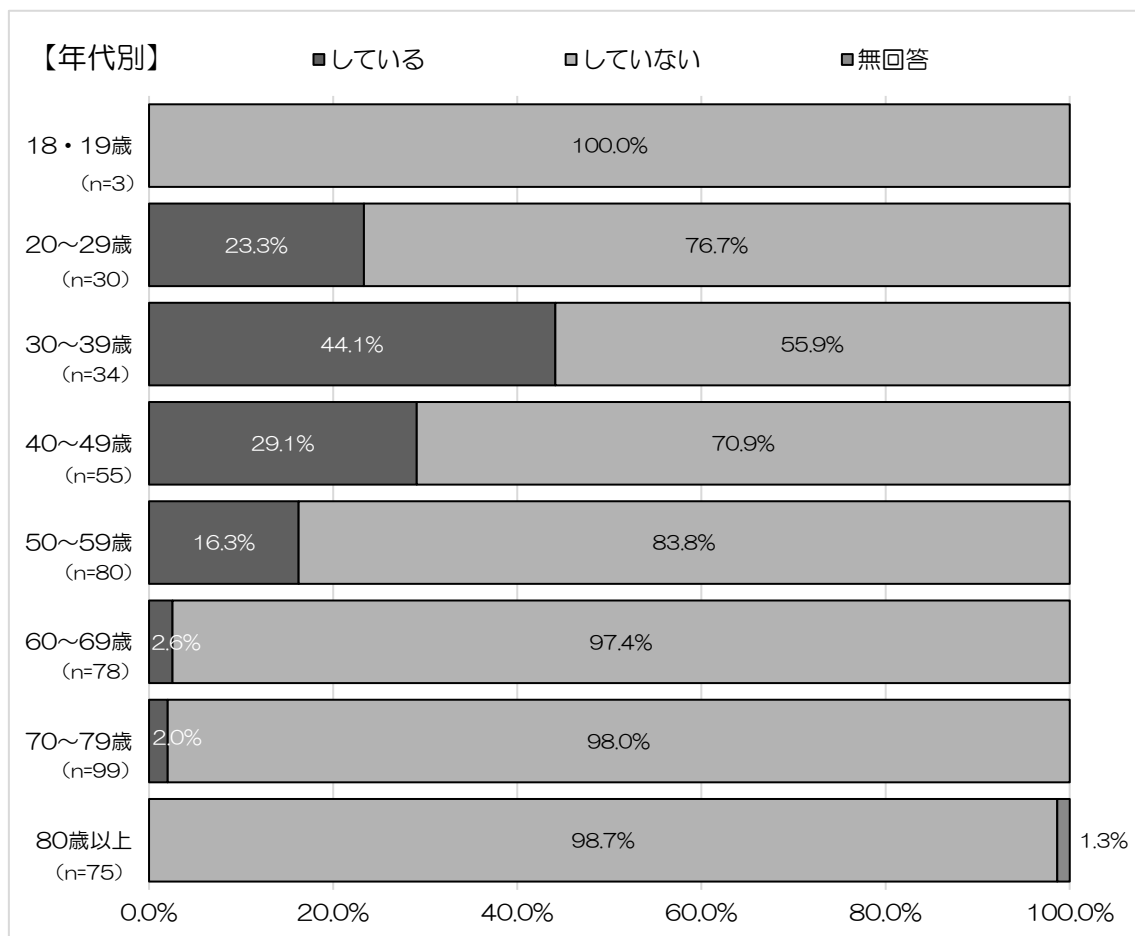
問4

あなたは、現在、中学生以下のお子さまの子育てをしていますか。

複数回答

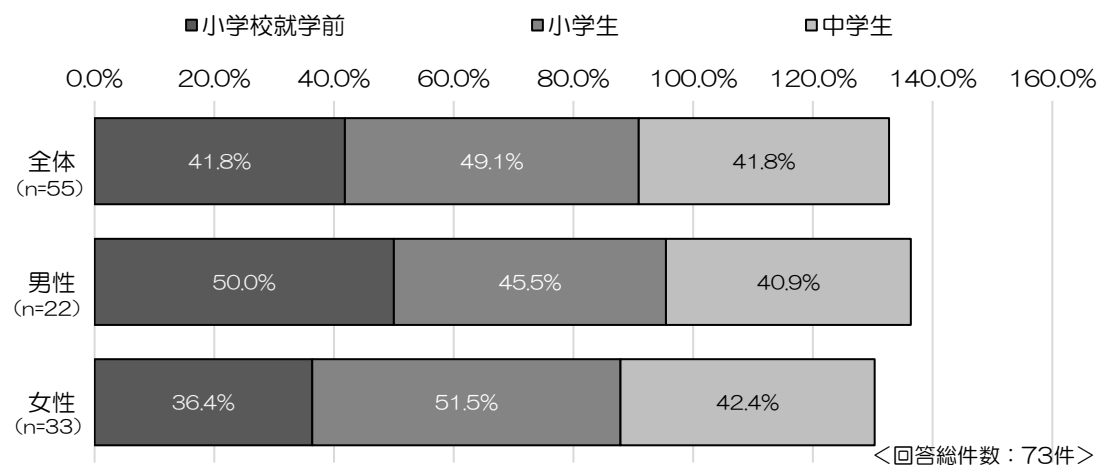
「している」と回答された方の割合は 12.1%で、「していない」と回答された方の割合は 87.7%でした。



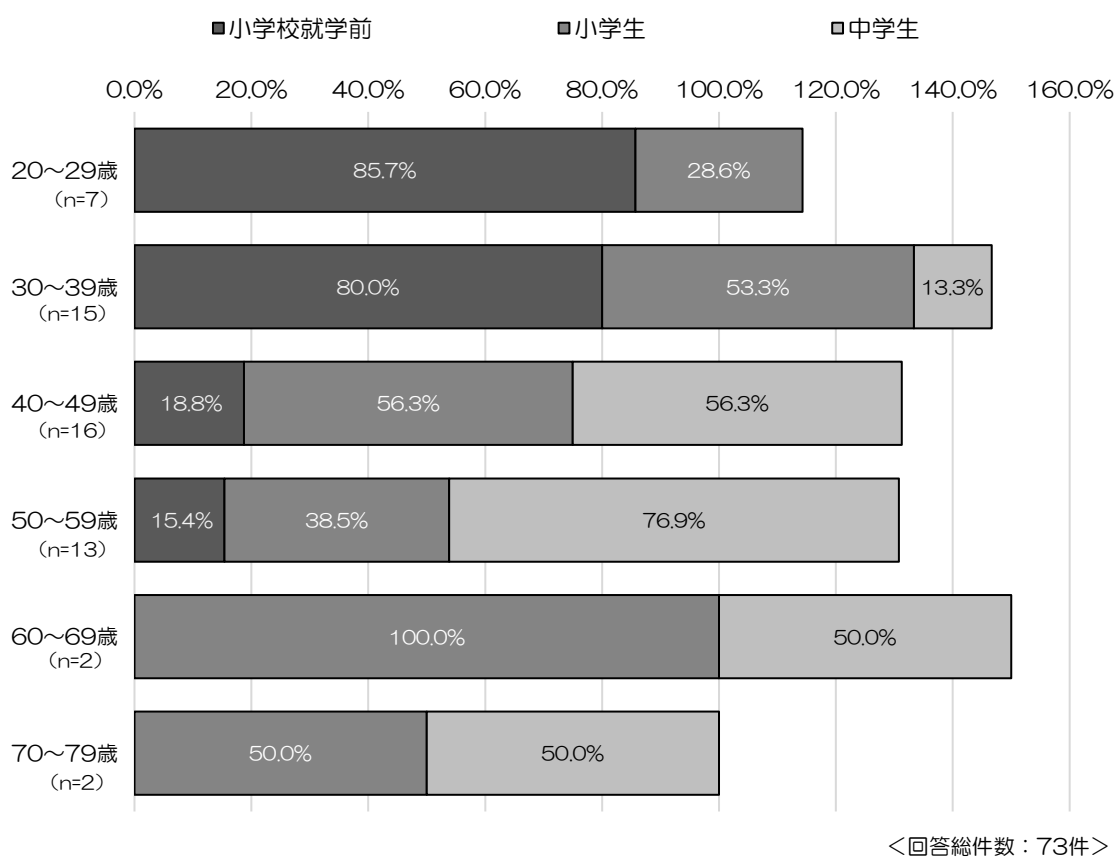


また、「している」と回答された方のうち、「小学校就学前」のお子さまがいる方は 41.8%で、「小学生」のお子さまがいる方は 49.1%、「中学生」のお子さまがいる方は 41.8%でした。

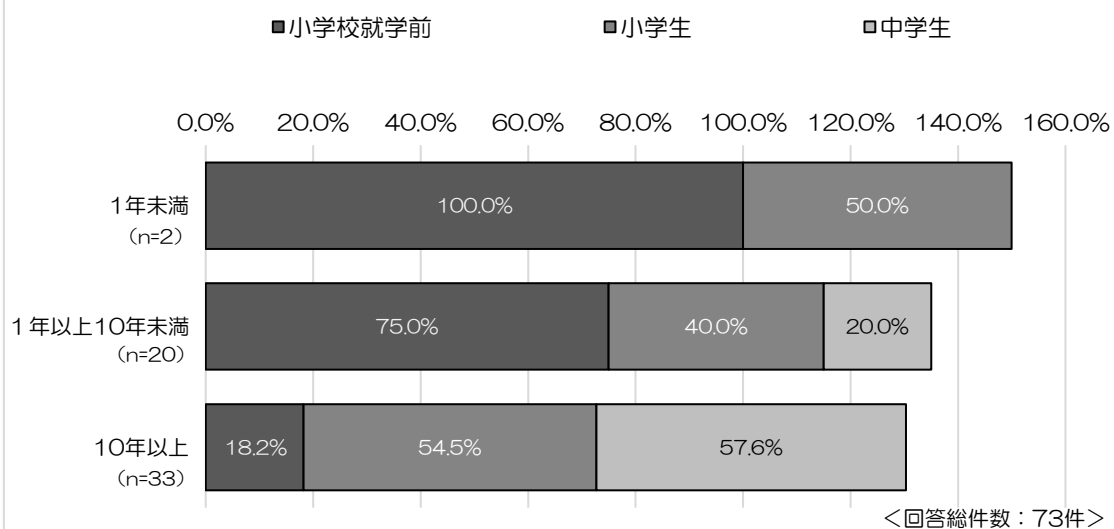
★子育てしているお子さまの対象年齢【性別】



★子育てしているお子さまの対象年齢【年代別】



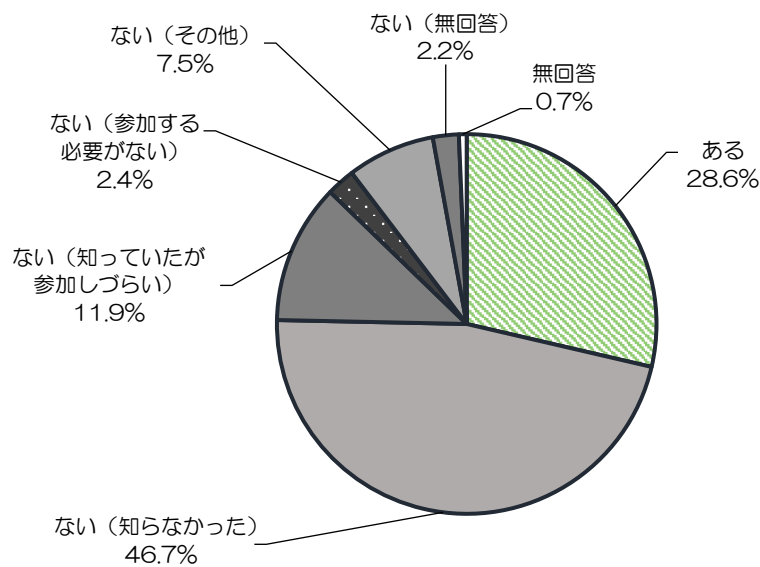
★子育てしているお子さまの対象年齢【居住年数別】



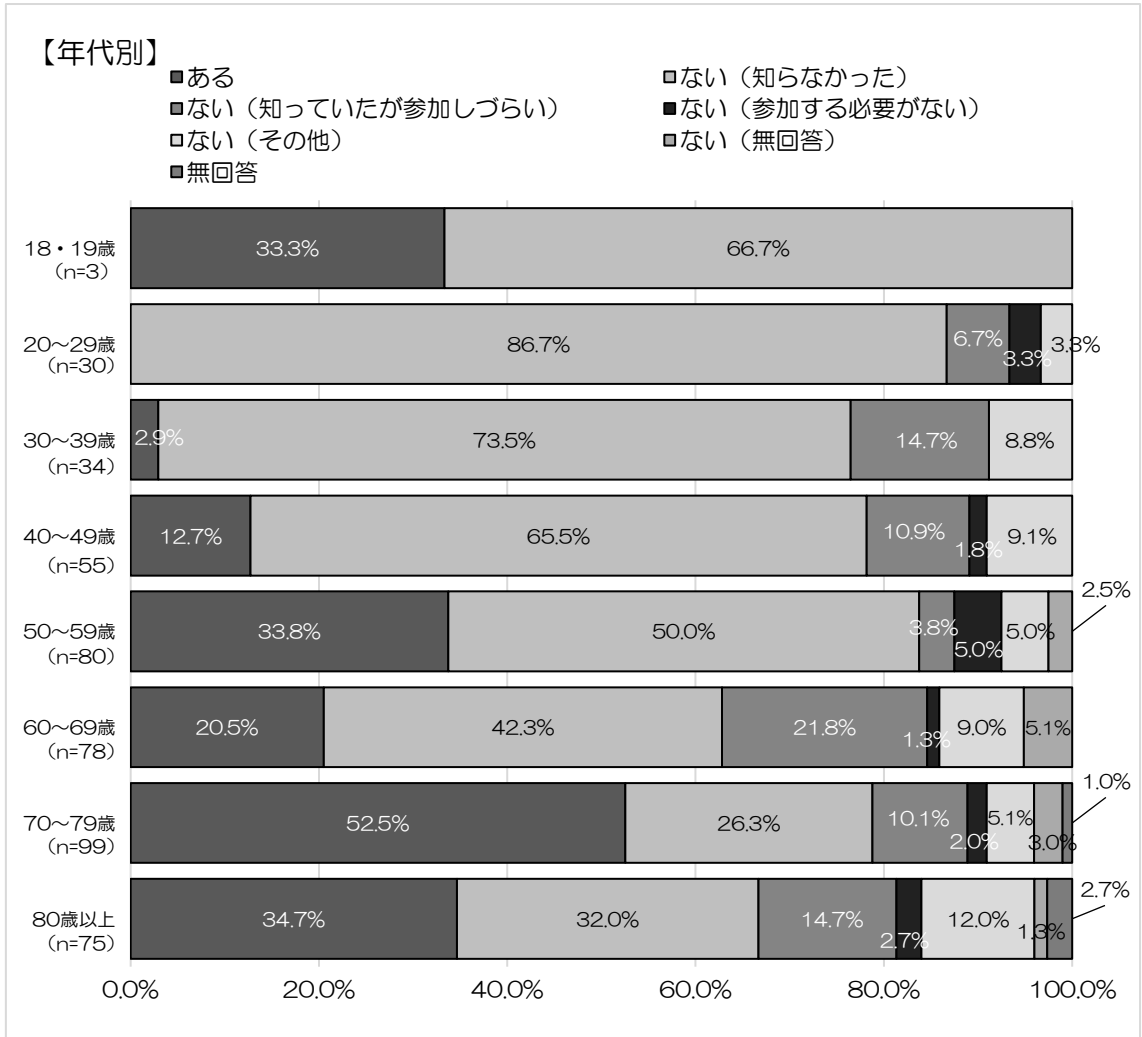
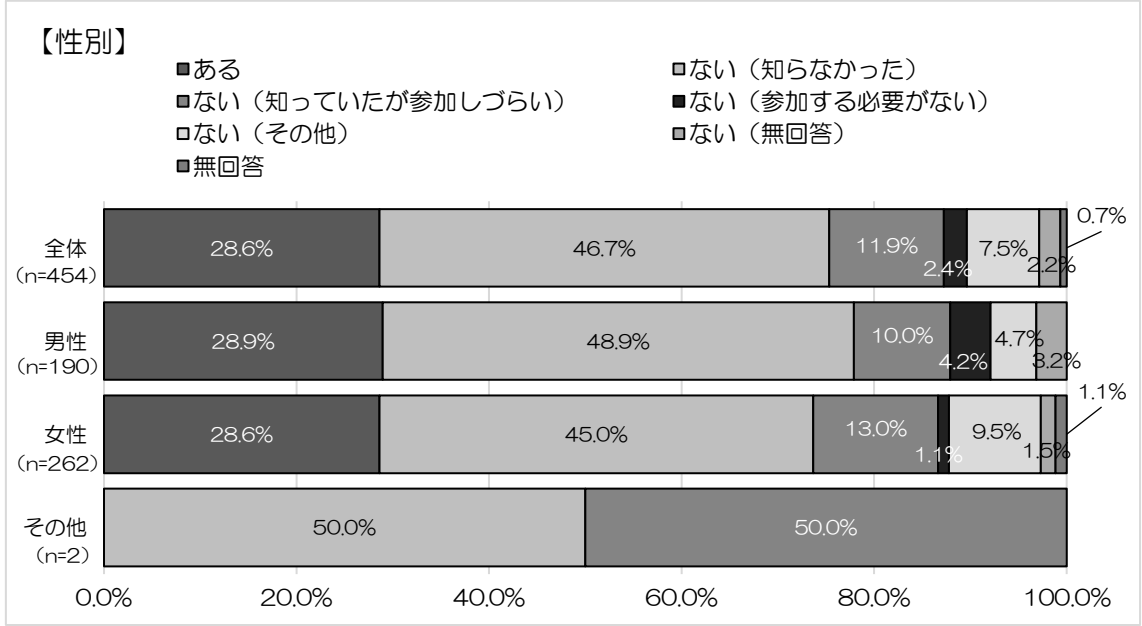
2. 防災・防犯について

問5	あなたは、地域で行っている自主防災訓練に参加したことはありますか。また、参加したことがない方は、どうして参加しないのですか。	単一回答
----	--	------

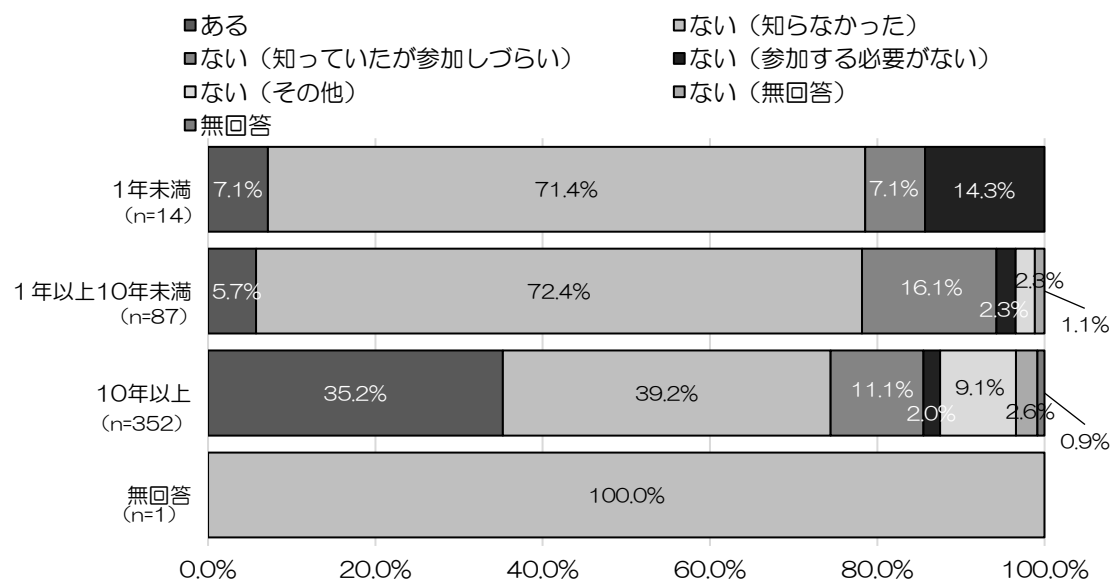
全体では、「ある」が28.6%、「ない」が70.7%でした。「ない」の中では「知らなかった」が46.7%で最多でした。年代別では「70歳～79歳」の「ある」が52.5%と他の年代と比べて高い傾向となっています。また居住年数別では、「10年以上」の「ある」が35.2%となり、居住年数が長いと自主防災訓練に参加する割合が高くなる傾向が見られました。性別では男性の割合が若干多くなっています。



(n=454) +



【居住年数別】

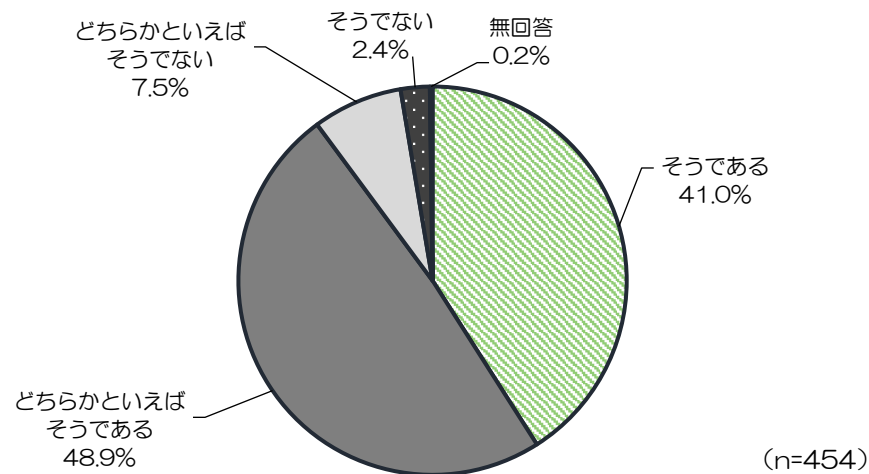


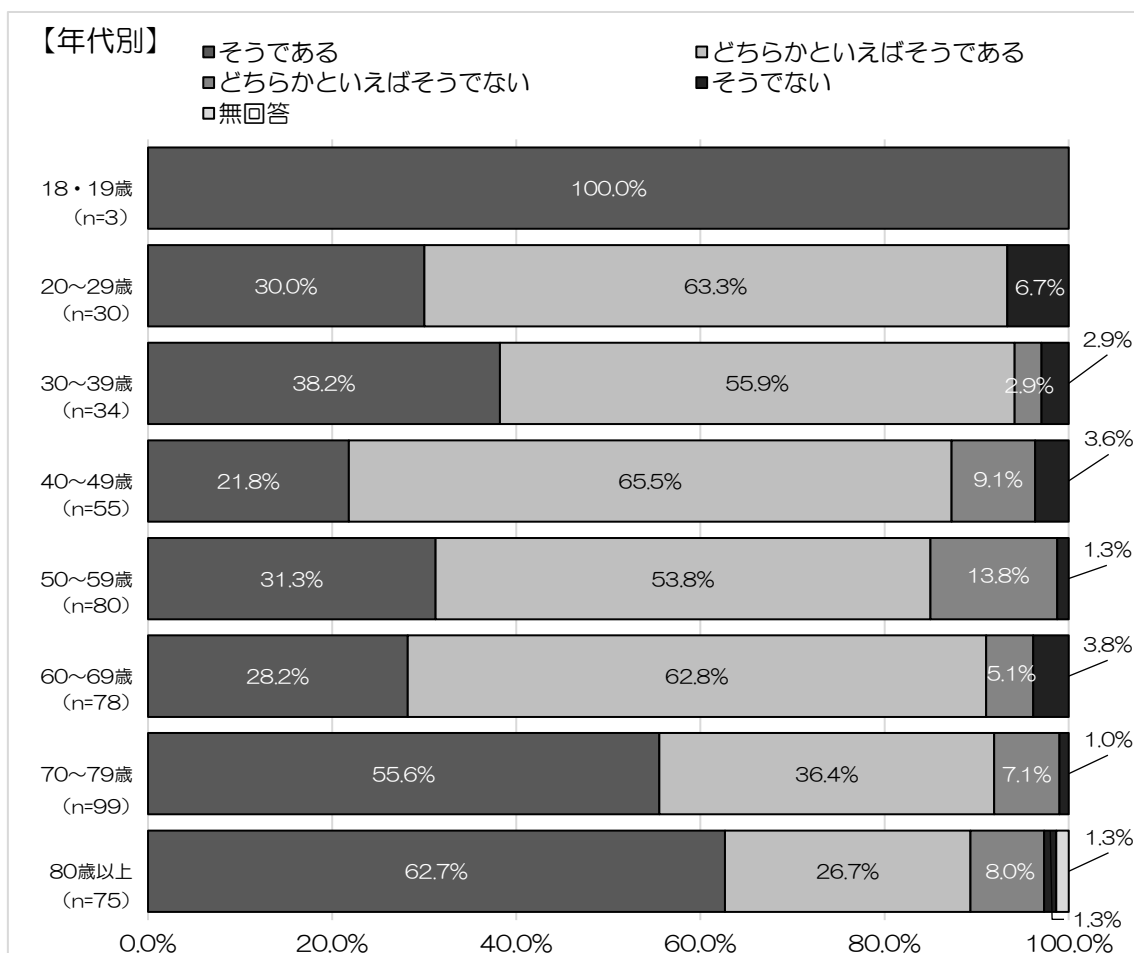
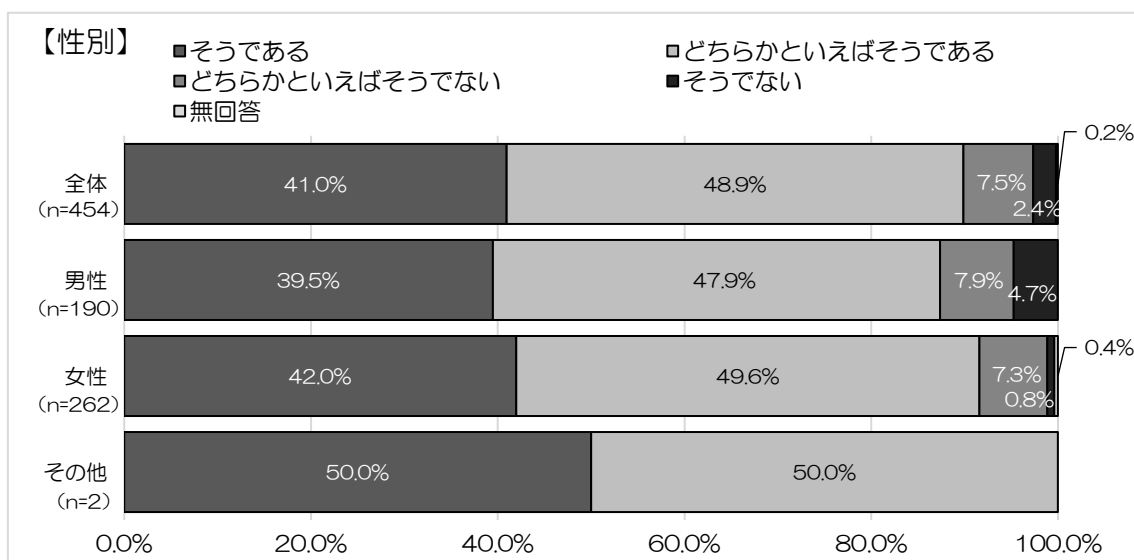
問6

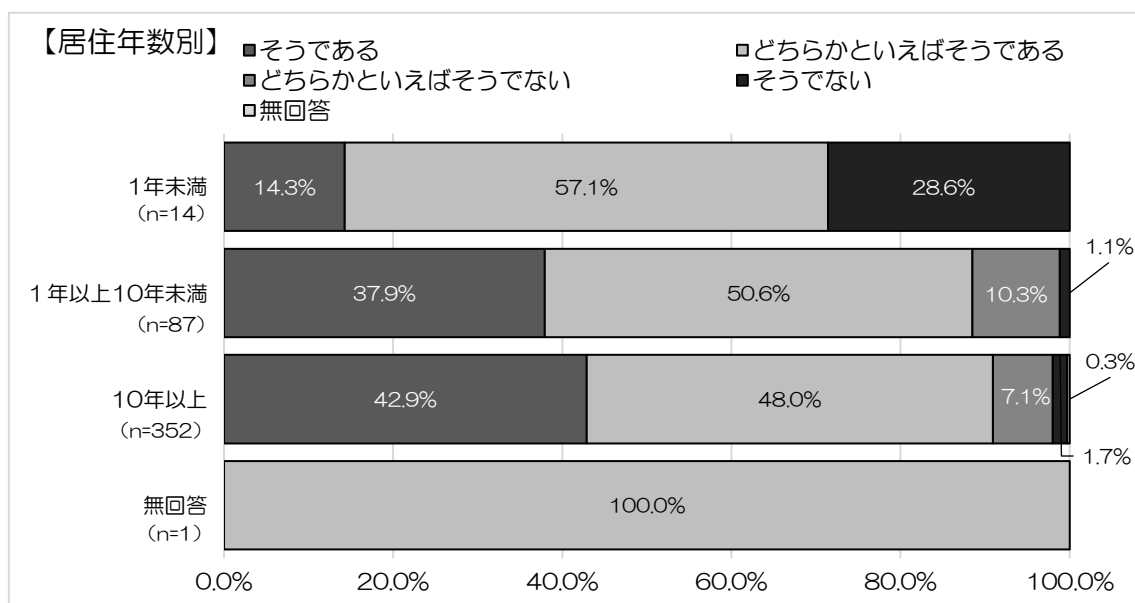
あなたは、地域での日頃からの防災訓練などの防災活動が重要だと感じますか。

単一回答

全体では、「どちらかといえばそうである」が 48.9%と最も高く、次いで「そうである」が 41.0%の順となっており、両方を合わせた肯定的意見の割合は 89.9%と、大部分の方が日頃からの防災活動は重要と感じています。性別では、「そうである」と回答された男性の割合は 39.5%、女性は 42.0%となり、女性の方が高い割合を示しました。年代別では、「80 歳以上」の「そうである」が 62.7%と他の年代と比べて高い傾向となっています。居住年数別では、「そうである」と回答された方の割合は「10 年以上」の方が 42.9%と最も多くなっており、日頃からの防災活動が重要だと感じる傾向が見られました。

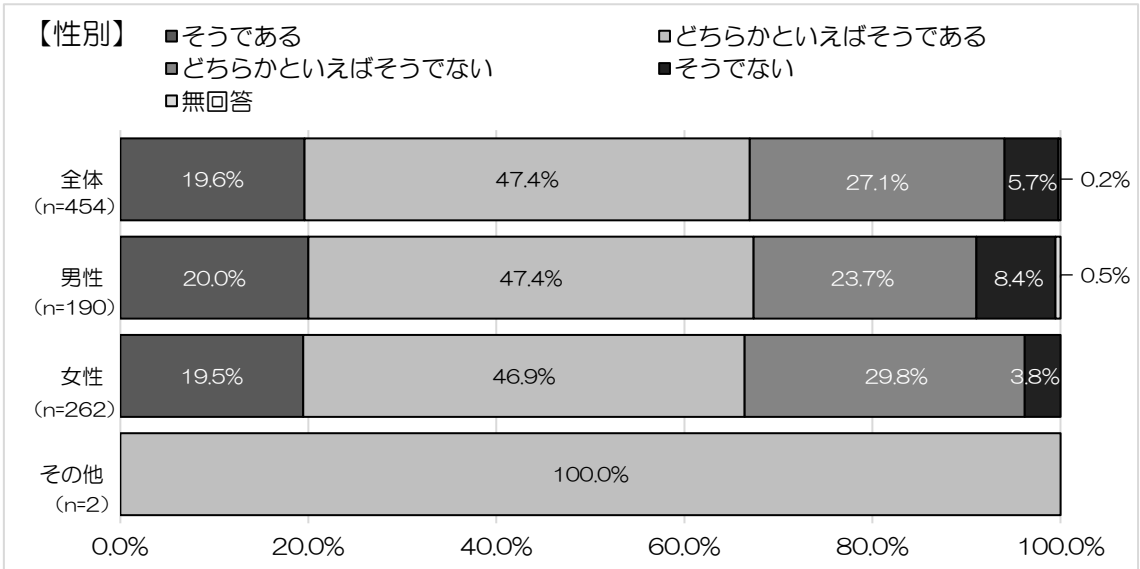
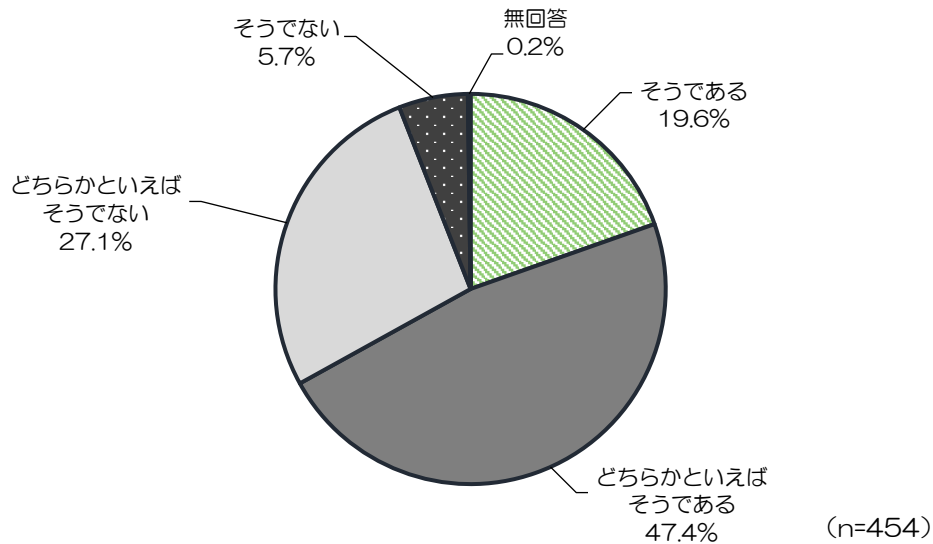


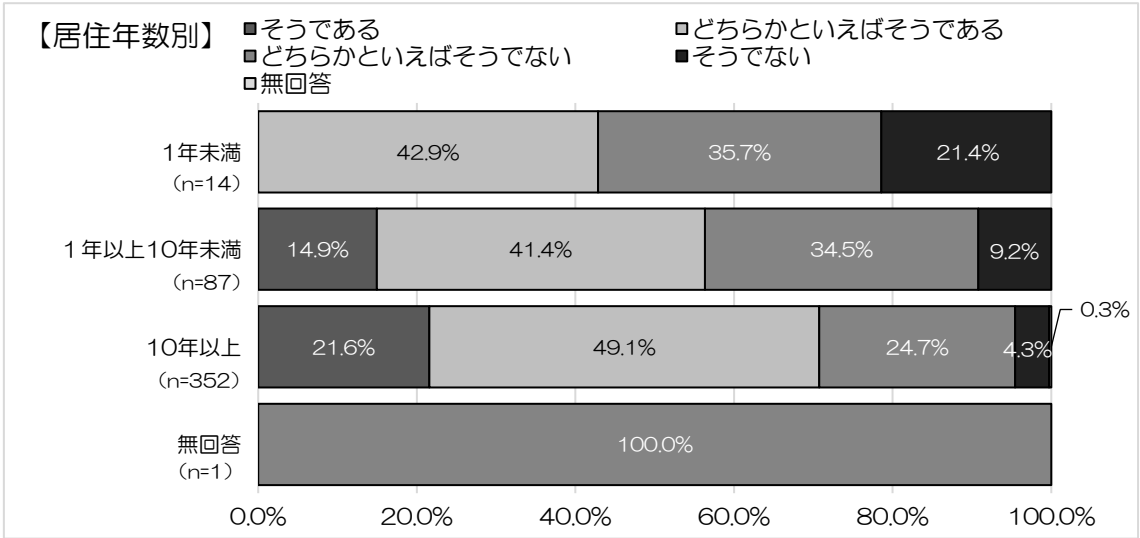
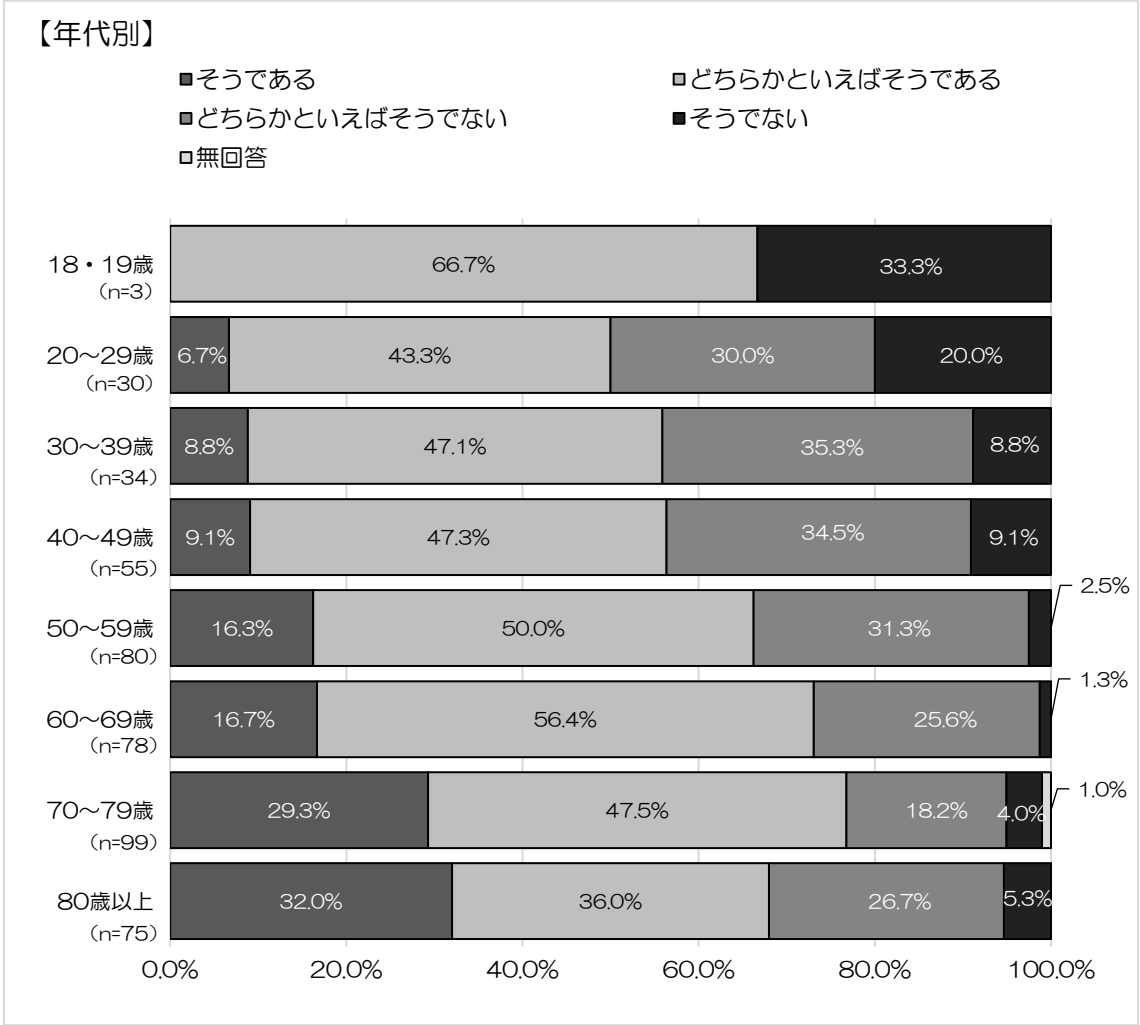




問7	あなたは災害発生時にどう行動したらいいか日頃から意識していますか。	単一回答
----	-----------------------------------	------

全体では、「どちらかといえばそうである」が47.4%と最も高く、「そうである」と回答された方の割合19.6%を合わせた肯定的意見の割合は67.0%となりました。年代別では、肯定的意見に回答された方の割合が最も高かったのは「80歳以上」で68.0%となりました。居住年数別では、肯定的意見を回答された「1年未満」の方の割合は42.9%でしたが、「10年以上」では70.7%となり、居住年数が長いと住民の防災意識が高まっていると感じているとの傾向が見られました。性別では、男女とも大きな差異は見られませんでした。

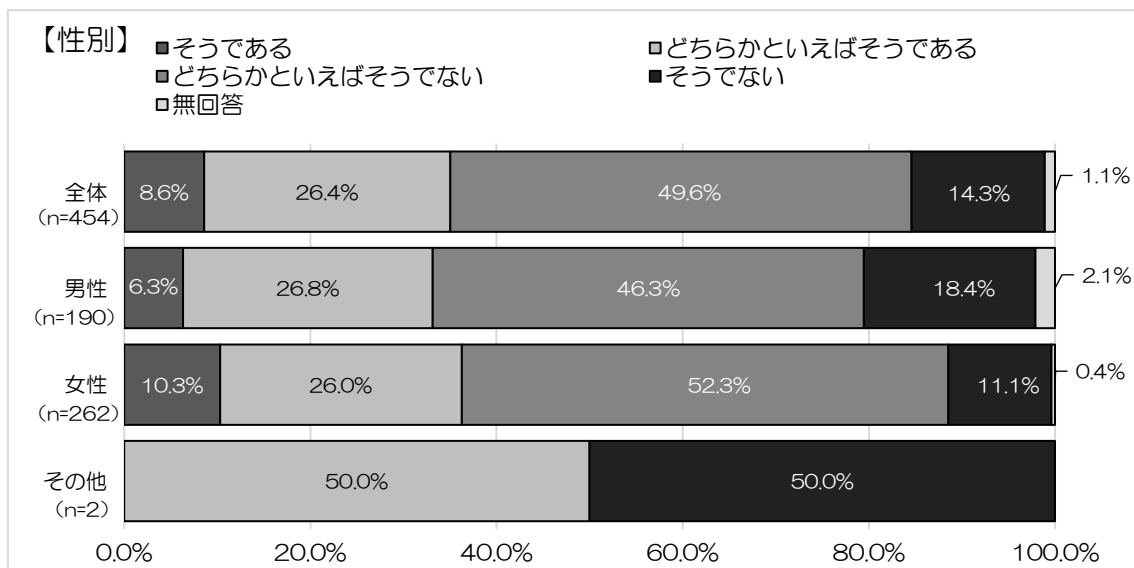
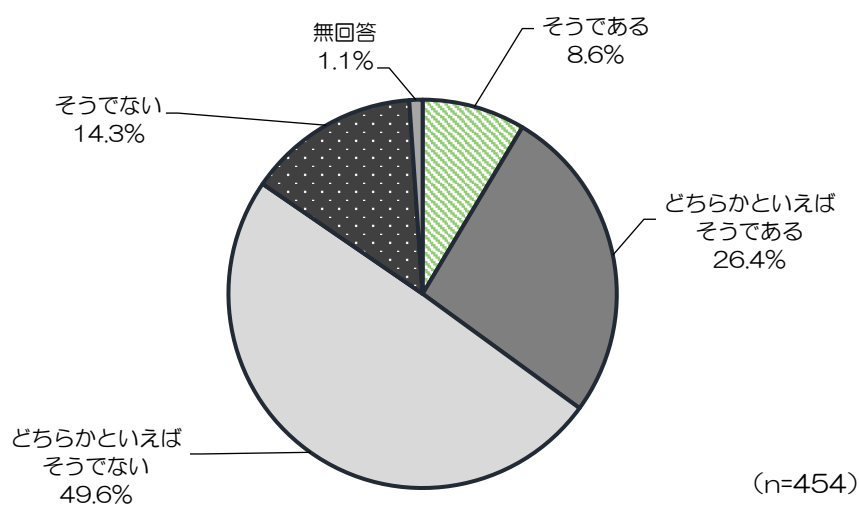




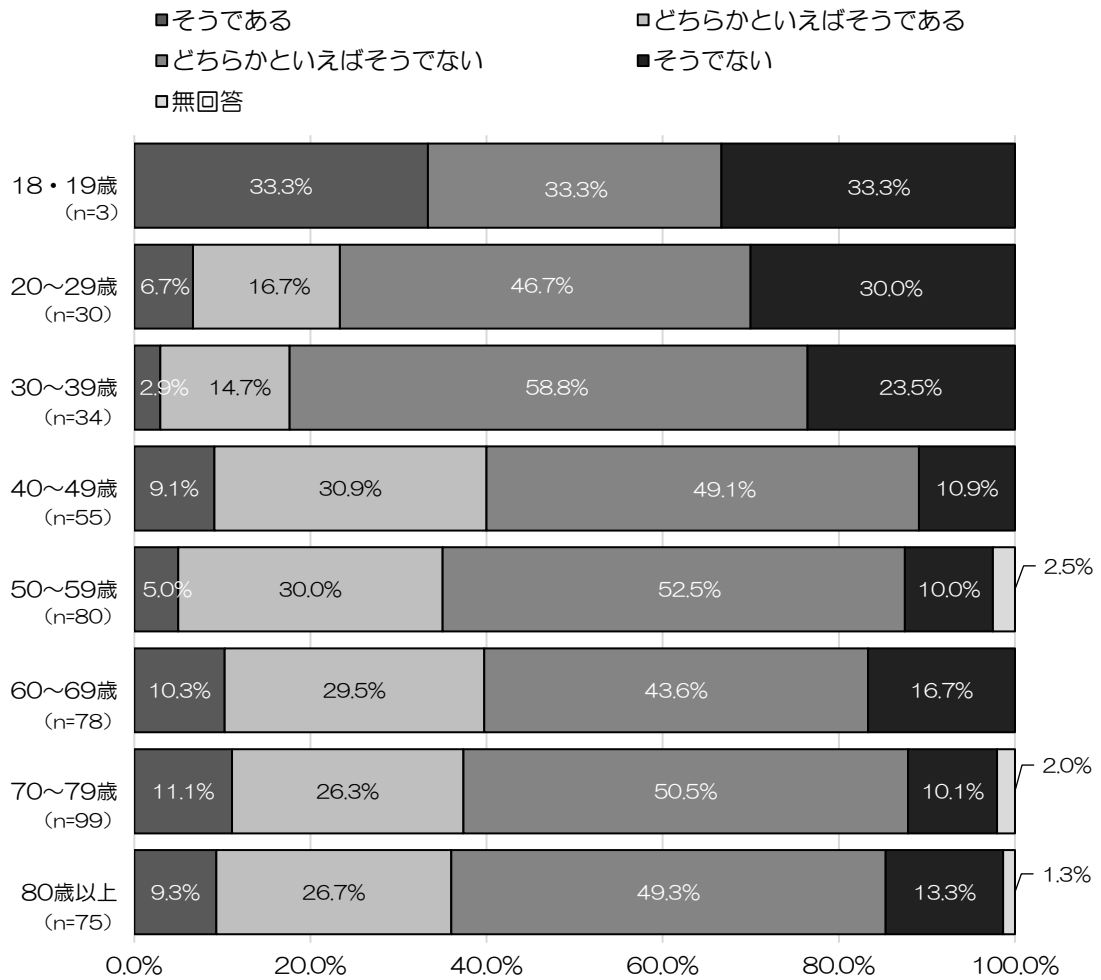
問8 あなたは、住民の防災意識が高まっていると感じますか。

単一回答

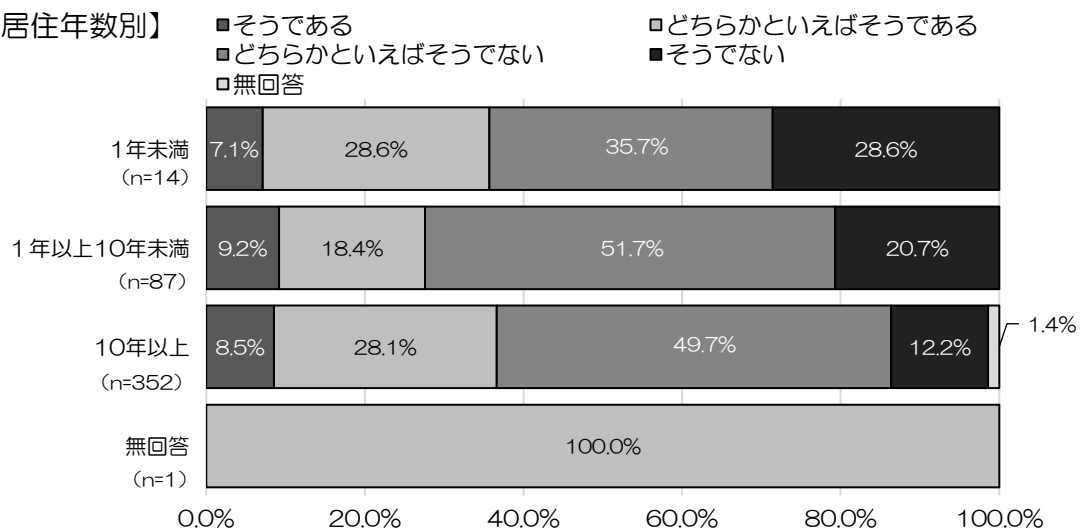
全体では、「どちらかといえばそうでない」が49.6%と最も高く、「そうでない」と回答された方の割合14.3%を合わせた否定的意見の割合は63.9%となりました。性別では女性に肯定的な意見が多く36.3%でした。年代別では30代までと40歳以上で差があり、40歳以上で「どちらかといえばそうである」割合が高くなっています。居住年数別では肯定的な意見は「1年未満」と「10年以上」に多く、それぞれ35.7%、36.6%でした。また「そうでない」という回答は居住年数が長くなるとともに減っています。



【年代別】



【居住年数別】



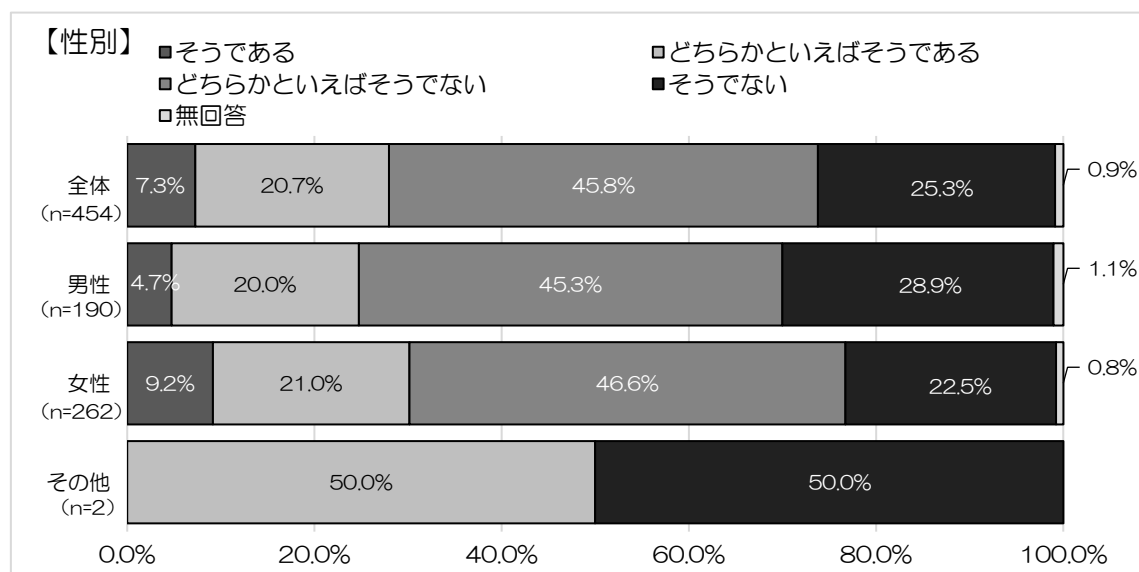
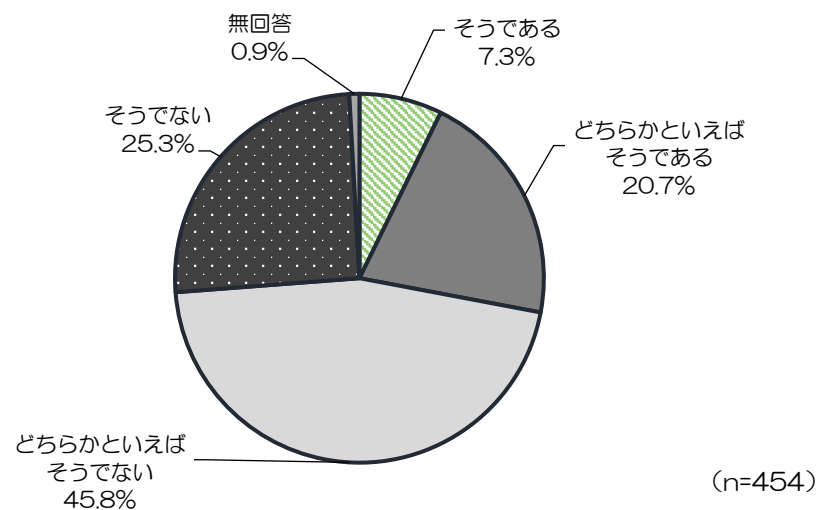
問9

あなたは、住民同士が協力して、防災に向けて「自分たちの地域は自分たちで守る」活動をしていると感じていますか。

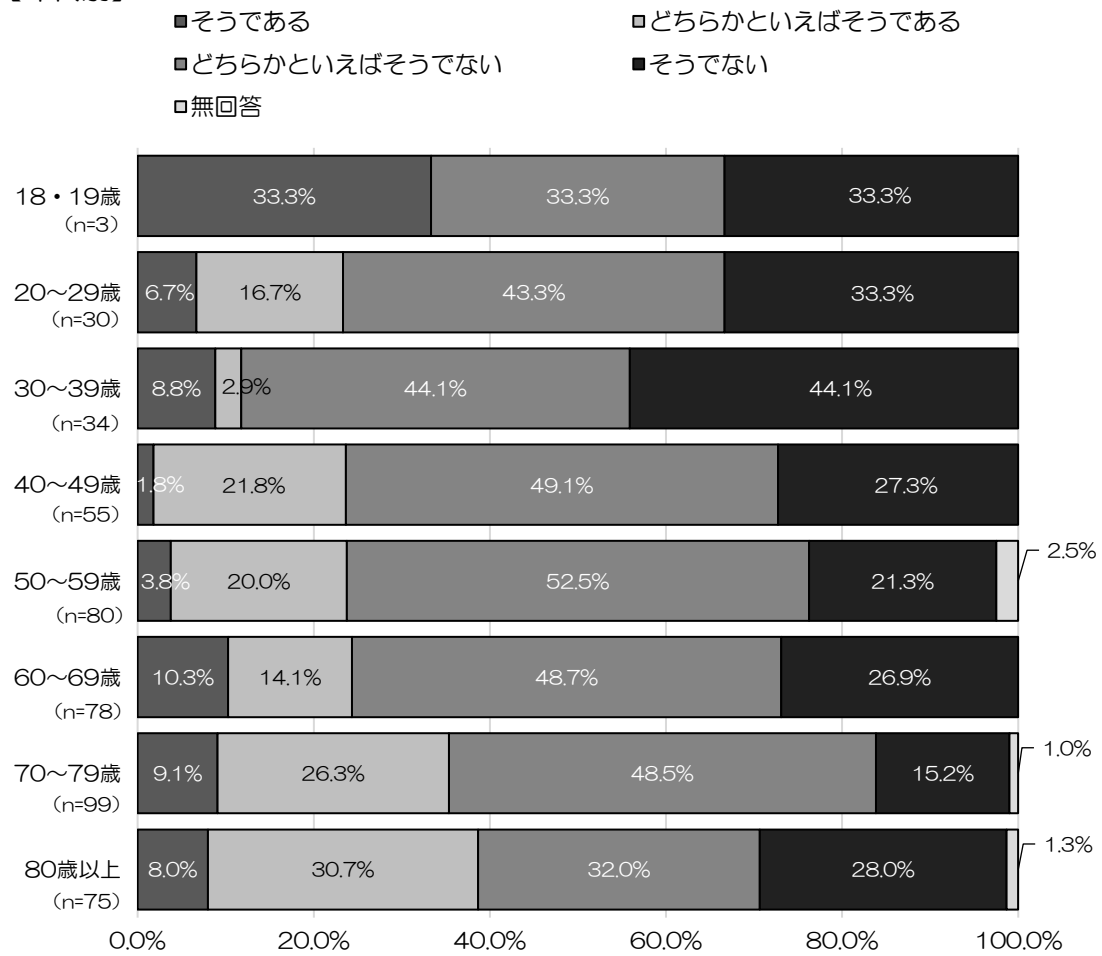
単一回答

全体では、「どちらかといえばそうでない」が45.8%でした。「そうでない」と回答された方の割合25.3%を合わせた否定的意見の割合は71.1%となりました。性別では肯定的意見に回答されたのは男性が24.7%、女性は30.2%で女性が多い結果となりました。

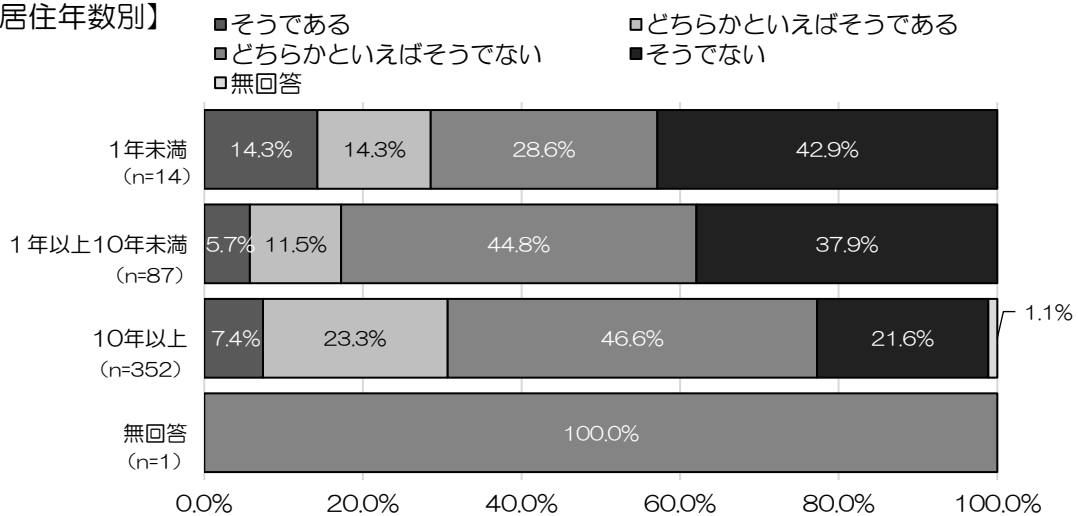
年代別では、肯定的意見に回答された方の割合が最も高かったのは「80歳以上」で38.7%となりました。居住年数別では、肯定的意見を回答されたのは「1年未満」と「10年以上」の方が多くそれぞれ28.6%、30.7%でした。また「そうでない」という回答は居住年数が長くなるとともに減っています。



【年代別】



【居住年数別】

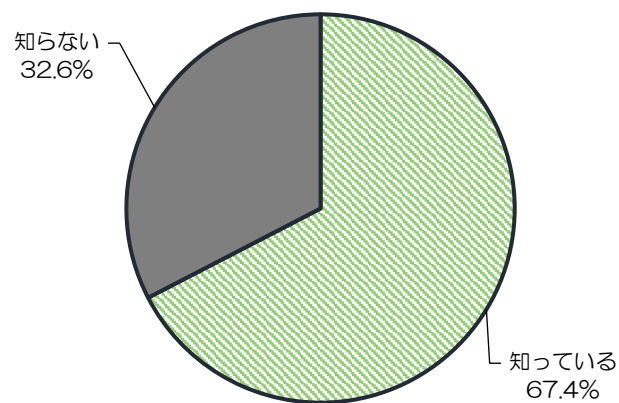


問 10

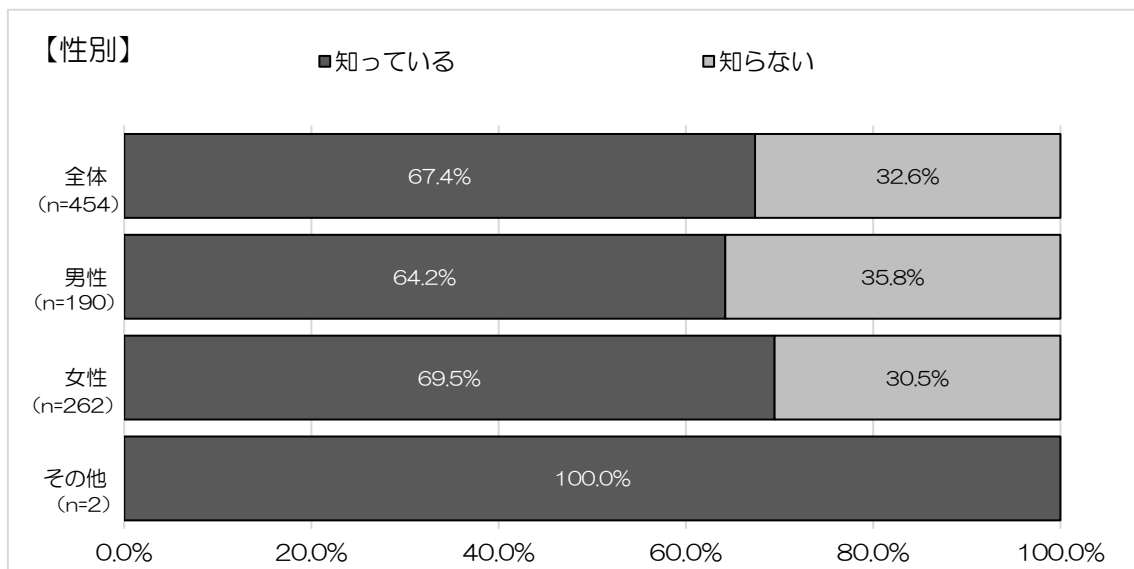
あなたは、市民防災マニュアル、区や地域の防災マップ・水害ハザードマップ、地域防災計画などがあることを知っていますか。

単一回答

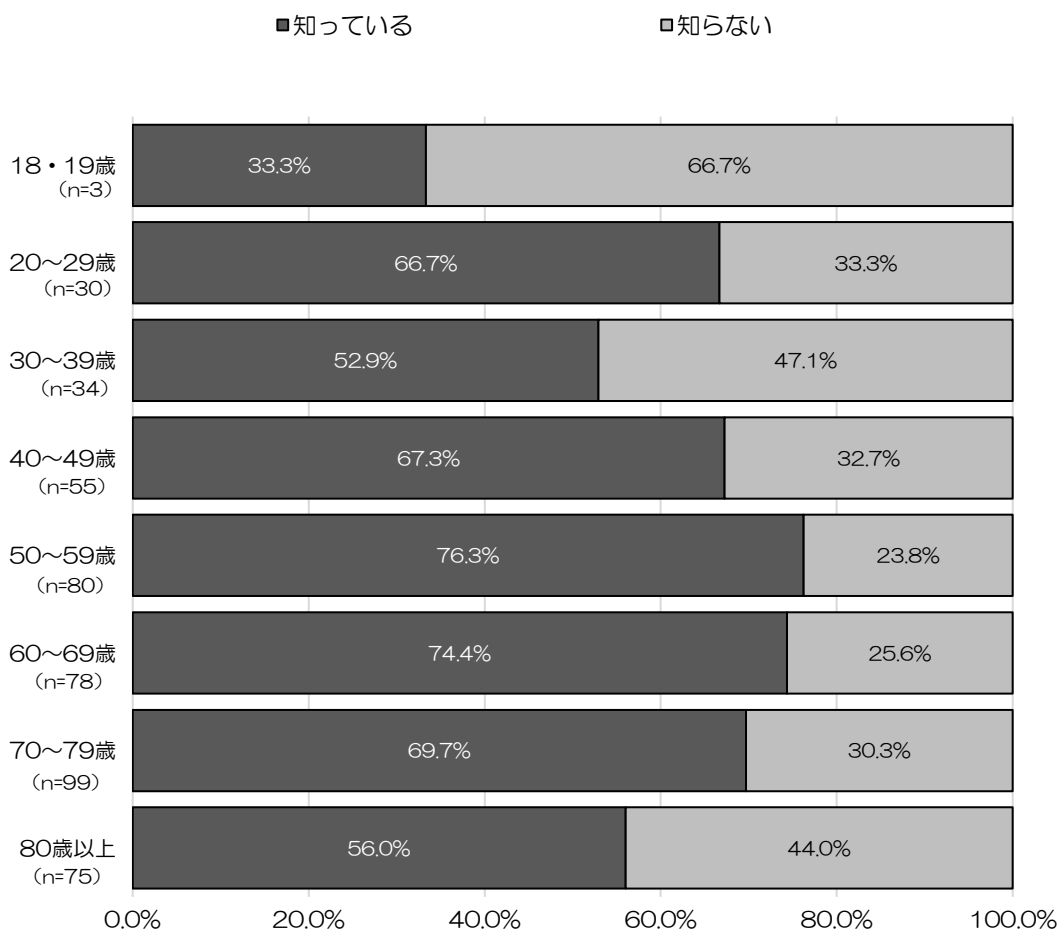
全体では「知っている」と回答された方の割合は 67.4%、「知らない」は 32.6%と「知っている」と回答された割合は3分の2を超えていました。性別では男性が64.2%、女性が69.5%知っており、女性がやや上回りました。年代別、居住年数別でははっきりとした傾向は見られませんでした。



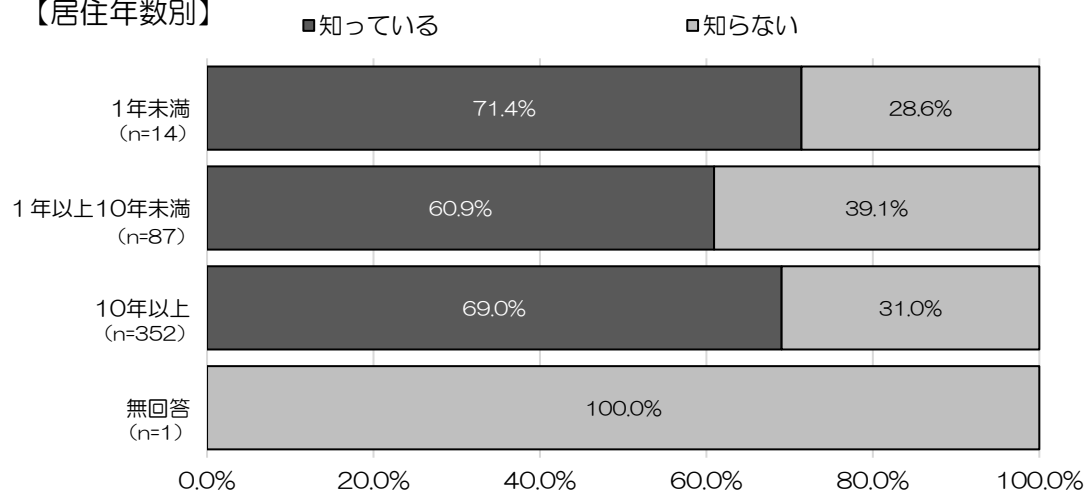
(n=454)



【年代別】



【居住年数別】

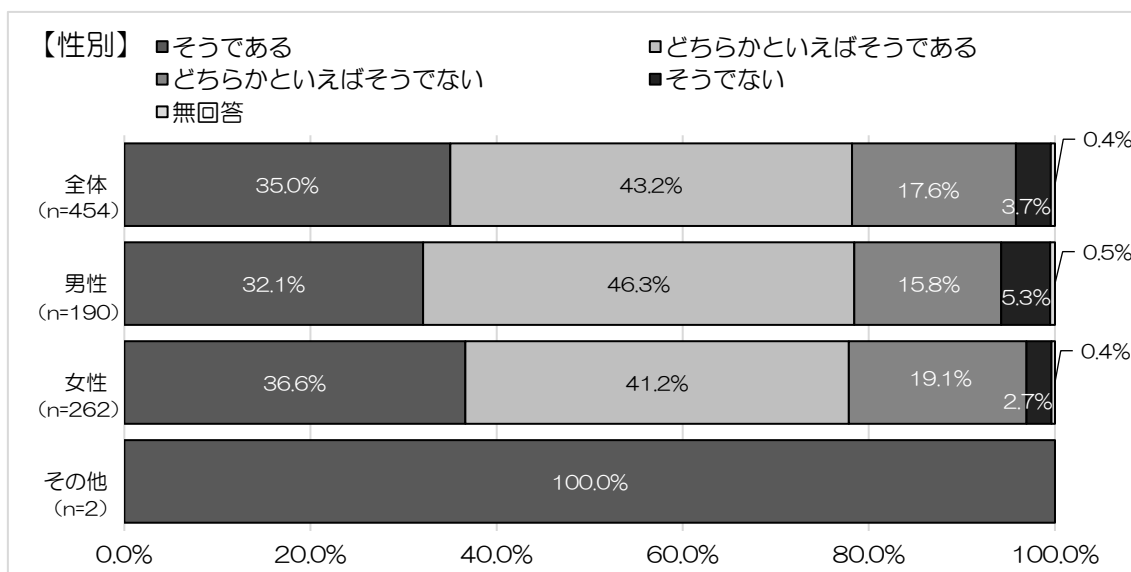
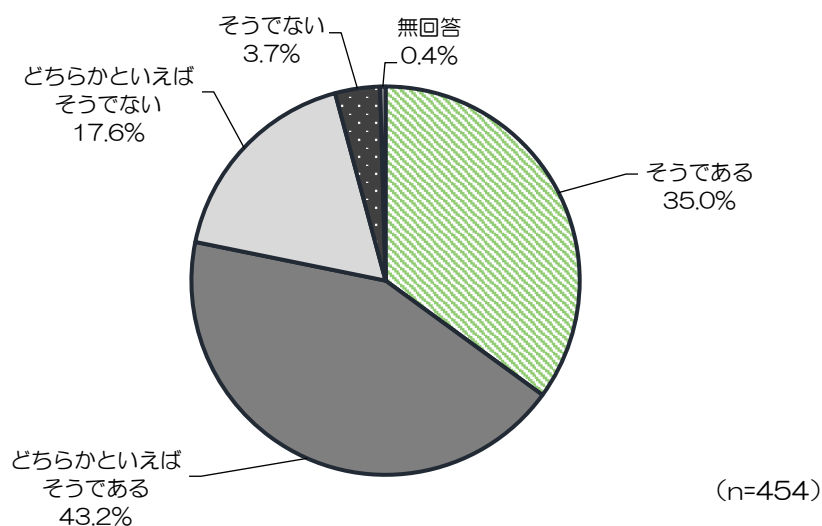


問 11

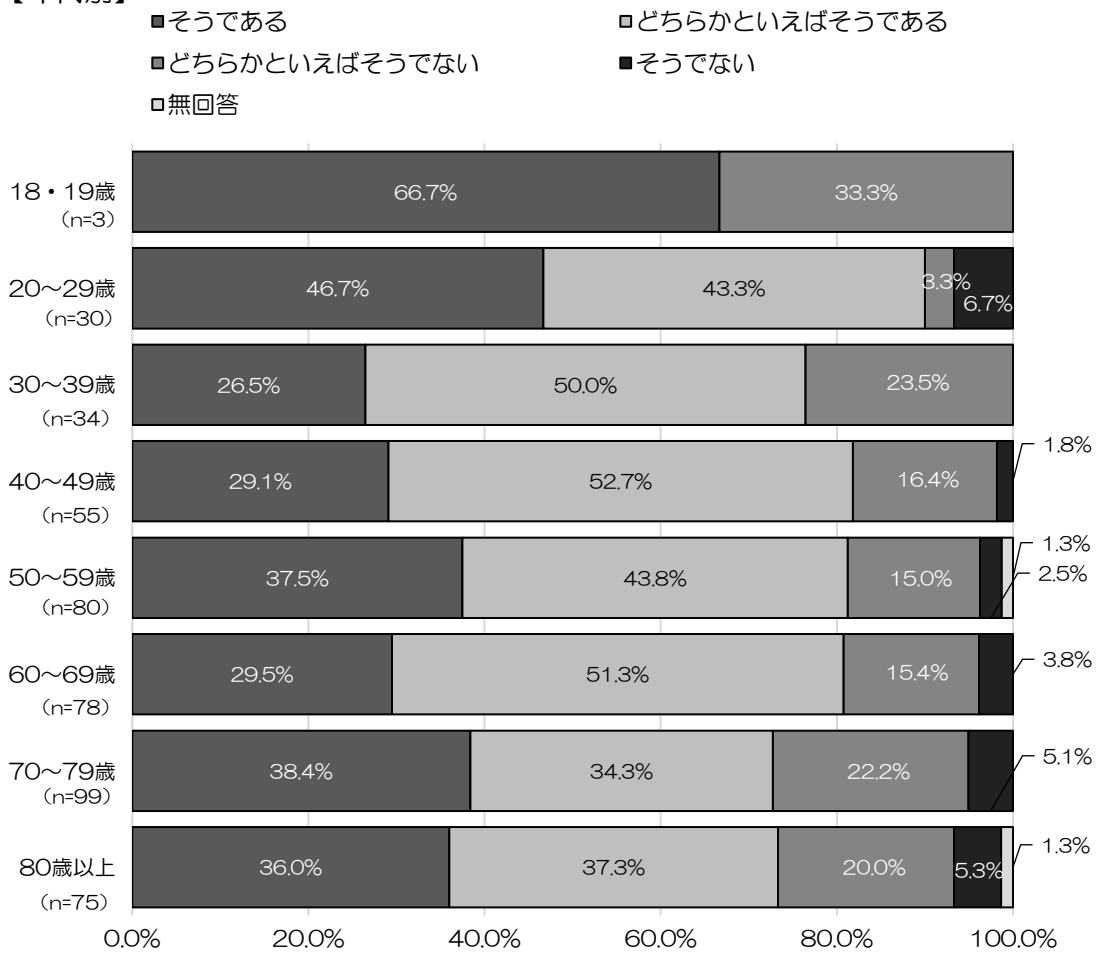
あなたは、地域住民の防犯活動（一斉パトロールや子どもの見守り活動等）が、地域の安全につながっていると感じますか。

単一回答

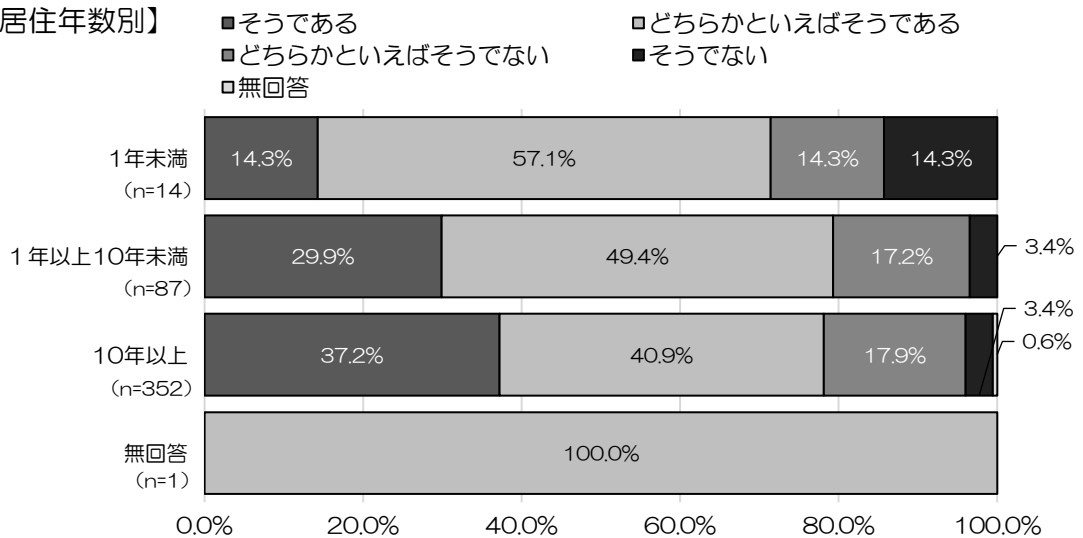
全体では、「どちらかといえばそうである」が 43.2%と最も高く、次いで「そうである」が 35.0%の順となりました。「そうである」と「どちらかといえばそうである」をあわせた肯定的意見の割合は 78.2%となり、多くの方が地域住民の防犯への取組が、地域の安全につながっていると感じています。性別、年代別でははっきりした傾向はみられませんが、居住年数別では年数が長くなるにつれ「そうである」割合が増え、10 年以上では 37.2%が「そうである」と答えました。



【年代別】



【居住年数別】

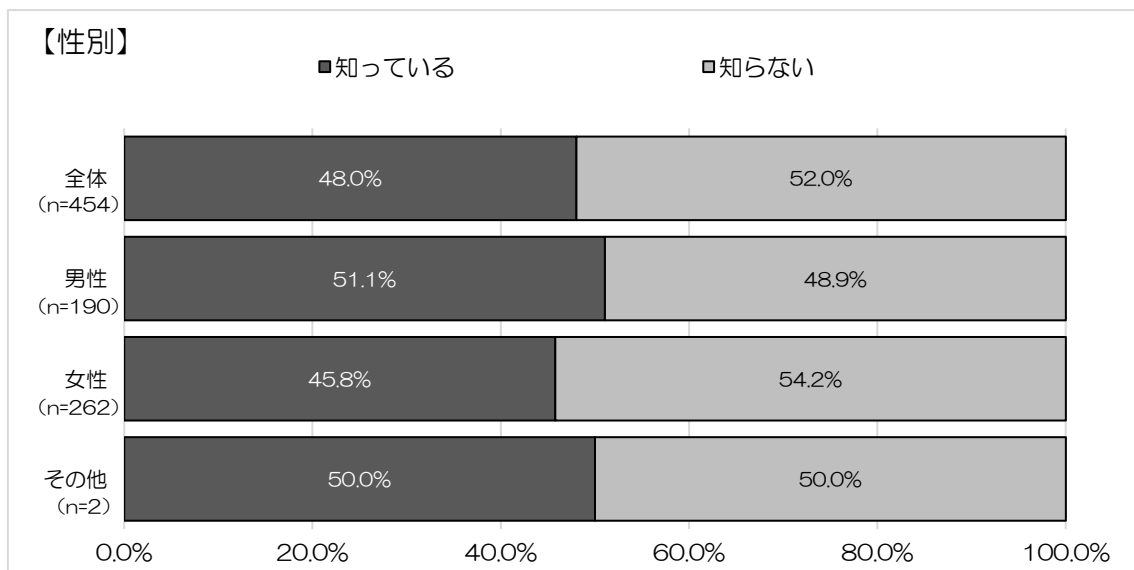
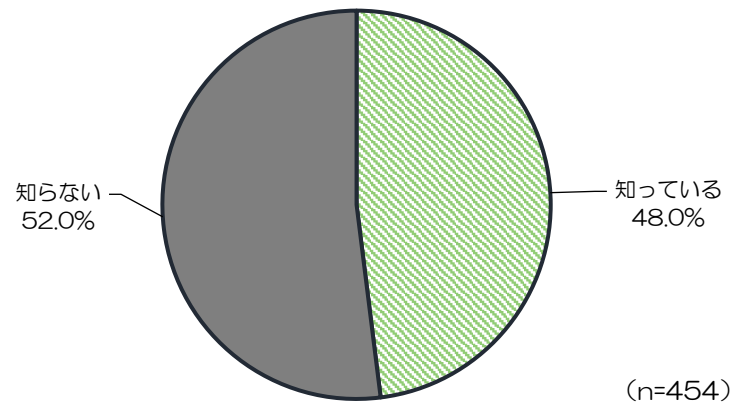


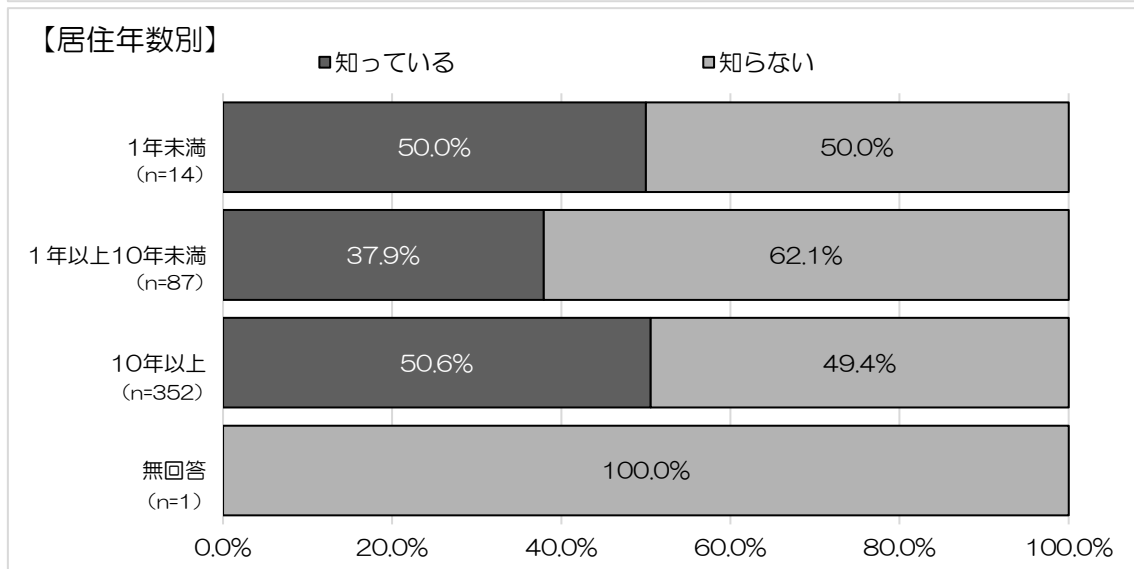
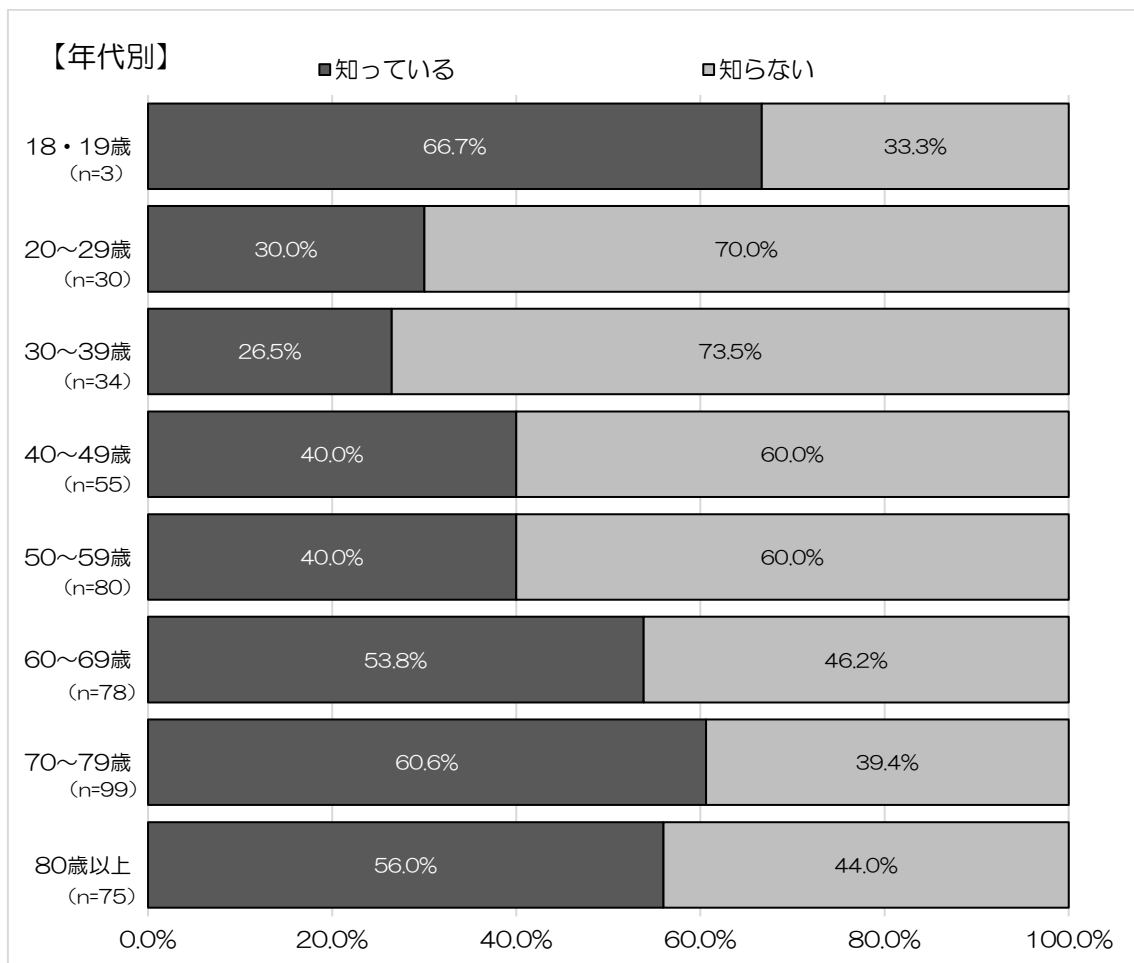
問 12

あなたは、自転車交通マナーアップに向けた取組み（歩道上のルール啓発等）が行われていることを知っていますか。

単一回答

全体では「知っている」と回答された方の割合は 48.0%、「知らない」は 52.0%となりました。年代別では、「知っている」と回答された方の割合は「30～39 歳」で 26.5%と最も低い結果となりました。居住年数別では、「知っている」と回答された「1 年以上 10 年未満」の方の割合は 37.9%、「10 年以上」で 50.6%となり居住年数が長いと取組が行われていることをより知っているという結果となりました。性別では男性 51.1%、45.8%とやや男性の方が高い結果となりました。



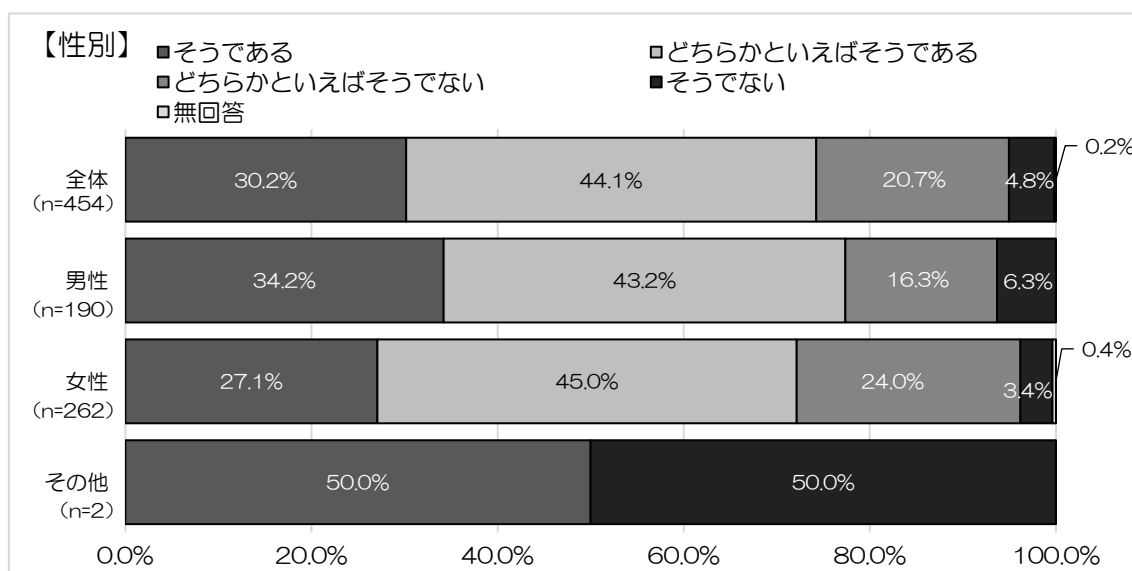
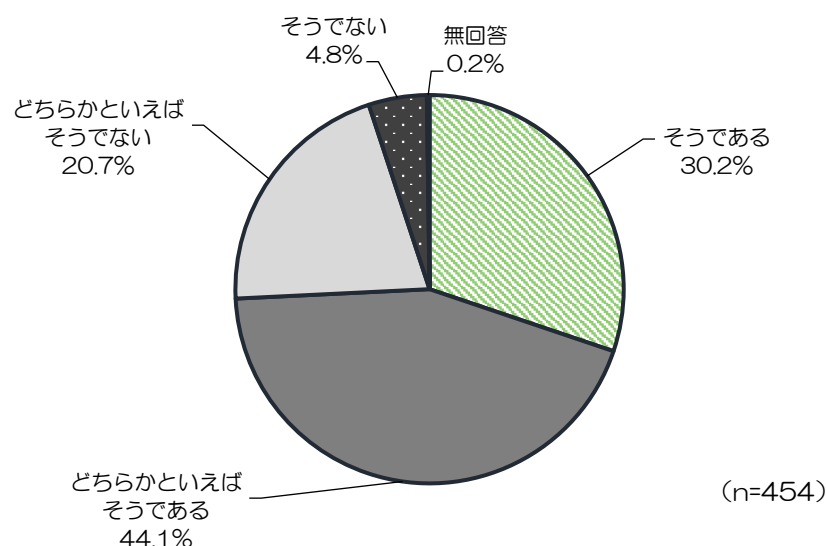


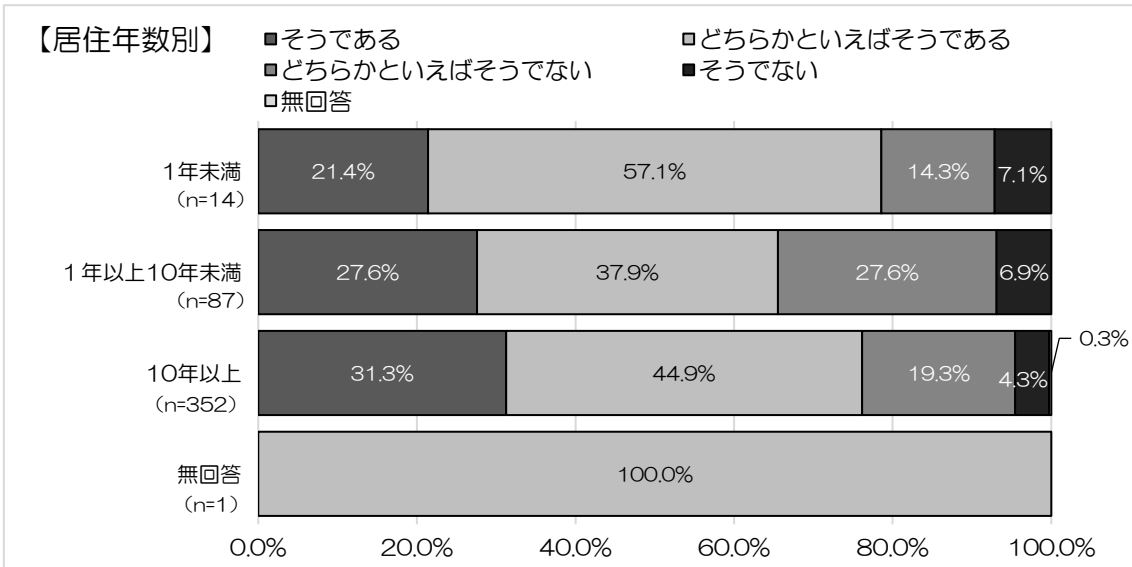
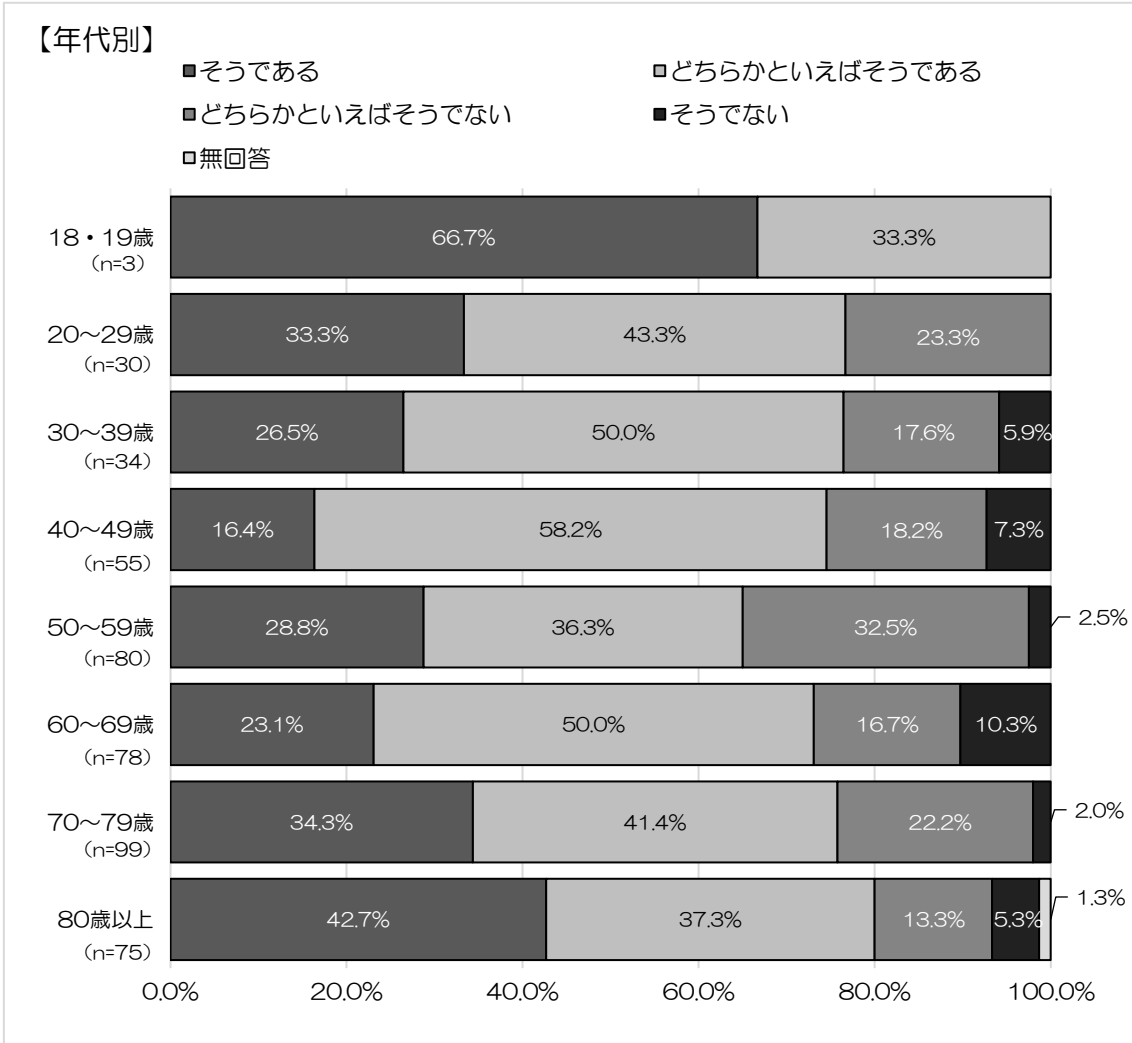
問 13

あなたは、自転車乗車啓発を継続することで、自転車交通マナーを向上できると思いますか。

単一回答

全体で最も多い回答は「どちらかといえばそうである」で割合は 44.1%となりました。「そうである」の割合をあわせると 74.3%となりました。性別では男性が 34.2%、女性の 27.1% が「そうである」と、男性がやや割合が高くなりました。年代別（18・19 歳を除く）では「80 歳以上」が 42.7%と最も高い結果となりました。居住年数別では居住年数が長くなるにつれ「そうである」の割合が高くなり、「1 年未満」では 21.4%、「1 年以上 10 年未満」では 27.6%、「10 年以上」で 31.3%でした。

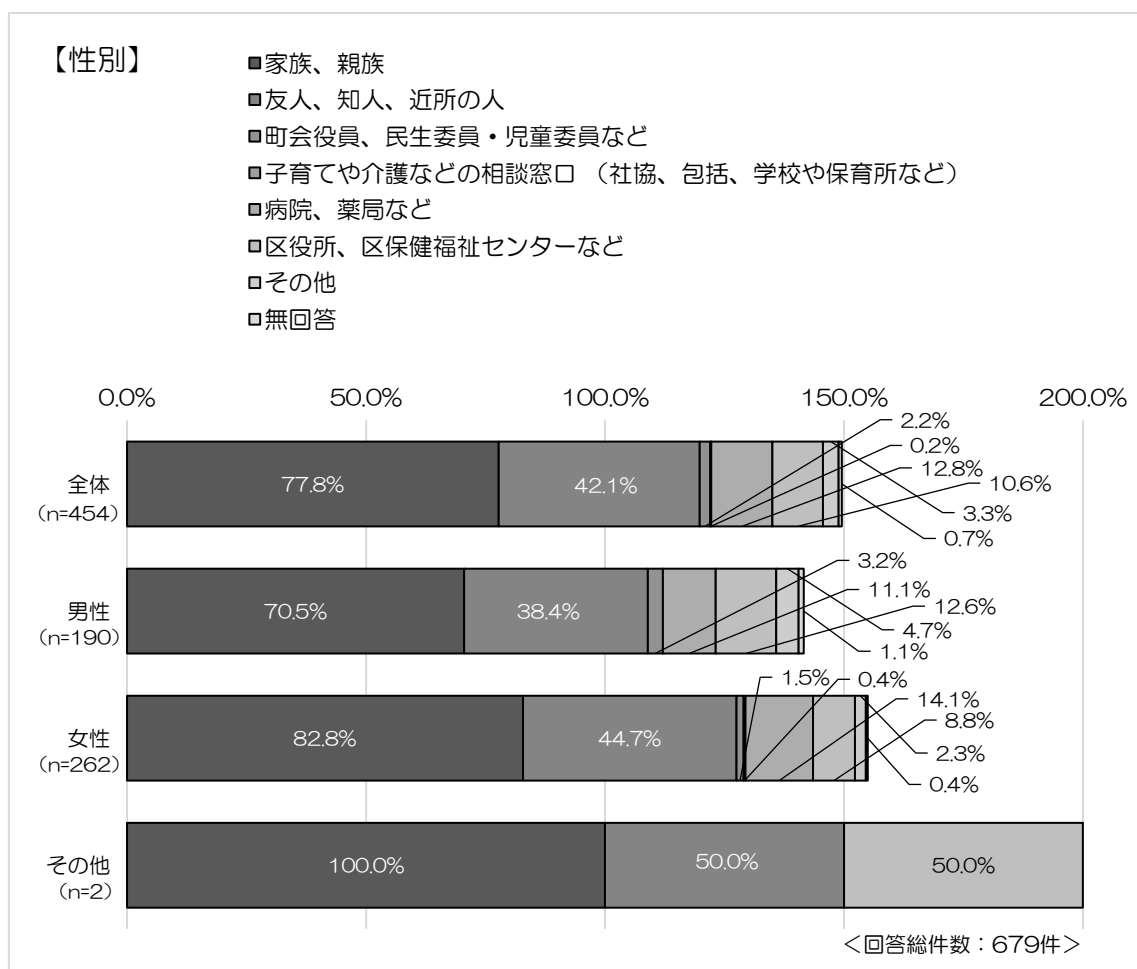




3. 地域福祉について

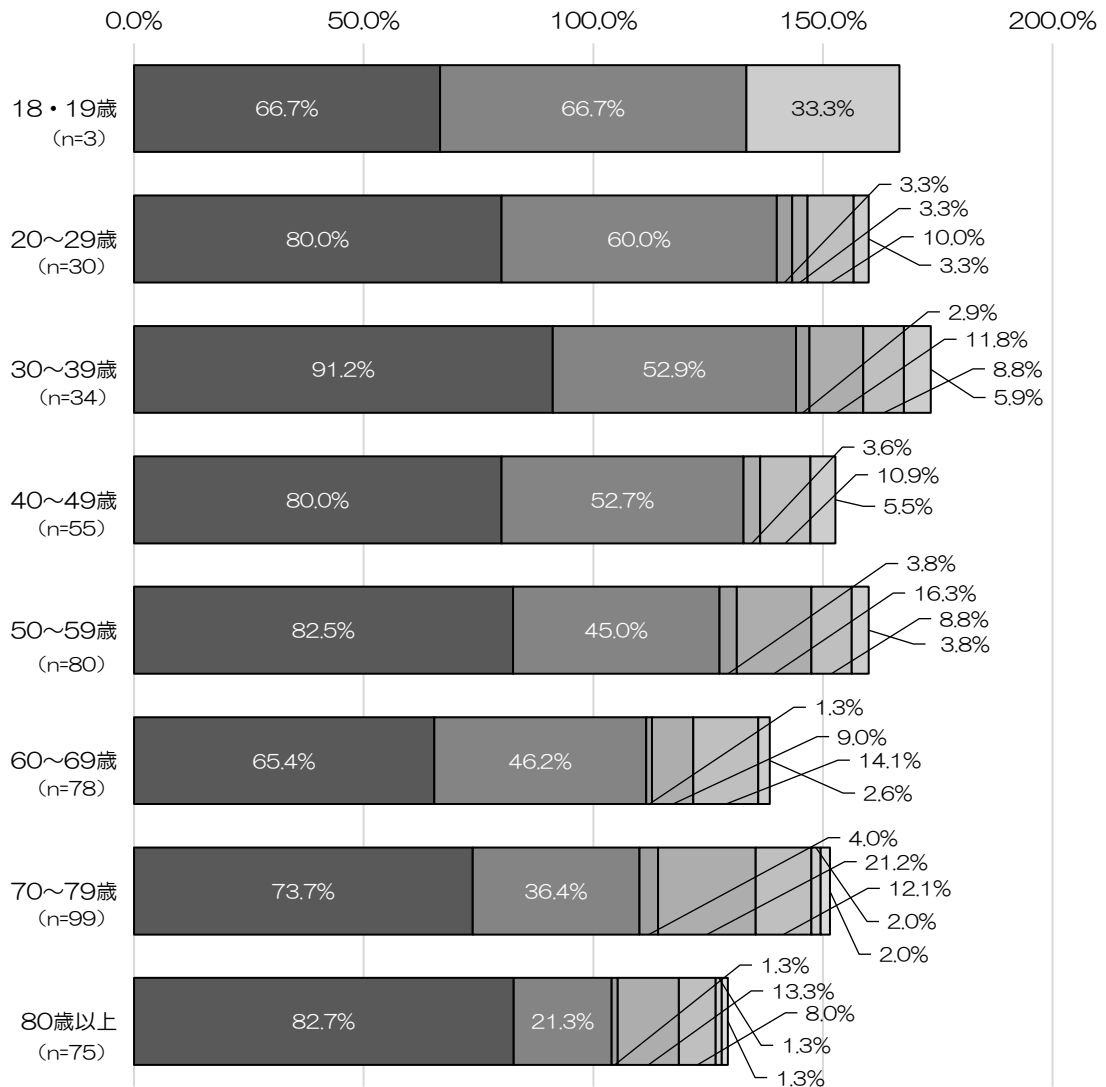
問 14	あなたは、困っていること、悩んでいること、または不安なことを誰に相談しますか。	複数回答
------	---	------

困り事や悩みごとの相談相手は「家族、親族」が最も多く 77.8%、「友人、知人、近所の人」が次いで多く 42.1%でした。相談相手が「家族、親族」の回答は女性のほうがやや多く、82.8%でした。年齢による違いはあまり見られず、居住歴が長いほど「家族、親族」に相談する方が多く、80.1%でした。居住歴 1 年未満の方は「区役所、区保健福祉センターなど」も多く、35.7%でした。



【年代別】

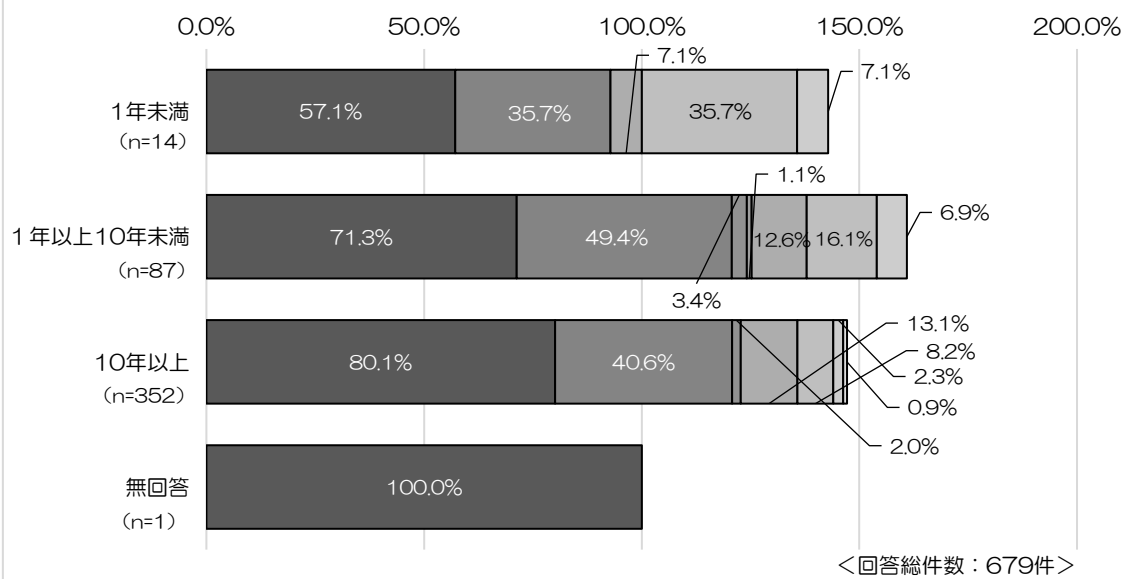
- 家族、親族
- 友人、知人、近所の人
- 町会役員、民生委員・児童委員など
- 子育てや介護などの相談窓口（社協、包括、学校や保育所など）
- 病院、薬局など
- 区役所、区保健福祉センターなど
- その他
- 無回答



<回答総件数：679件>

【居住年数別】

- 家族、親族
- 友人、知人、近所の人
- 町会役員、民生委員・児童委員など
- 子育てや介護などの相談窓口（社協、包括、学校や保育所など）
- 病院、薬局など
- 区役所、区保健福祉センターなど
- その他
- 無回答



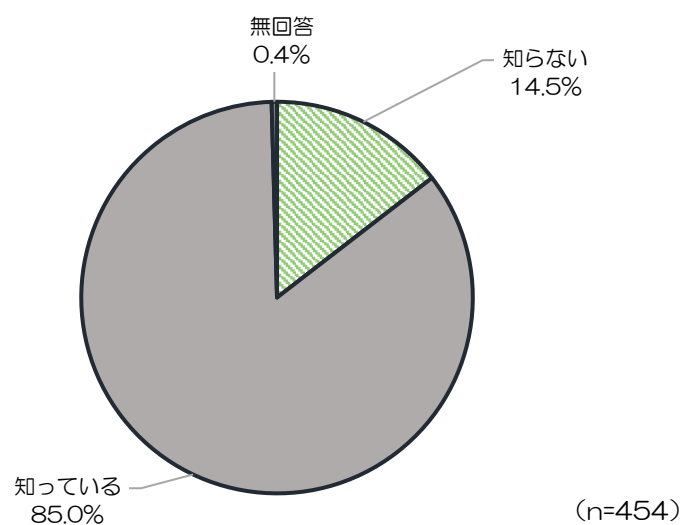
問 15

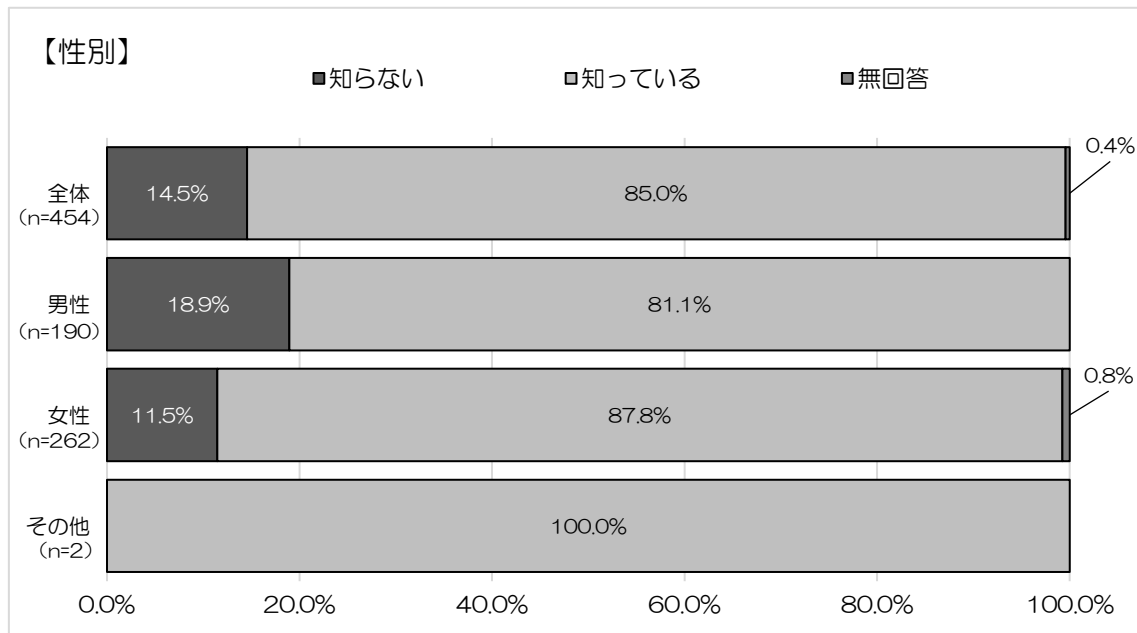
あなたは、大阪市でがん検診を実施していることを知っていますか。また、それをどこでお知りになりましたか。

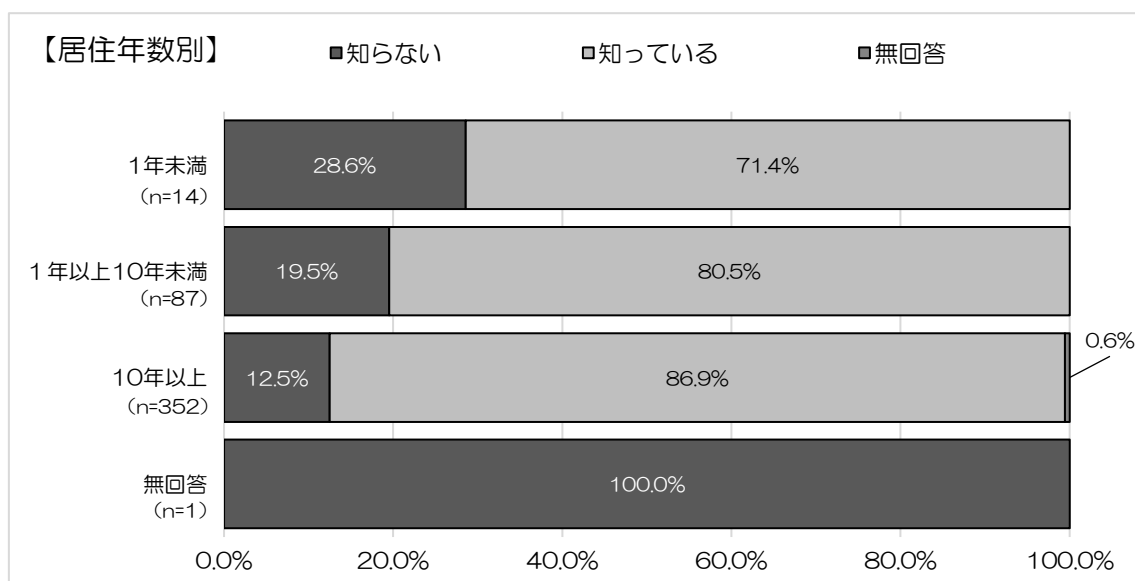
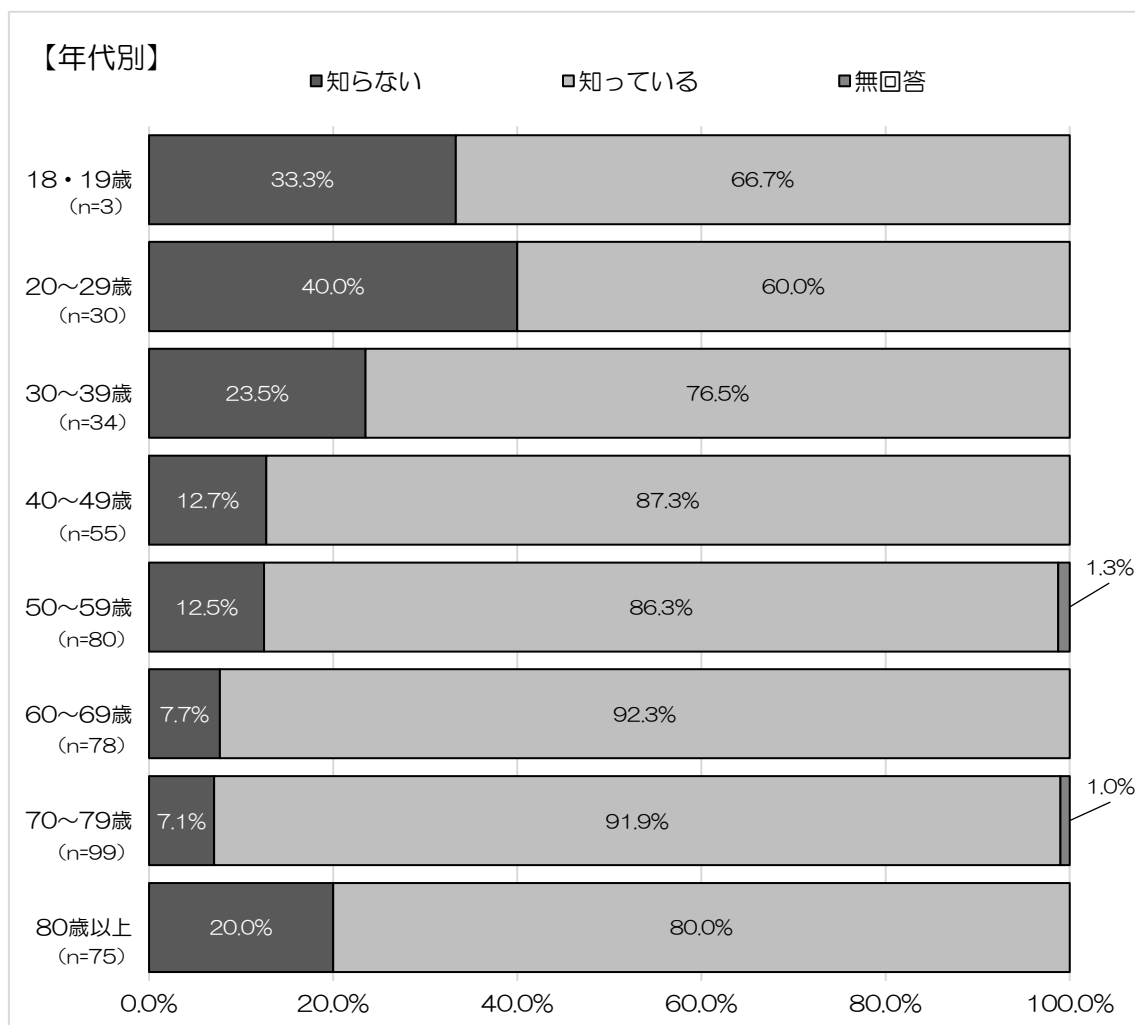
複数回答

全体では「知っている」と回答された方の割合は 85.0%、「知らない」は 14.5%と、大多数の方は知っているという結果となりました。「知っている」と答えた理由の中では「区の広報紙やチラシ」が最も多く 47.8%となりました。

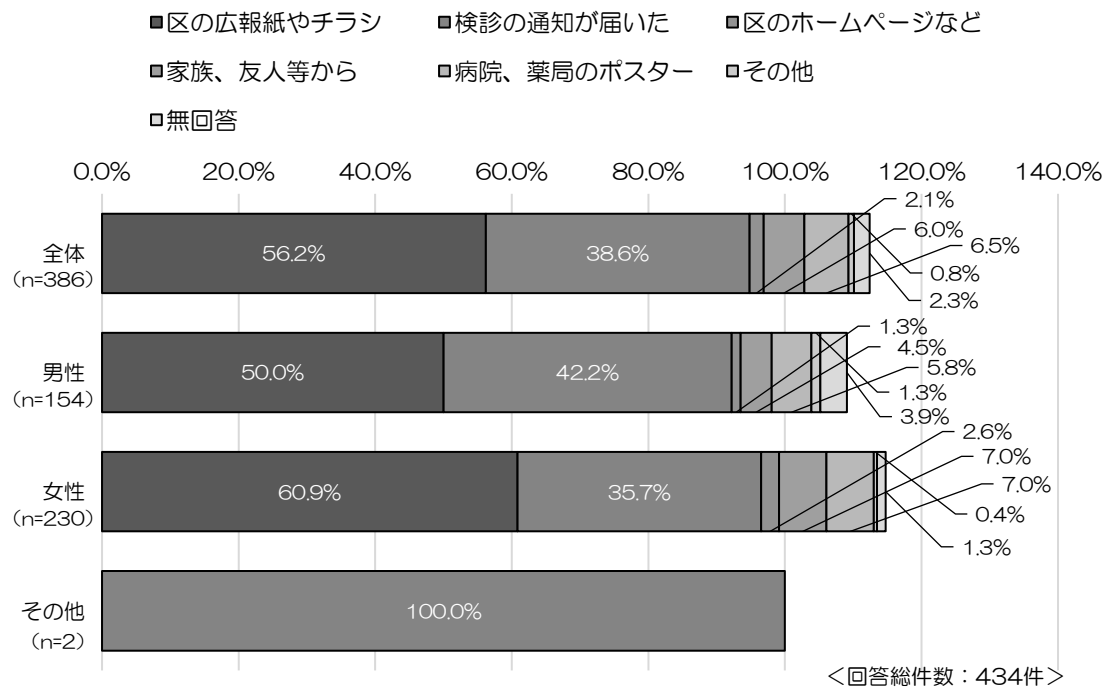
性別では、「男性」の方で「知っている」と回答された方の割合は 81.1%、「女性」は 88.5%となり、「女性」のほうがより知っているという結果になりました。年代別でも「女性」のほうがより知っているという結果になりました。年代別で、「知っている」と回答された方の割合が最も低かったのは「20～29 歳」で 60.0%でしたが、そこから「70～79 歳」までは年代が上がるに従って認知度も高くなり、50 歳以上の全ての年代では 80%以上となりました。居住年数別では、「知っている」と回答された「1 年未満」の方の割合は 71.4%、「10 年以上」は 87.5%となり、居住年数が長くなるにつれ知っている割合が高い傾向が見られました。



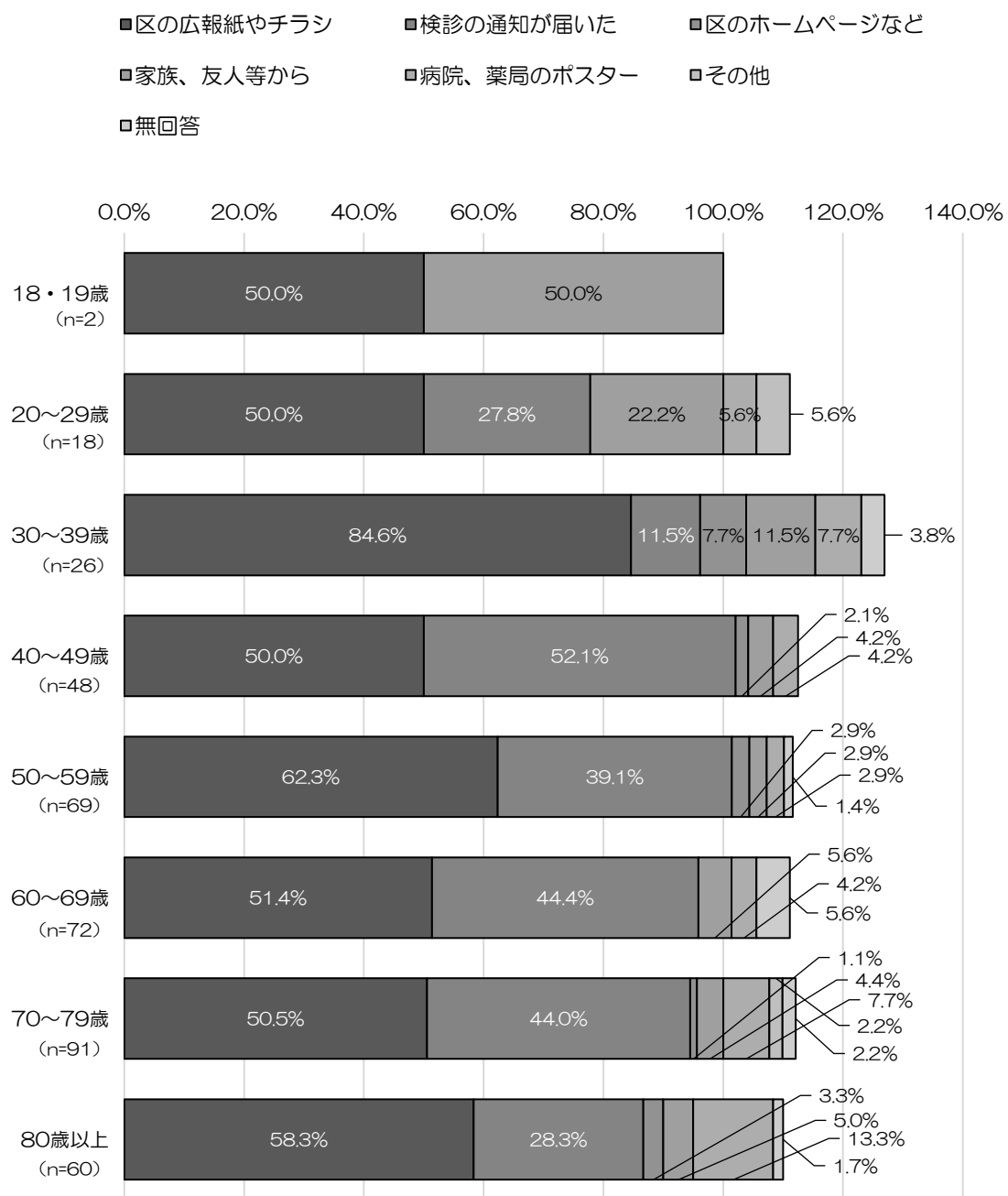




★「知っている」と答えた人の理由【性別】

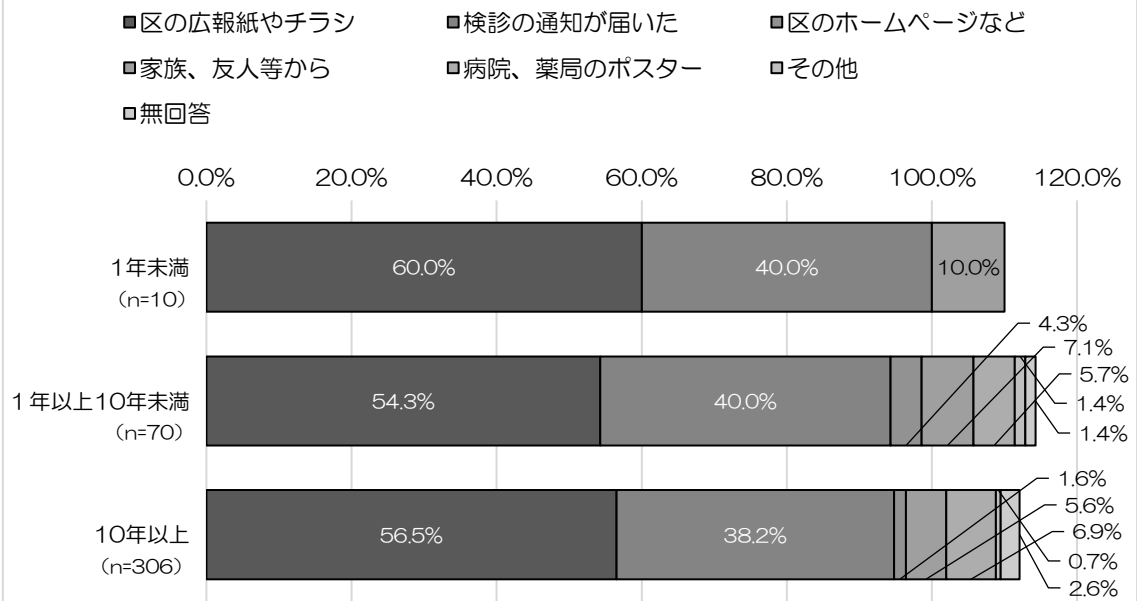


★「知っている」と答えた人の理由【年代別】



<回答総件数：434件>

★「知っている」と答えた人の理由【居住年数別】



<回答総件数：434件>

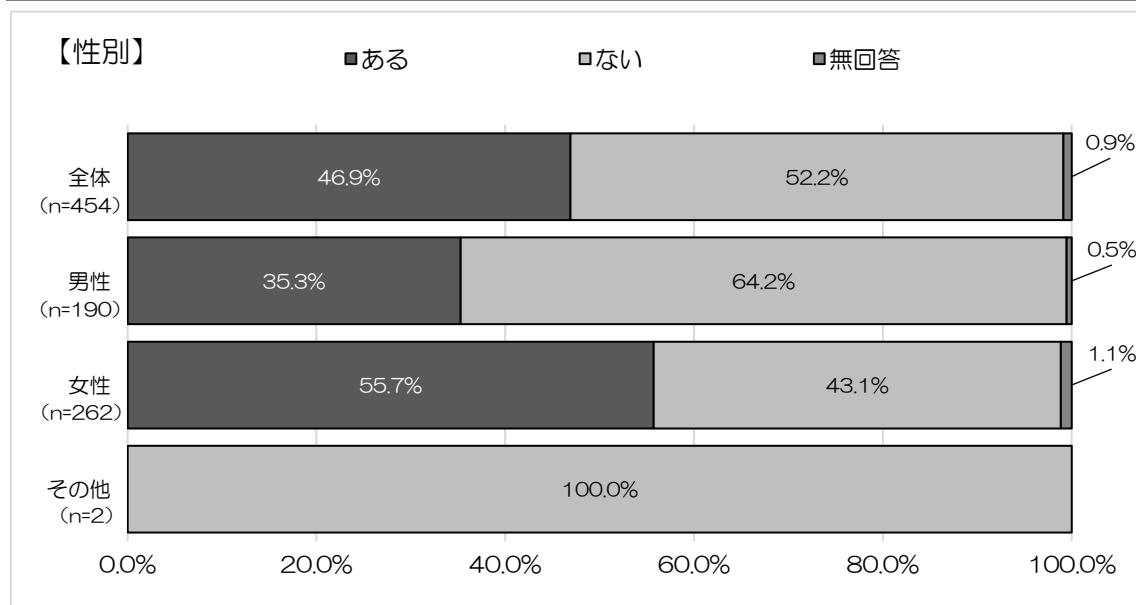
問 16

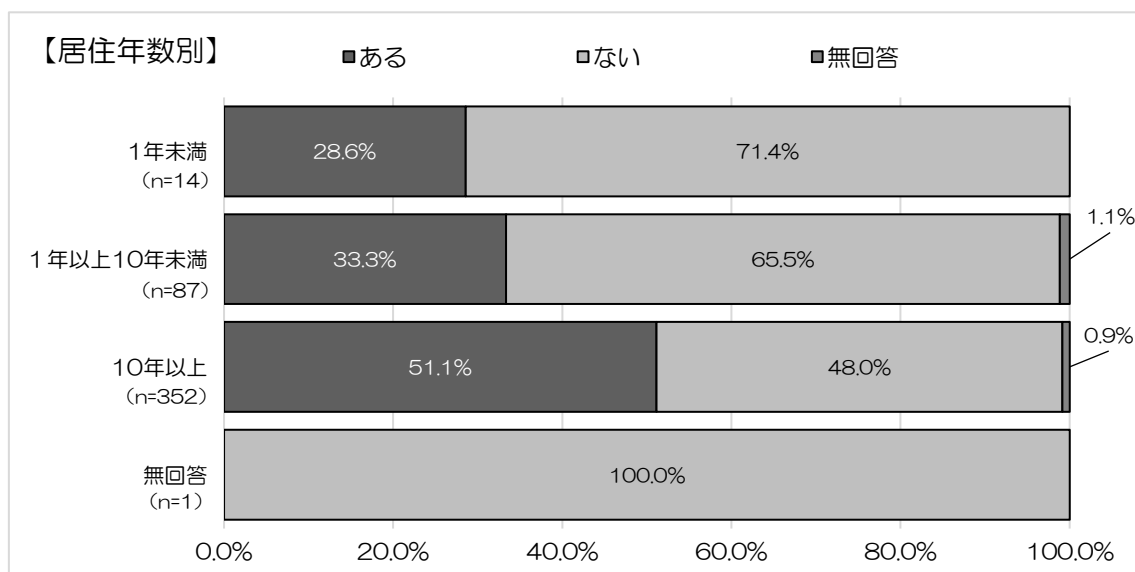
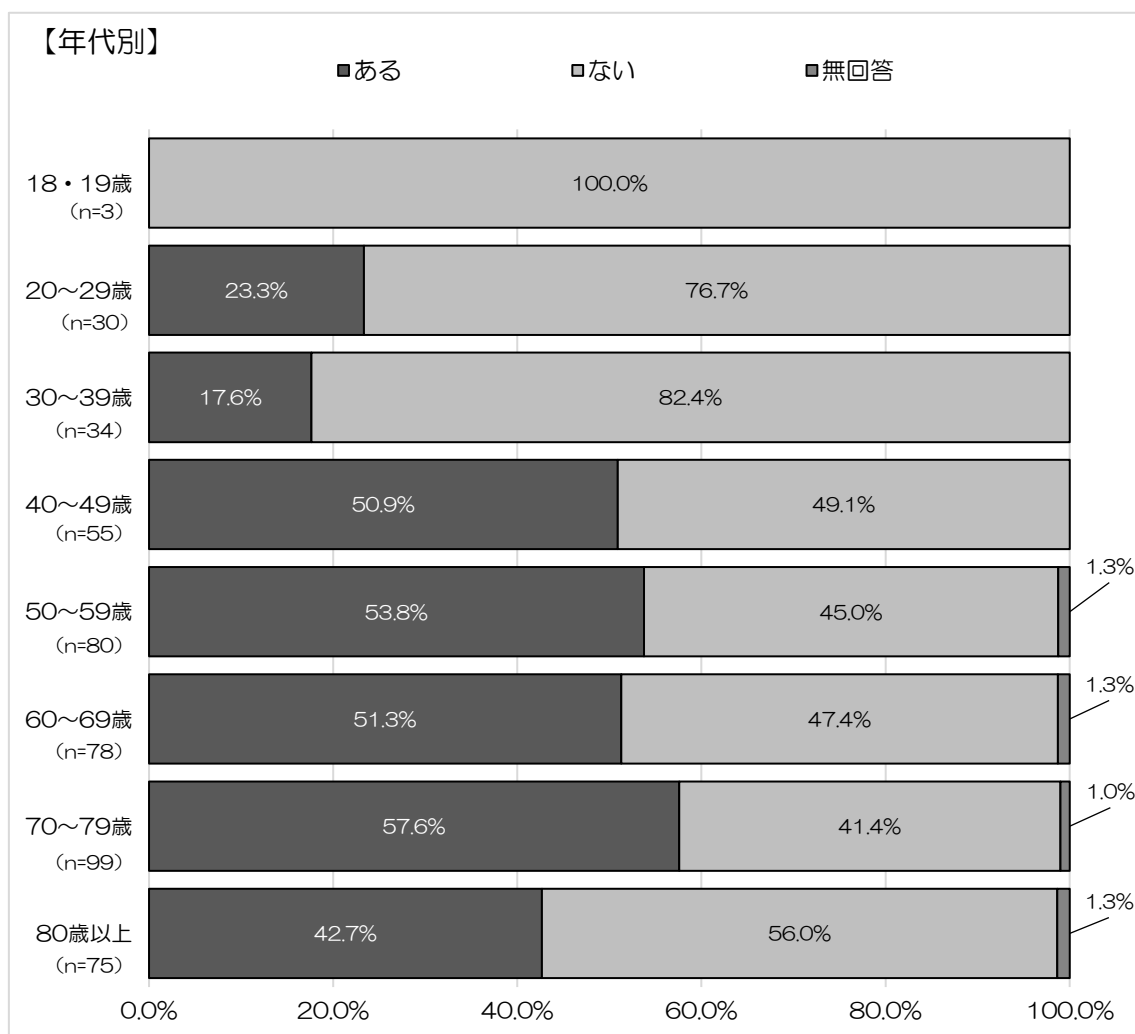
あなたは、がん検診を受けたことがありますか。また、がん検診を受けたことがない人は、どうしてがん検診を受けないのですか。

複数回答

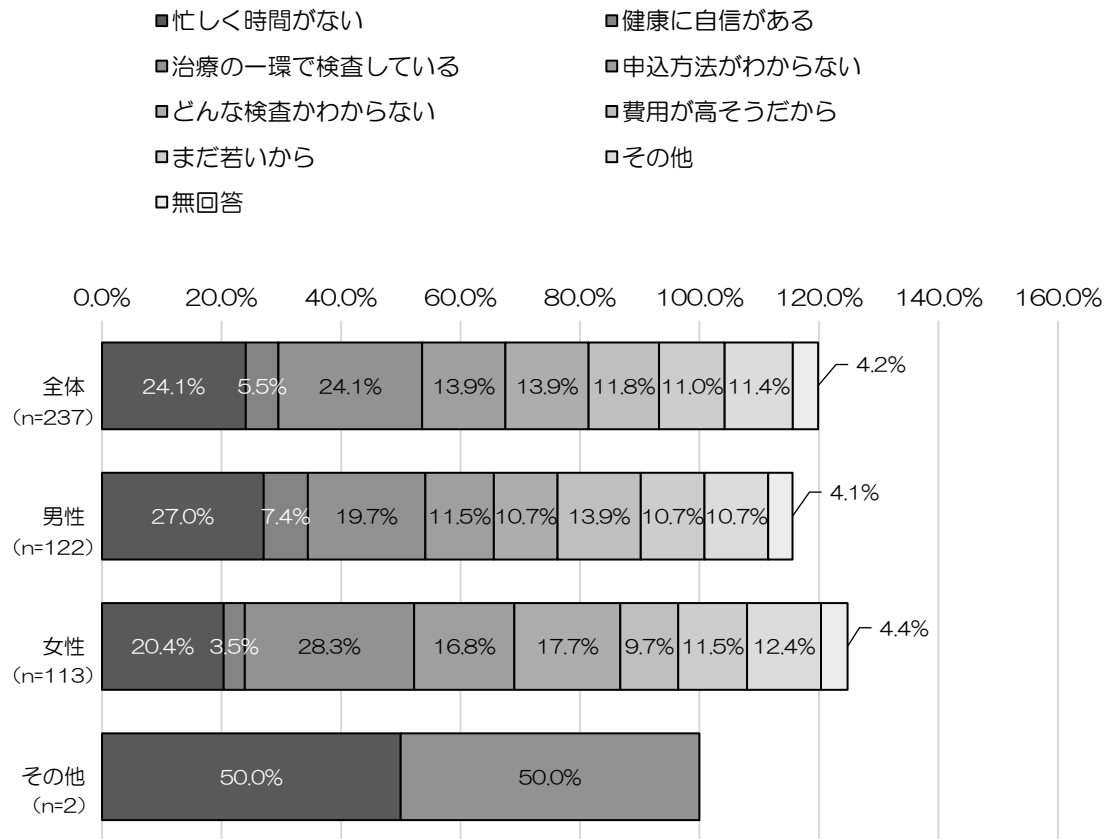
全体では「ある」と回答された方の割合は 46.9%、「ない」は 52.2%となりました。「ない」と回答された方は「忙しく時間がない」と、「治療の一環で検査している」が 12.6%と多い結果となりました。

性別では、「男性」でがん検診を受けたことのある方の割合は 35.3%、「女性」で 55.7%となり、「女性」のほうが高い割合を示しました。年代別（18・19 歳を除く）では、がん検診を受けたことがある方の割合が最も高かった年代は「70～79 歳」で 57.6%、次いで「50～59 歳」で 53.8%、「60～69 歳」で 51.3%となり、40 歳を過ぎた世代からがん検診を受けたことのある比率が高くなりました。居住年数でみると、「10 年以上」の方の割合は 51.1%となり、居住年数が長いとがん検診を受けた割合も高くなる傾向が見られました。





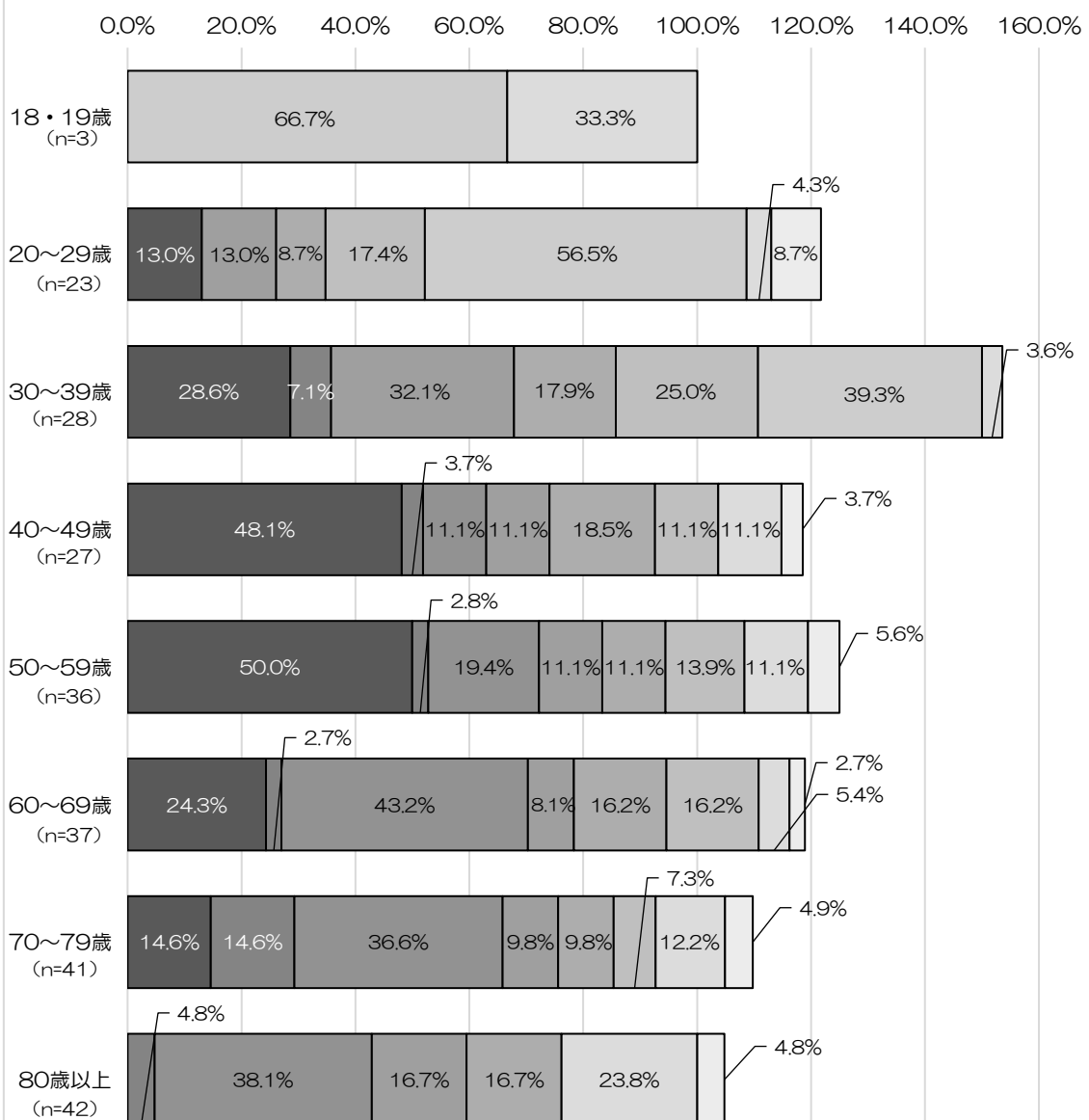
★がん検診を受けない理由【性別】



<回答総件数：284件>

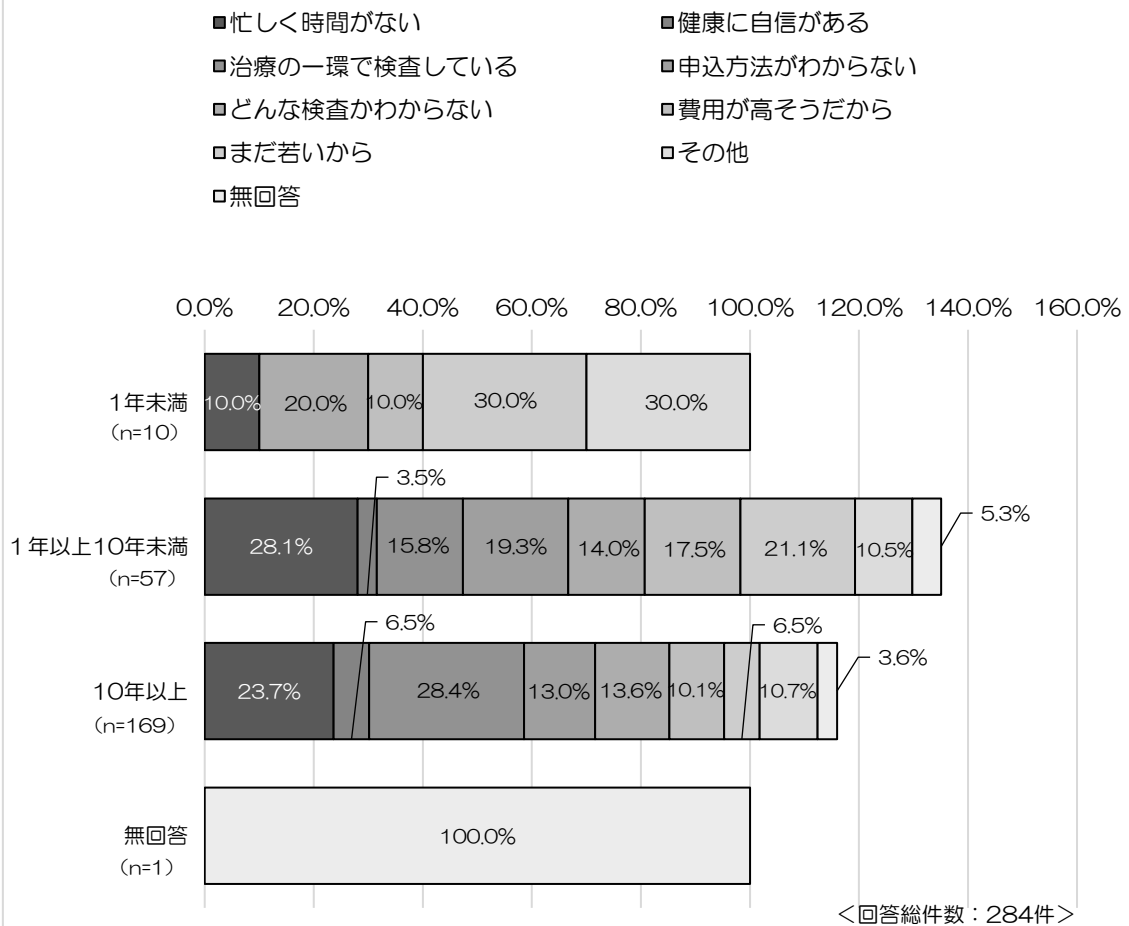
★がん検診を受けない理由【年代別】

- 忙しく時間がない
- 健康に自信がある
- 治療の一環で検査している
- 申込方法がわからない
- どんな検査かわからない
- 費用が高そうだから
- まだ若いから
- その他
- 無回答



<回答総件数：284件>

★がん検診を受けない理由【居住年数別】



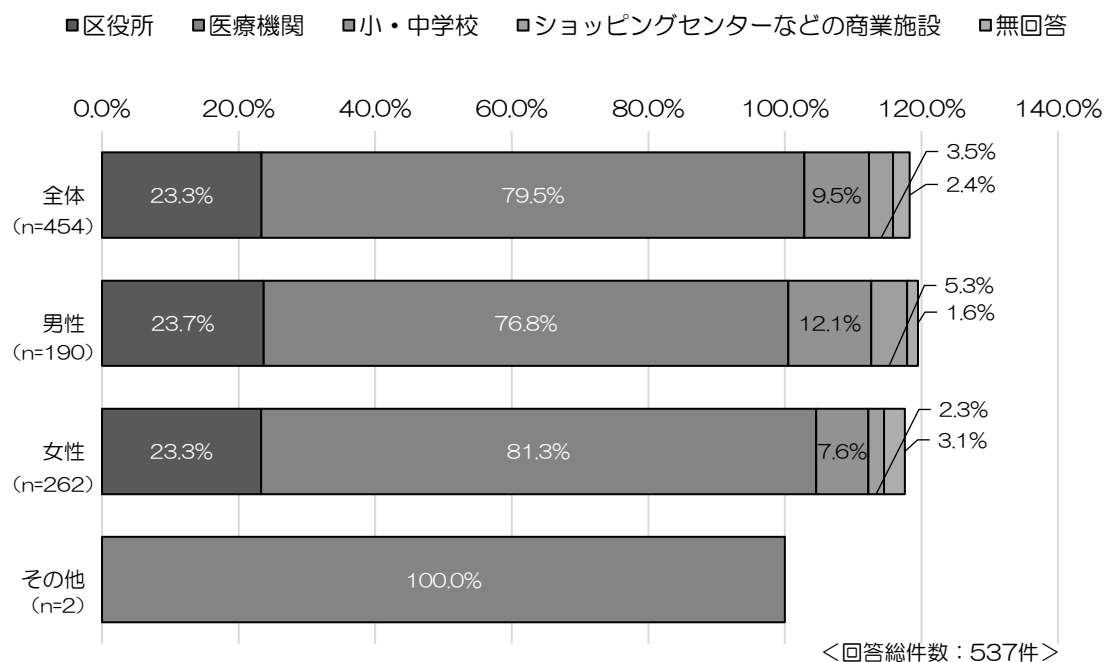
問 17

あなたは、どこで開催されているがん検診であれば受けてみよう
と思いますか。

複数回答

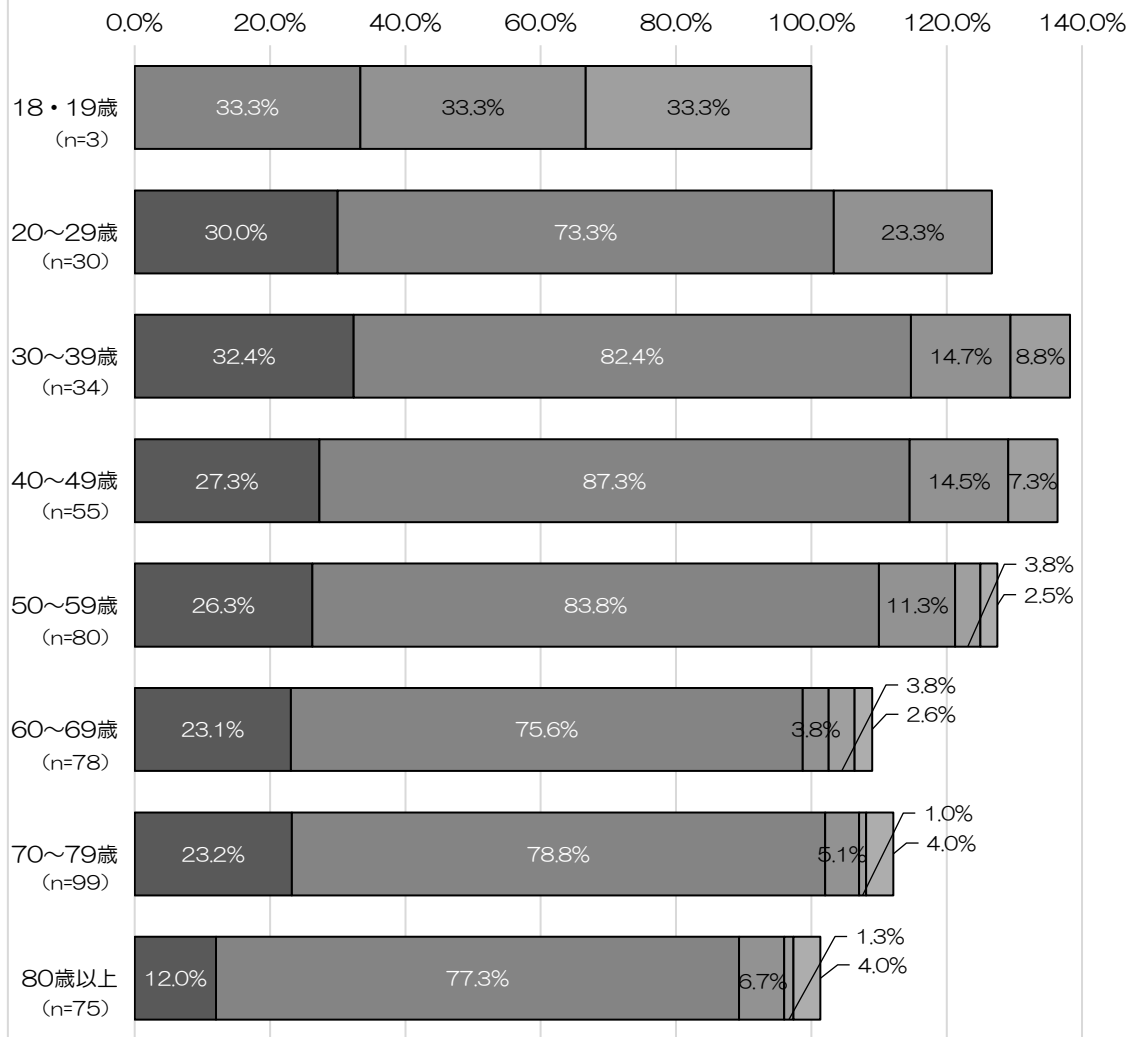
全体では「区役所」と回答された方の割合は 23.3%、「医療機関」は 79.5%となり、大部分の方が「医療機関」を希望しているという結果になりました。年代別では、「区役所」と回答された方の割合が最も高かった年代は「30～39 歳」で 32.4%となりました。居住年数では、「区役所」と回答された方の割合は「1 年未満」の方で 42.9%、「10 年以上」で 21.9%となり、居住年数が短い方のほうが「区役所」と回答される割合が高くなりました。また、性別による大きな差異は見られませんでした。

【性別】



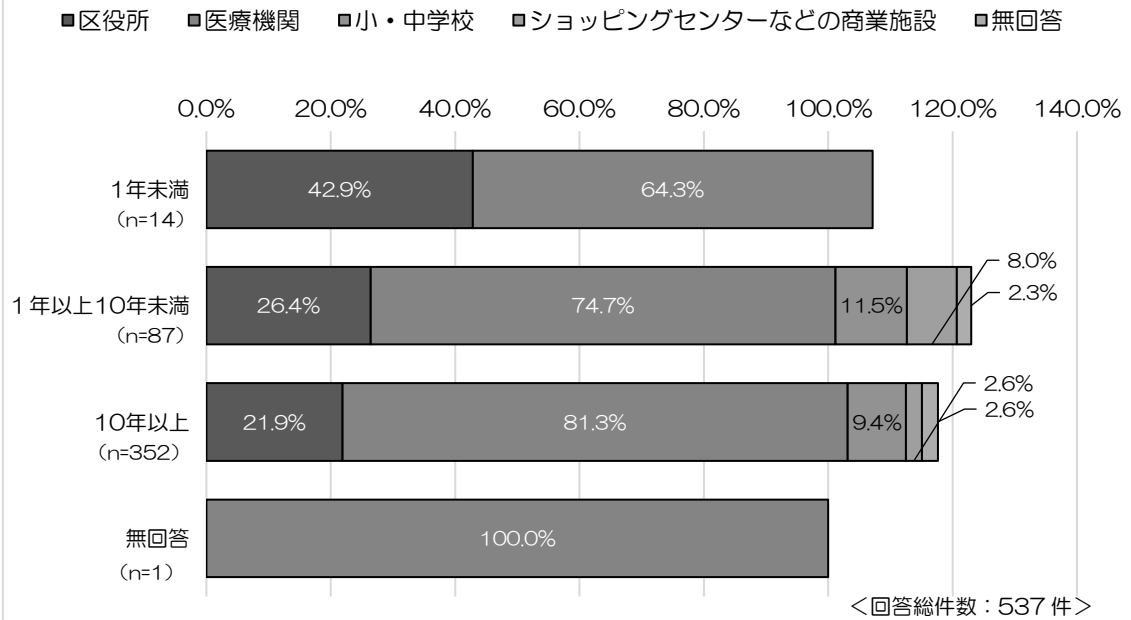
【年代別】

■区役所 ■医療機関 ■小・中学校 ■ショッピングセンターなどの商業施設 ■無回答



<回答総件数：537件>

【居住年数別】



問 18

あなたは、どの時間帯に開催されているがん検診であれば受けてみようと思いますか。

複数回答

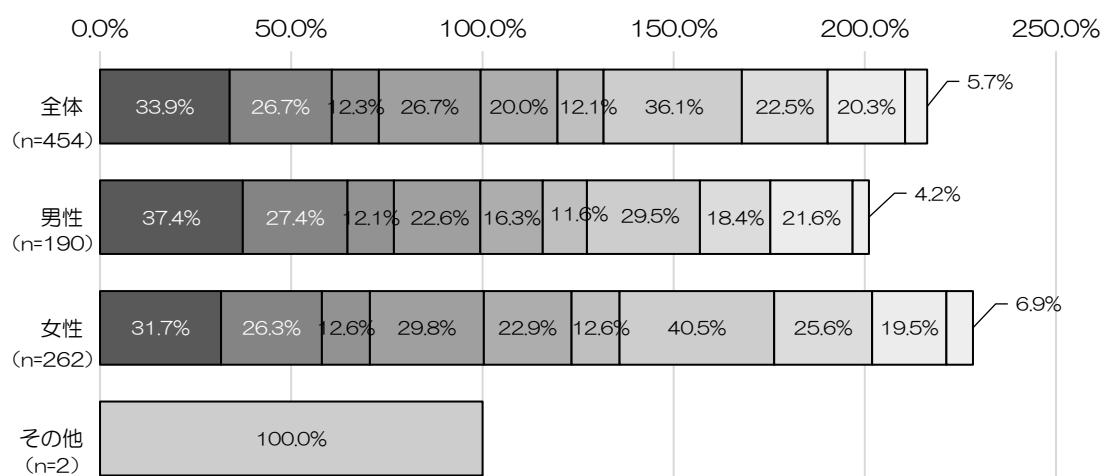
全体では「平日9時～12時」が36.1%で最も回答が多く、次いで「休・祝日9時～12時」33.9%となっています。どの曜日も「18時以降」は少なく、最も少ないのは、「土曜日18時以降」の12.1%でした。

60代までは「平日18時以降」の回答が多く、また60代以上では「平日9～12時」の回答が多くなりました。

居住年数による傾向の違いはみられませんでした。

【性別】

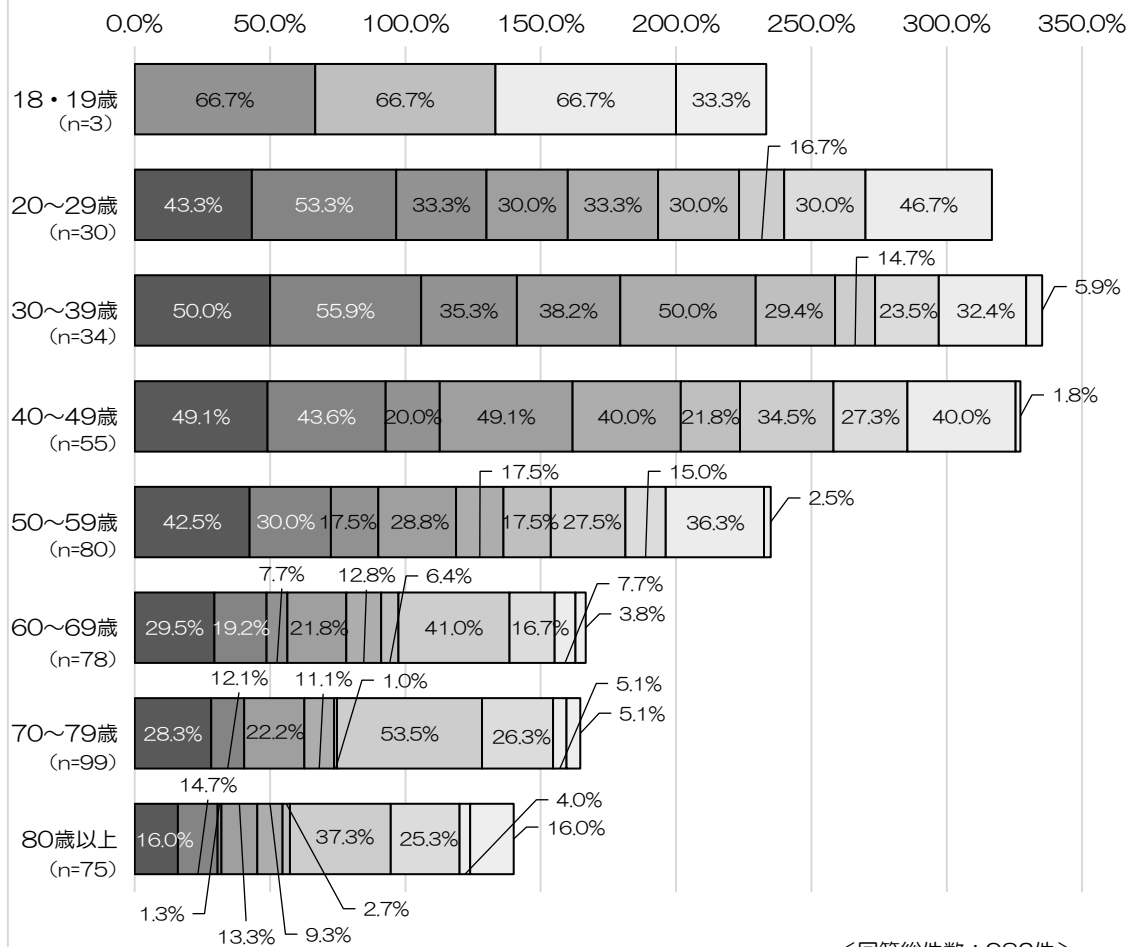
- 休・祝日9時～12時
- 休・祝日12時～18時
- 休・祝日18時以降
- 土曜日9時～12時
- 土曜日12時～18時
- 土曜日18時以降
- 平日9時～12時
- 平日12時～18時
- 平日18時以降
- 無回答



<回答総件数：982件>

【年代別】

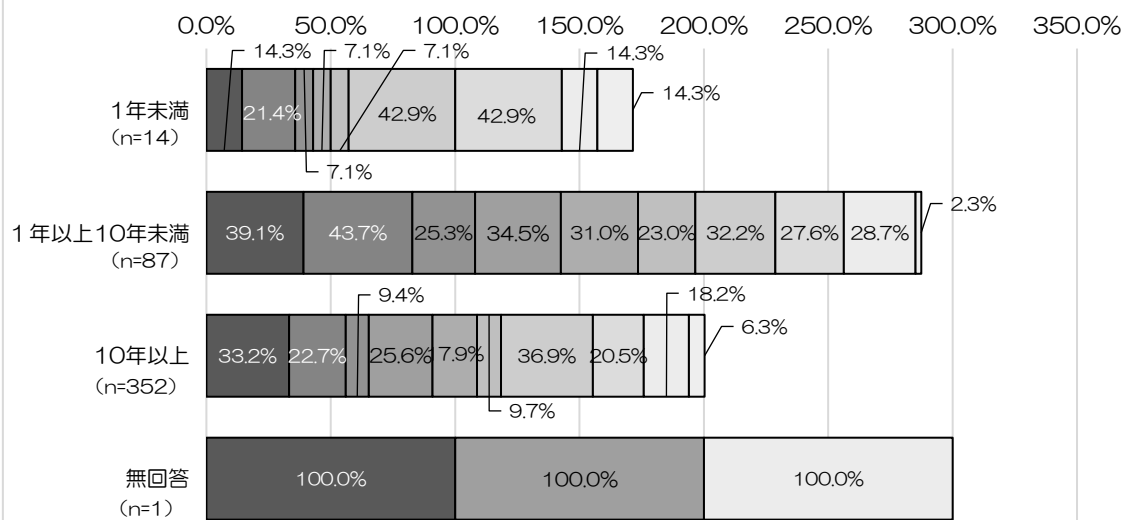
- 休・祝日 9時～12時
- 休・祝日 12時～18時
- 休・祝日 18時以降
- 土曜日 9時～12時
- 土曜日 12時～18時
- 土曜日 18時以降
- 平日 9時～12時
- 平日 12時～18時
- 平日 18時以降
- 無回答



<回答総件数：982件>

【居住年数別】

- 休・祝日 9時～12時 ■ 休・祝日 12時～18時 ■ 休・祝日 18時以降
- 土曜日 9時～12時 ■ 土曜日 12時～18時 ■ 土曜日 18時以降
- 平日 9時～12時 ■ 平日 12時～18時 ■ 平日 18時以降
- 無回答



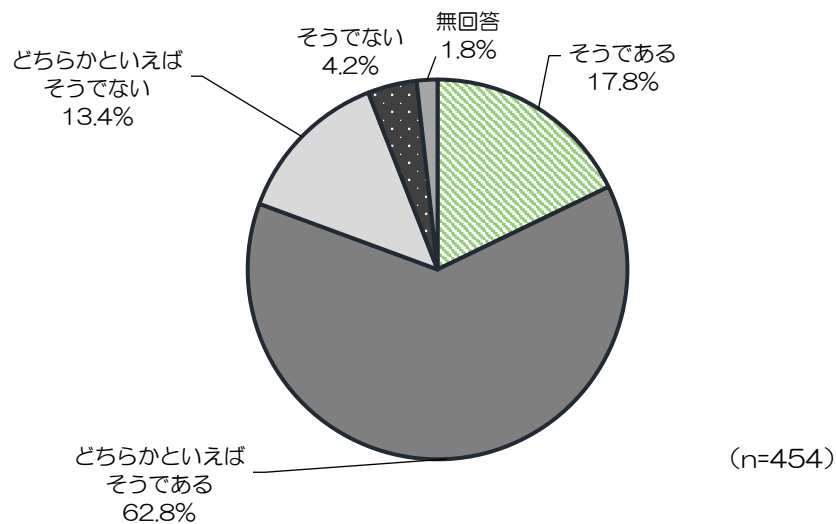
<回答総件数：982 件>

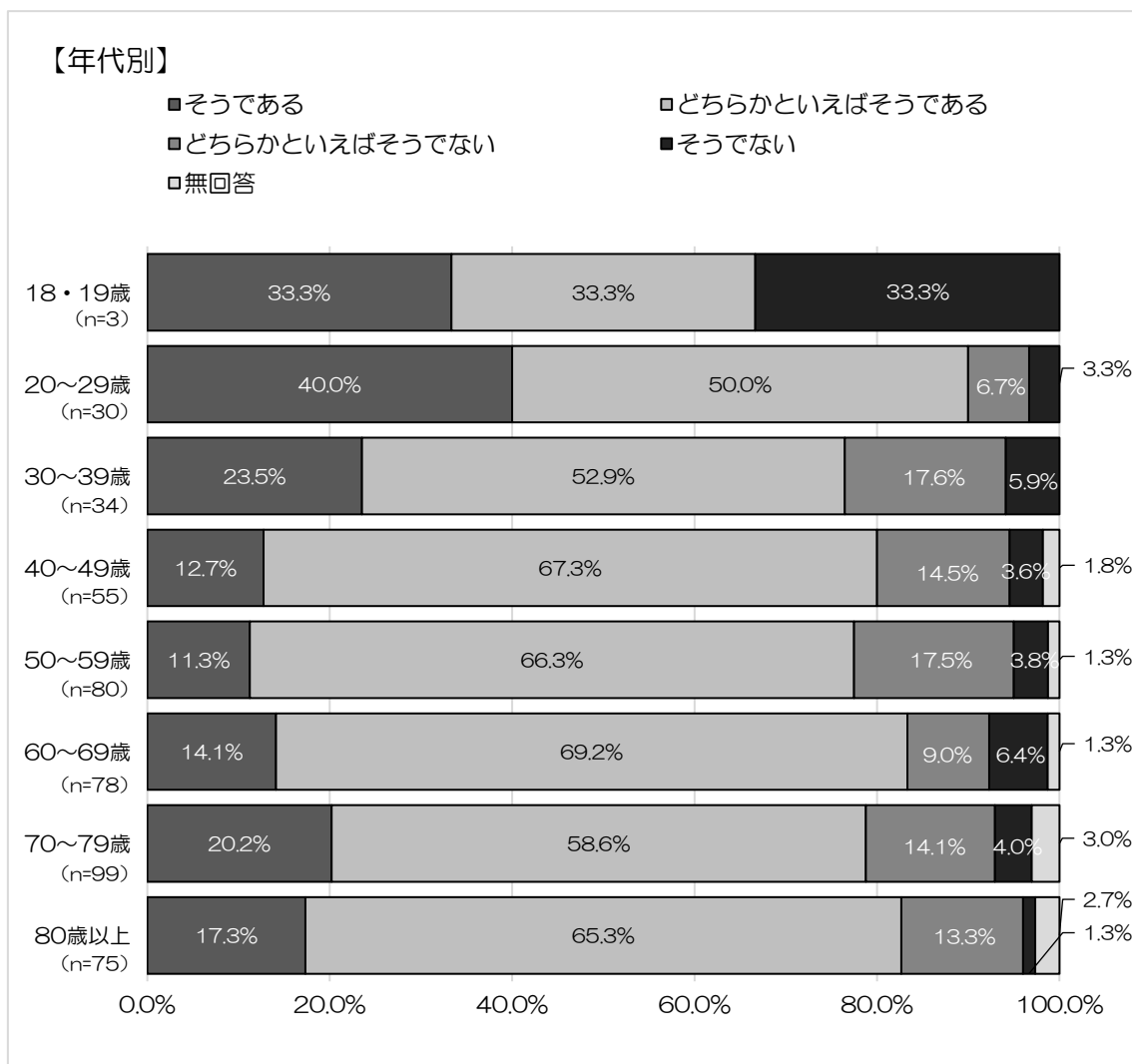
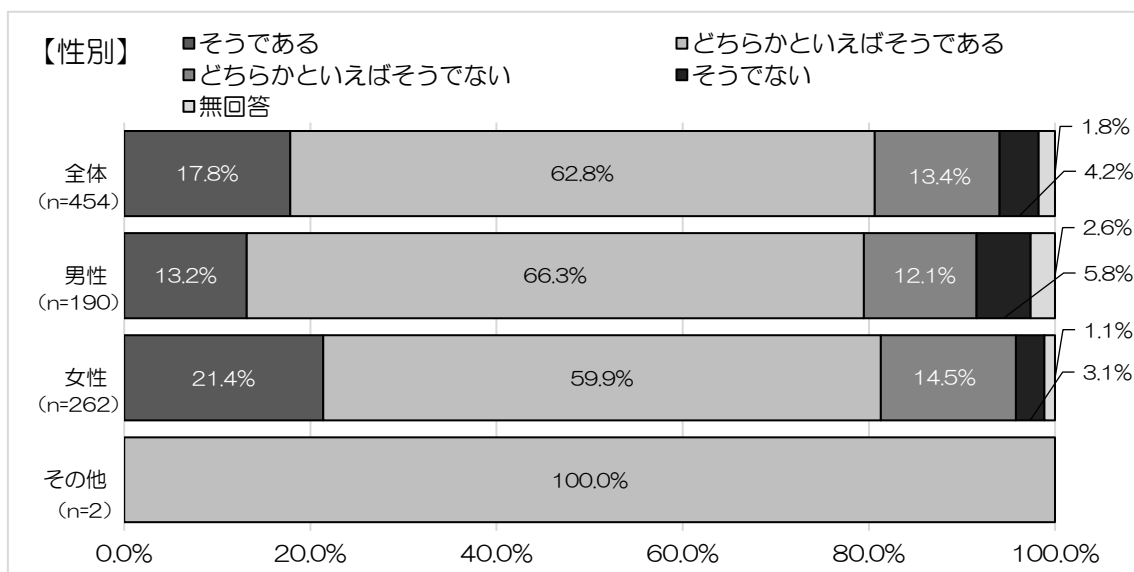
4. 人権・多文化共生について

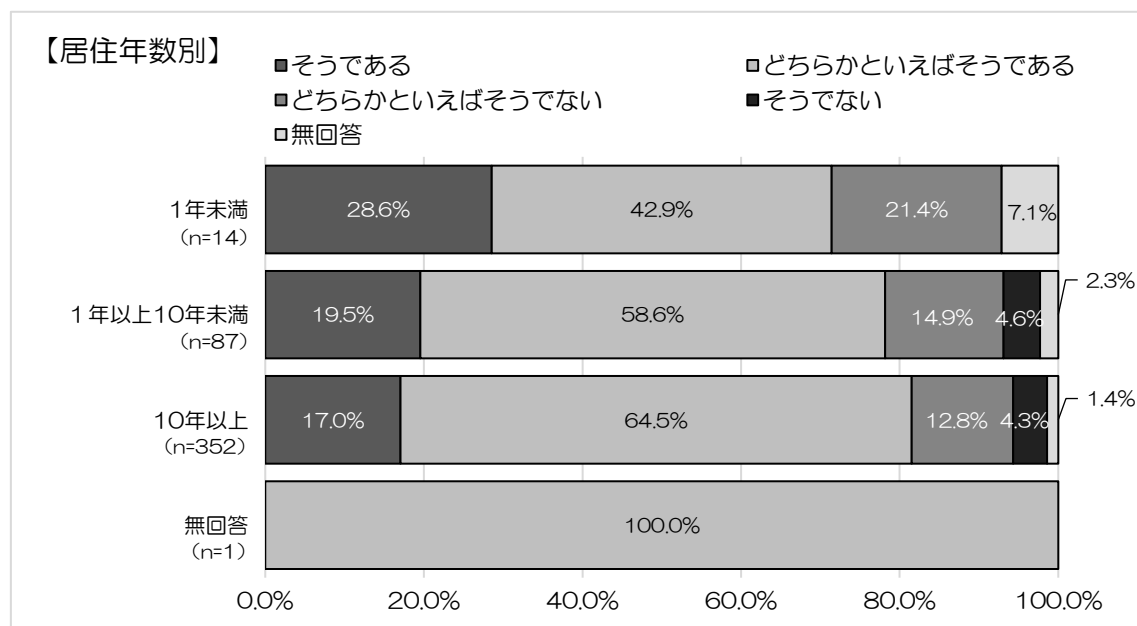
問 19	あなたは、生野区は外国にルーツをもつ住民・障がい者・高齢者・こどもをはじめとする多様な人々の人権が尊重され、人にやさしいまちであると感じますか。	単一回答
------	--	------

全体の 17.8%が「そうである」と答え、性別では女性のほうが「そうである」の回答が多く 21.4%、「どちらかといえばそうである」と合わせ 81.3%が肯定的な回答となりました。

年代別では「20～29 歳」で「そうである」が 40.0%となりました。居住年数別では「1 年未満」で 28.6%が「そうである」と答え、居住年数が長いほど「そうである」の割合が下がっています。

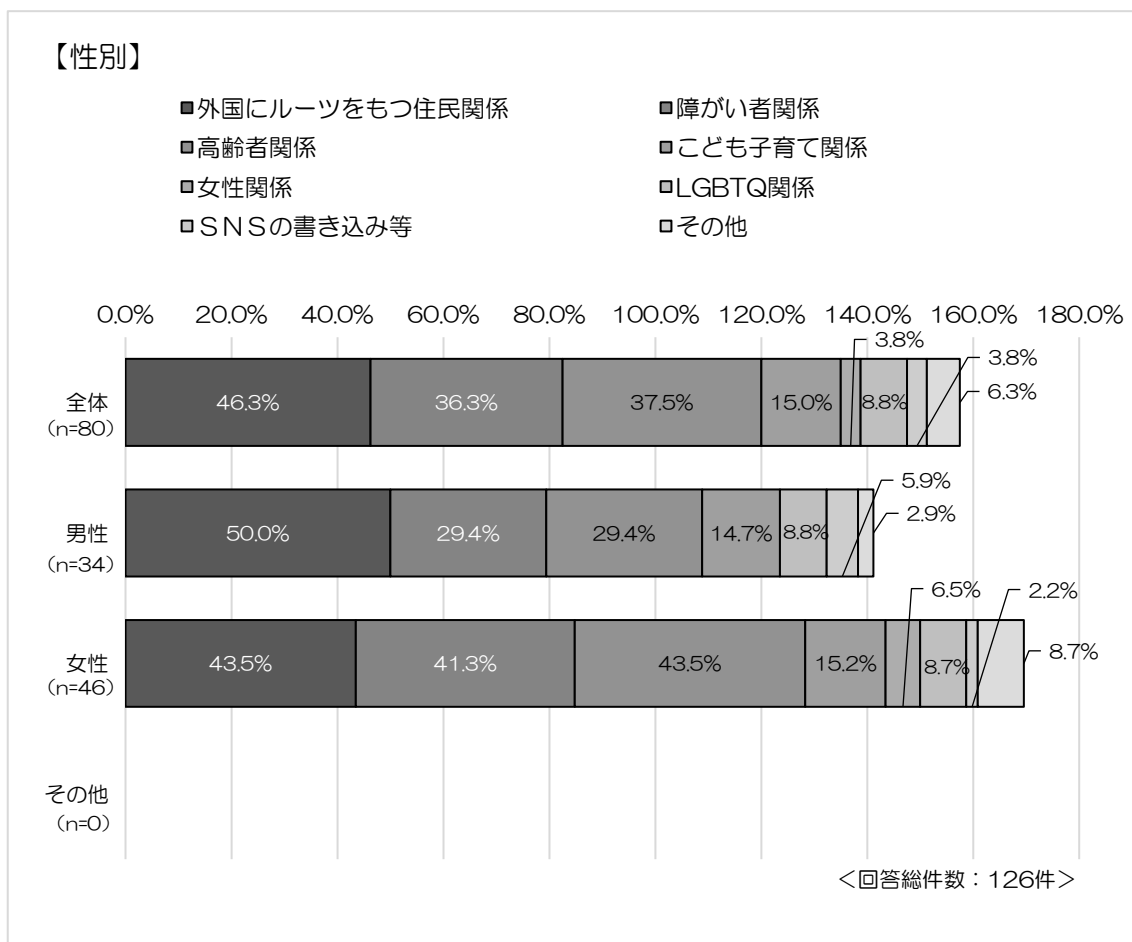






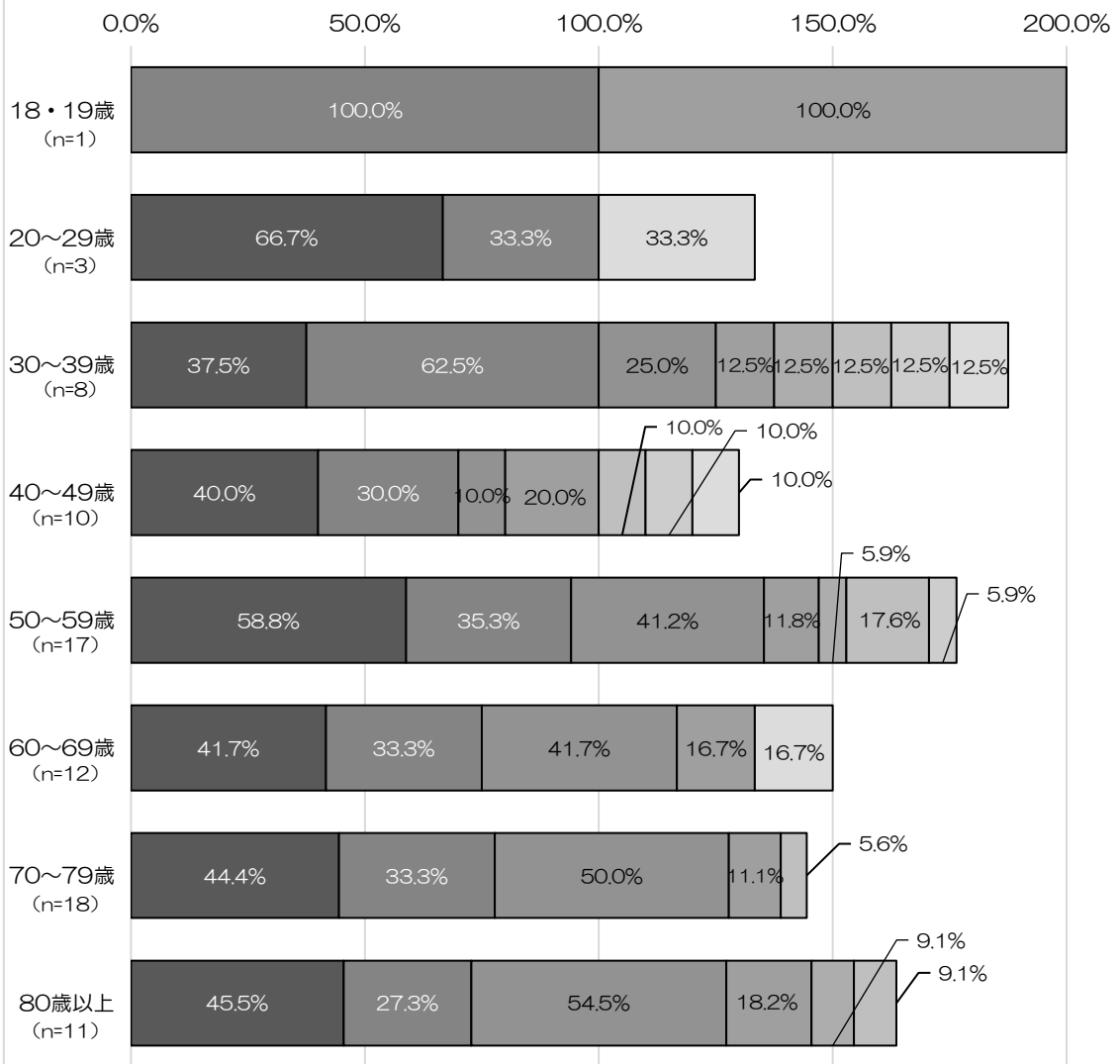
問 20	問 19 で、「どちらかといえばそうでない」「そうでない」とお答えした方へおたずねします。あなたはこういったことでそう感じますか。	複数回答
------	---	------

全体の 46.3%の方が「外国にルーツをもつ住民関係」と答え、次いで「高齢者関係」が 37.5%、「障がい者関係」が 36.3%でした。「外国にルーツをもつ住人関係」は男性の回答が 50.0%で、「高齢者関係」と答えたのは女性の方が多く 43.5%でした。各年代ともに「外国にルーツをもつ住人関係」の回答が多くなっています。また、「30～39 歳」では「障がい者関係」が 62.5%で最も多く、「60～69 歳」では「高齢者関係」と並んで 41.7%で、70 歳以上では「高齢者関係」が最も多くなりました。居住年数別では「1 年未満」で「外国にルーツをもつ住人関係」との回答が最も多く 66.7%でした。



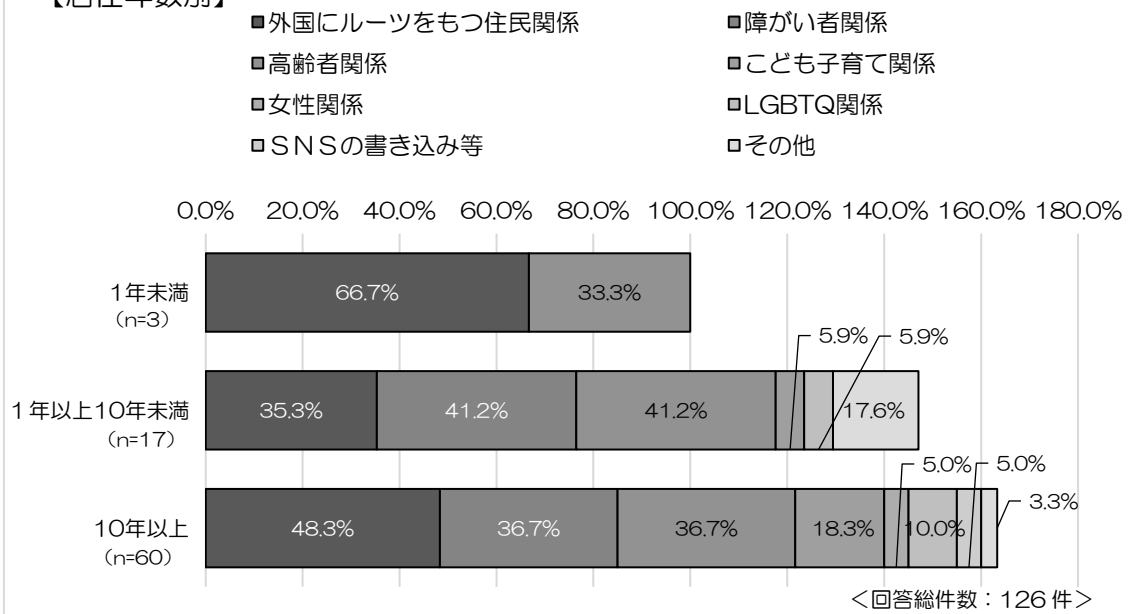
【年代別】

- 外国にルーツをもつ住民関係
- 障がい者関係
- 高齢者関係
- こども子育て関係
- 女性関係
- LGBTQ関係
- SNSの書き込み等
- その他



<回答総件数：126件>

【居住年数別】

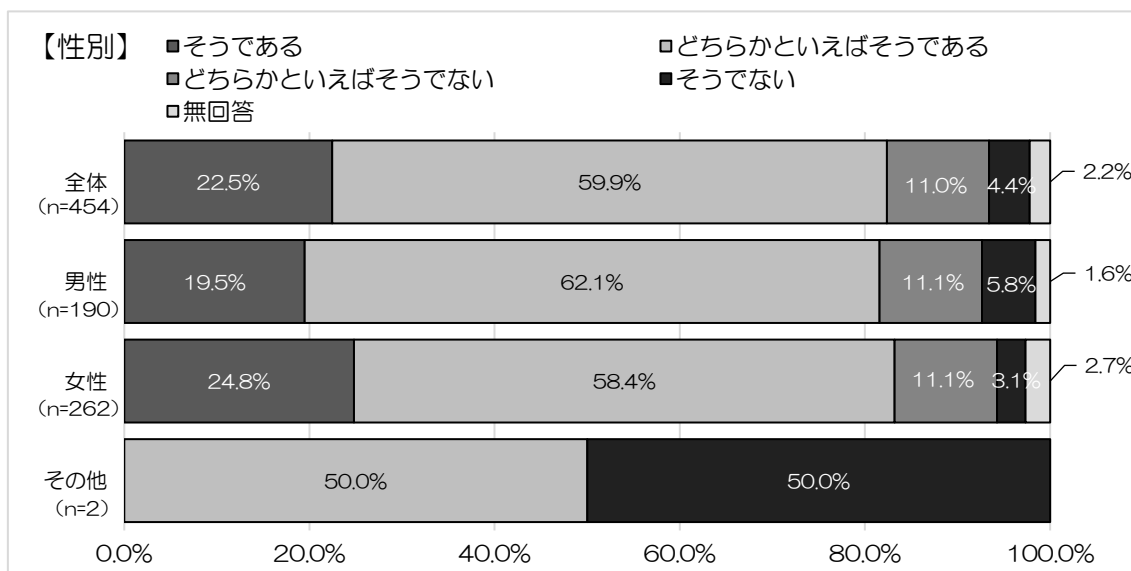
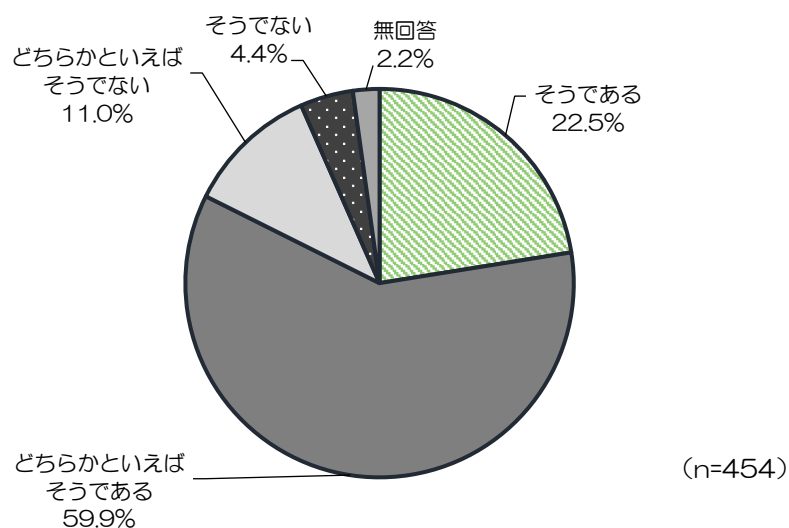


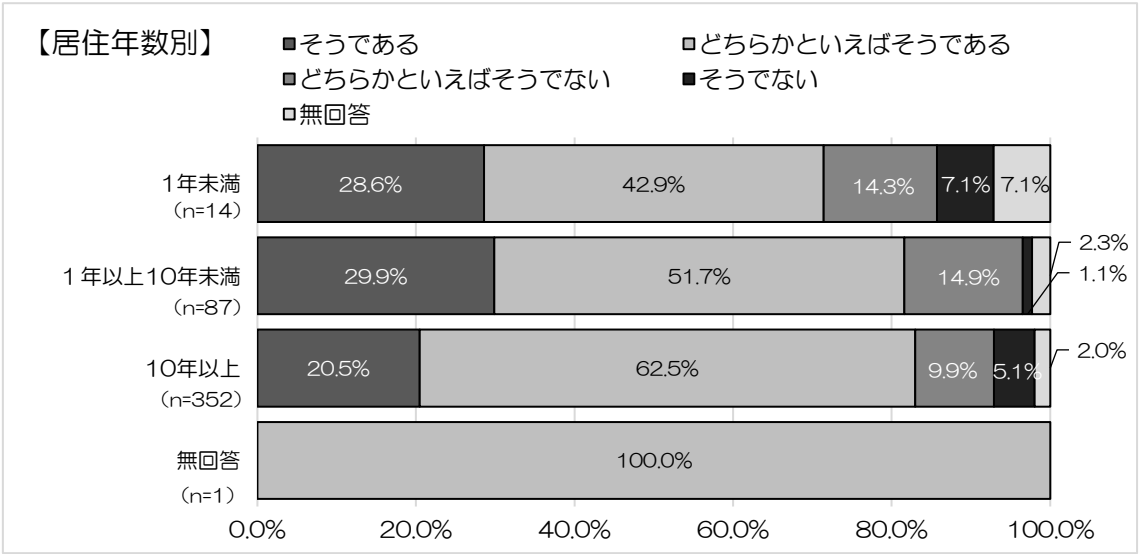
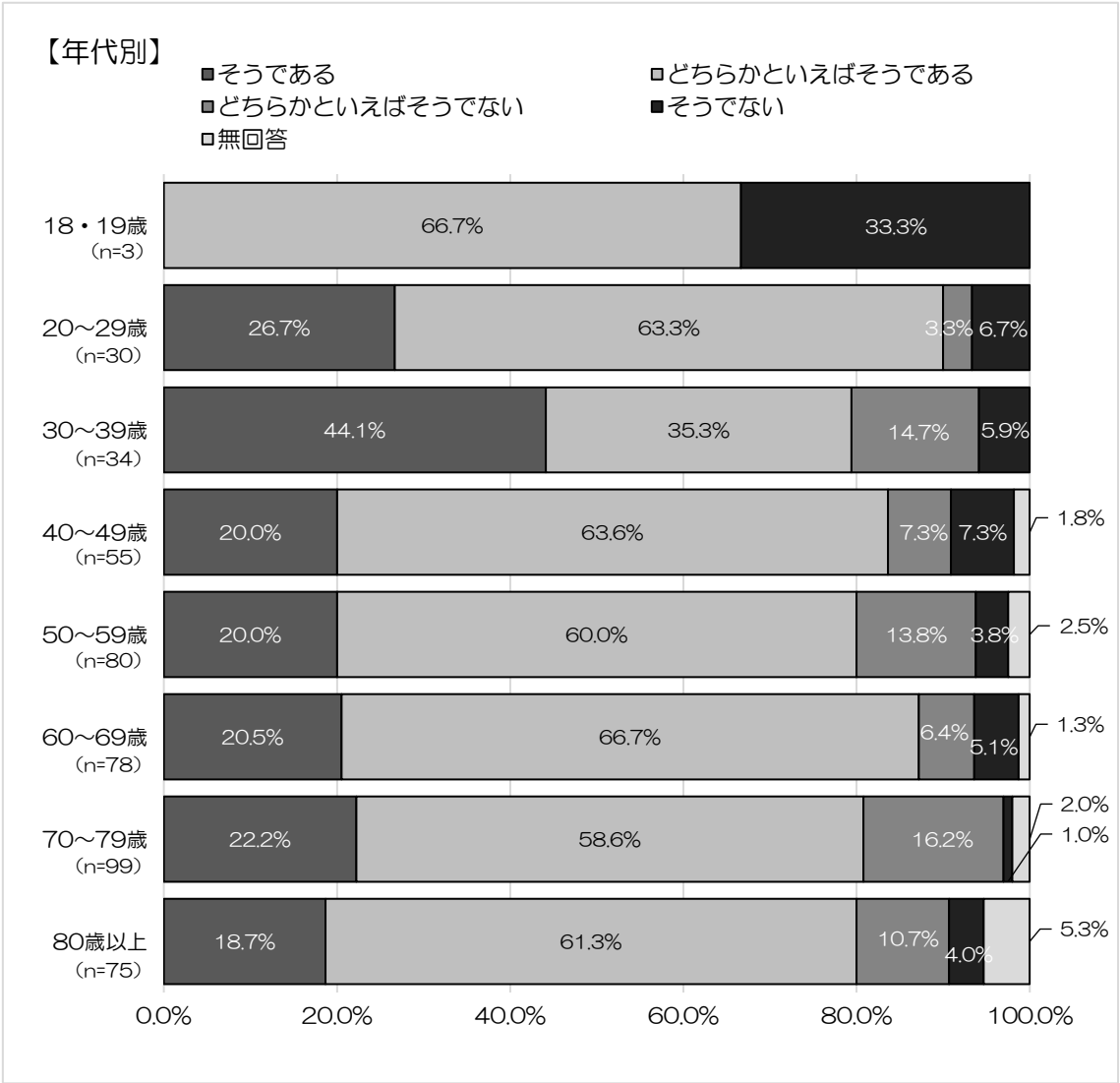
問 21

あなたは、生野区は外国にルーツをもつ住民が地域住民の一員として安心して暮らすことができるまちであると感じますか。

単一回答

全体の 59.9%は「どちらかといえばそうである」と答え、「そうである」と合わせ 82.4%が肯定的な回答となりました。性別、年代別、居住年数別の違いは大きくありませんが、「30～39 歳」で「そうである」の割合が 44.1%と高くなりました。



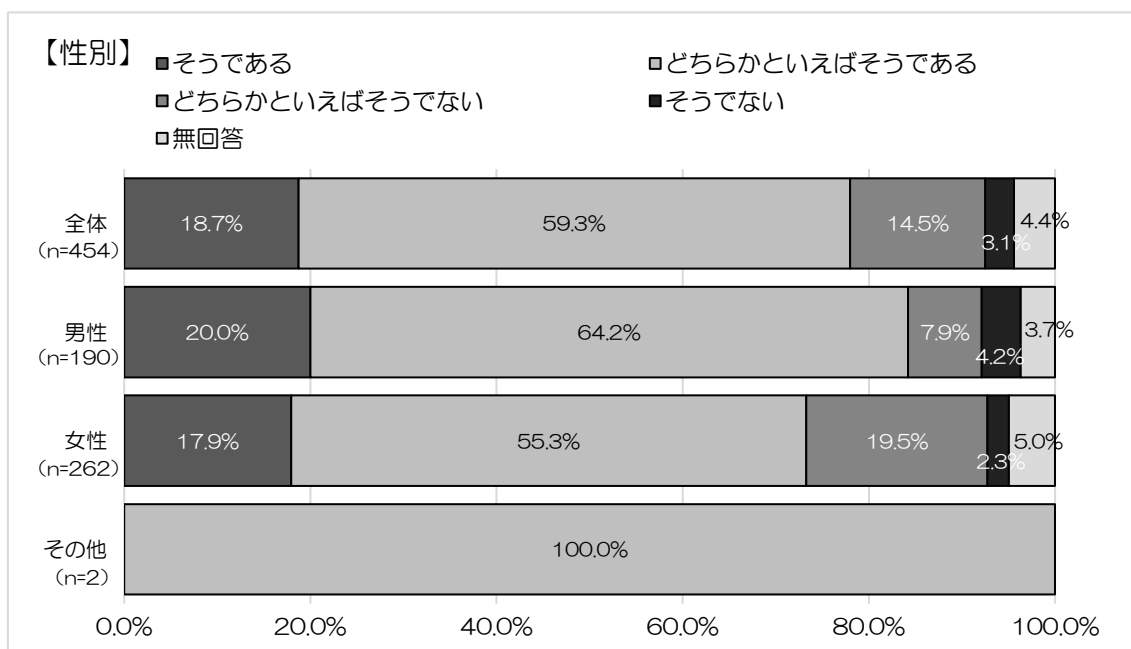
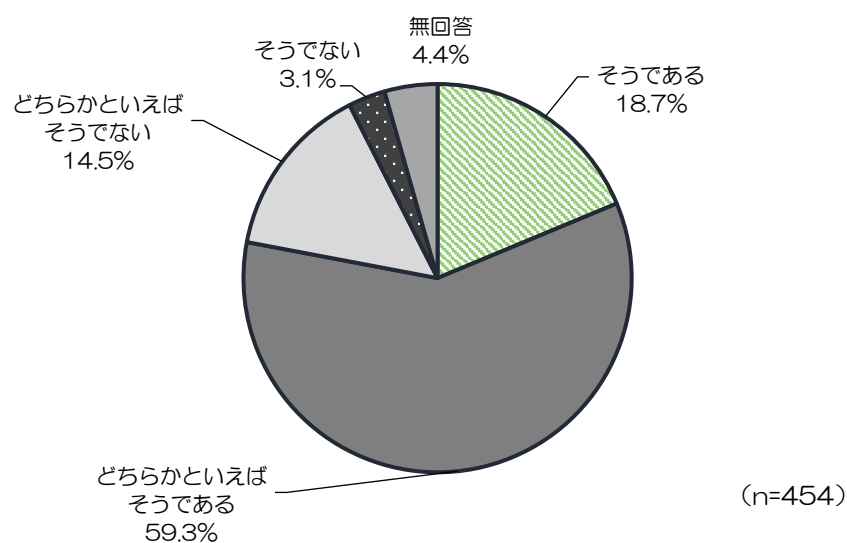


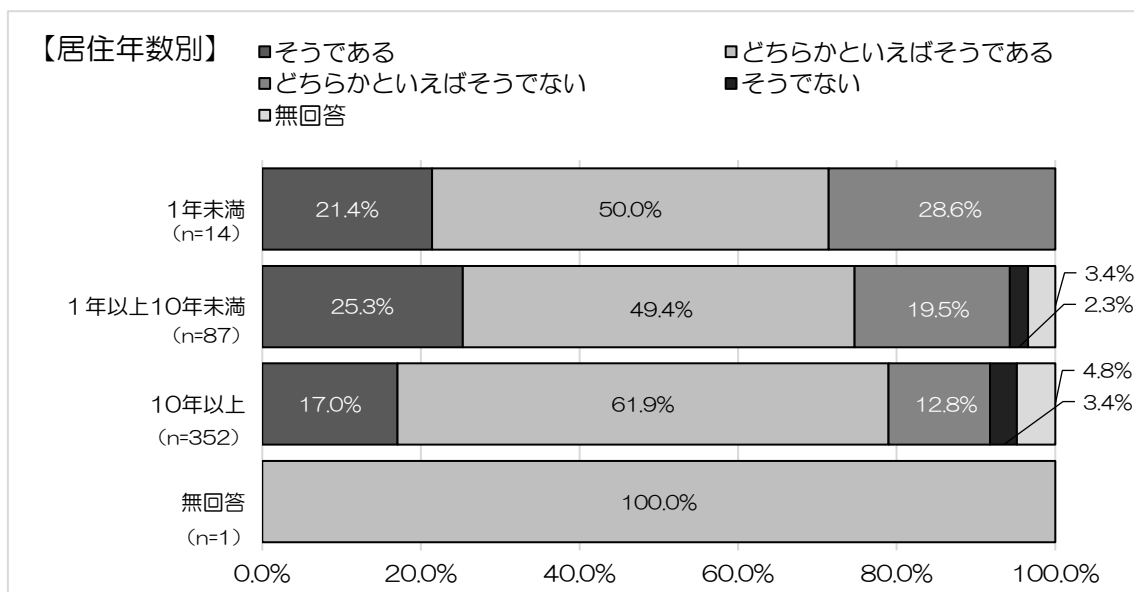
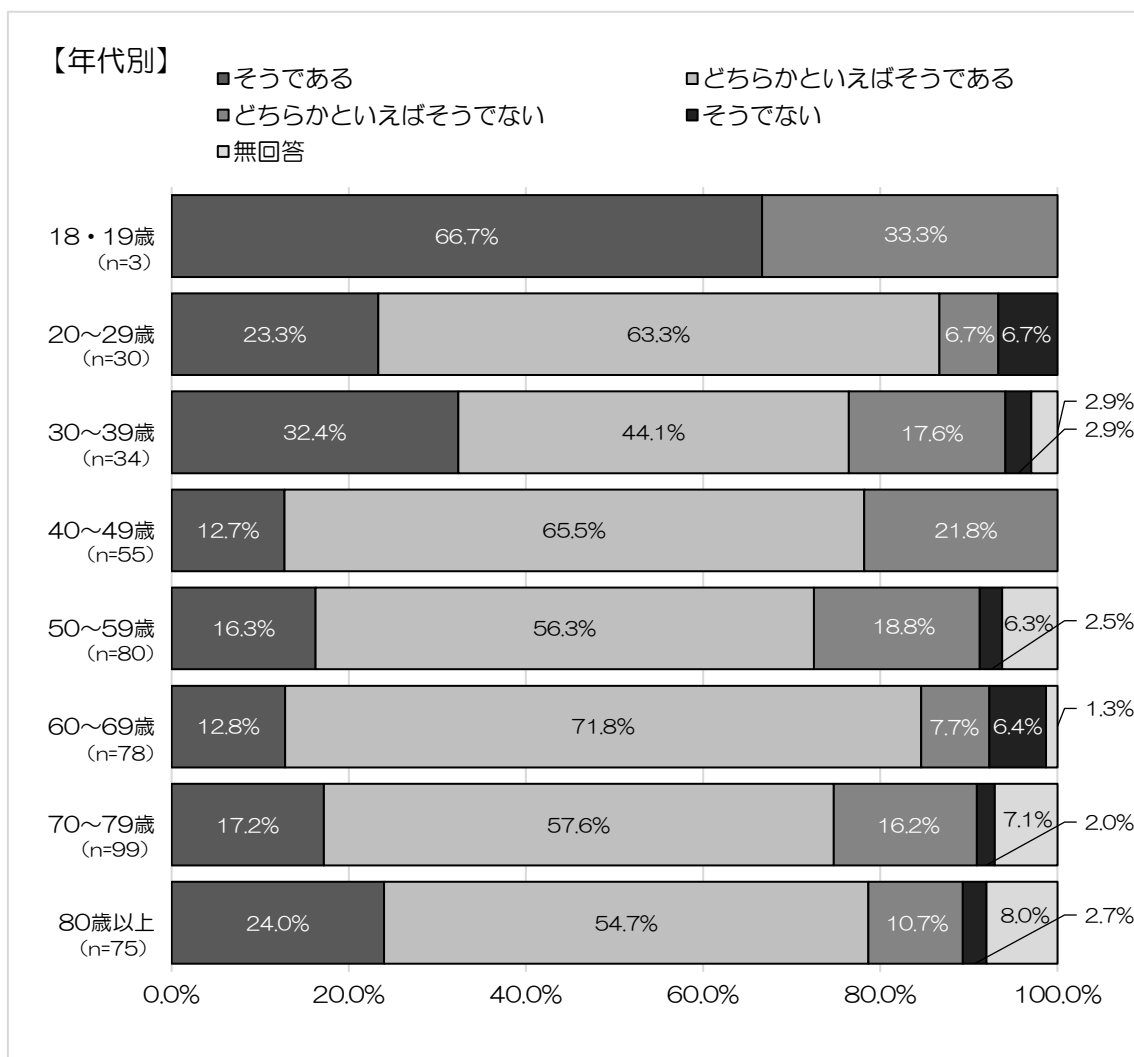
問 22

あなたは、生野区役所の情報発信が、外国にルーツをもつ住民に対して配慮されていると感じますか。

単一回答

「どちらかといえばそうである」が 59.3%で、「そうである」と合わせ肯定的な意見が 78.0%でした。性別、年代別、居住年数別の違いが大きいのは問 21 と同様の傾向で、「30～39 歳」で「そうである」の割合が 32.4%と高くなりました。



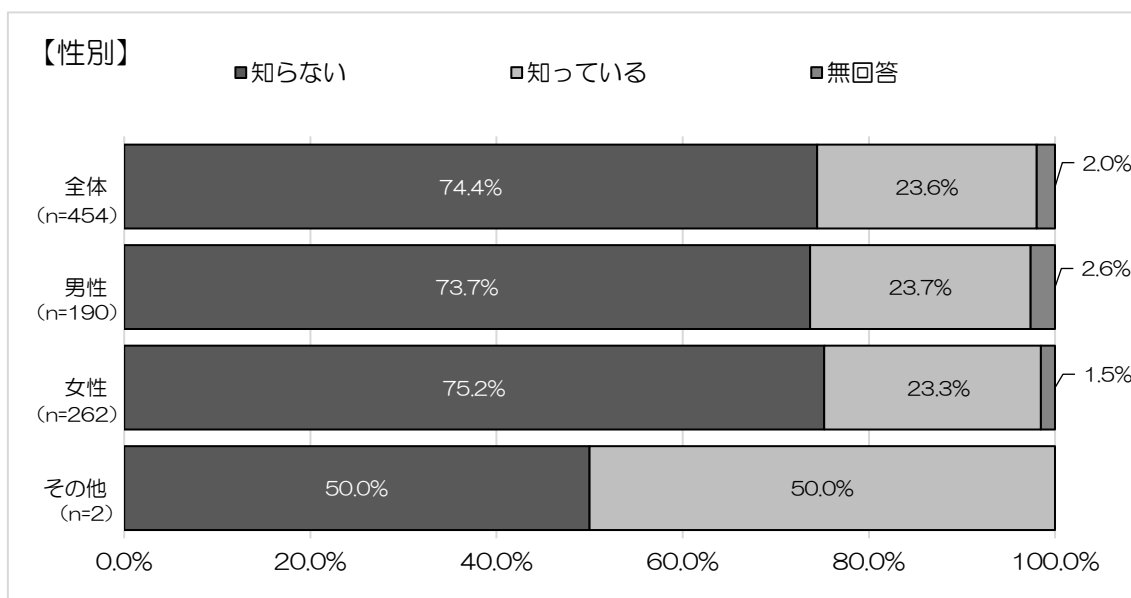
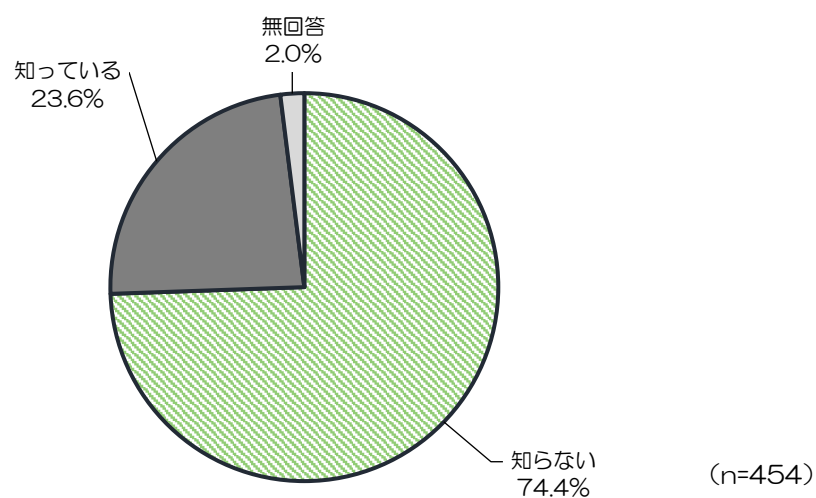


問 23

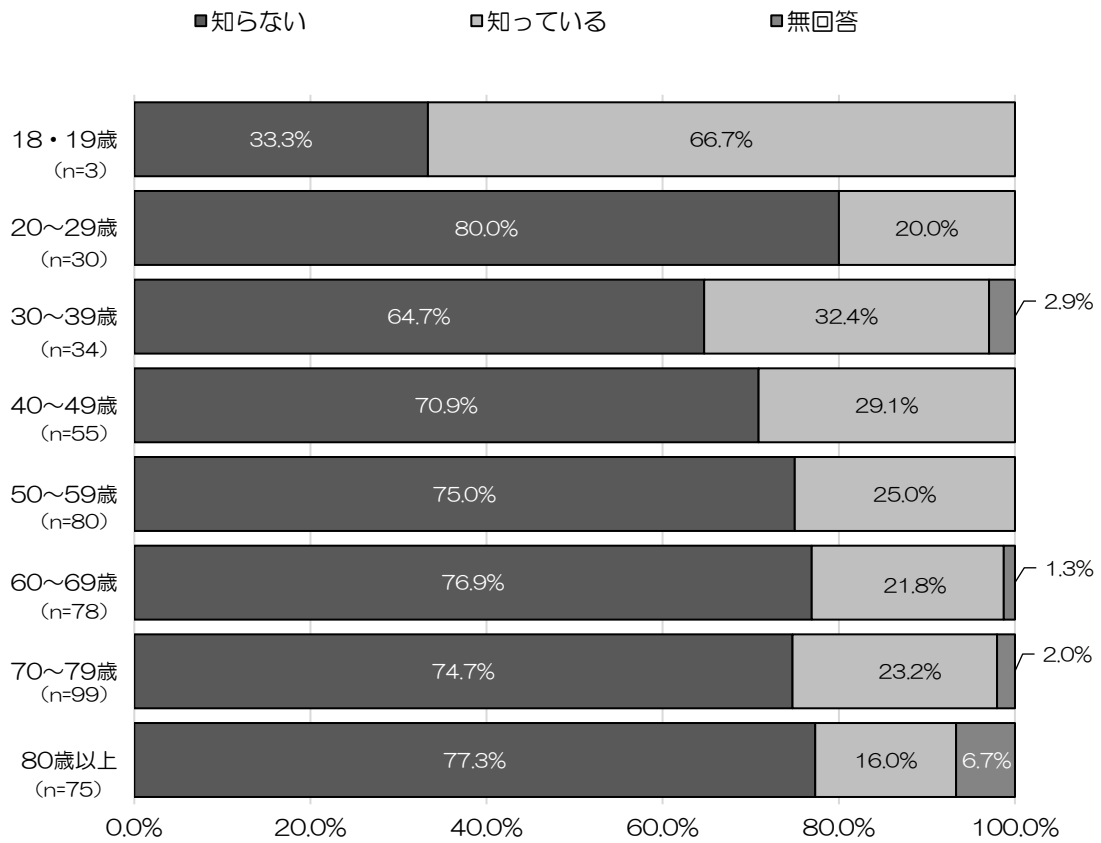
生野区役所では「やさしい日本語」を広めようと取組みを進めています。あなたは、「やさしい日本語」のことを知っていますか。

単一回答

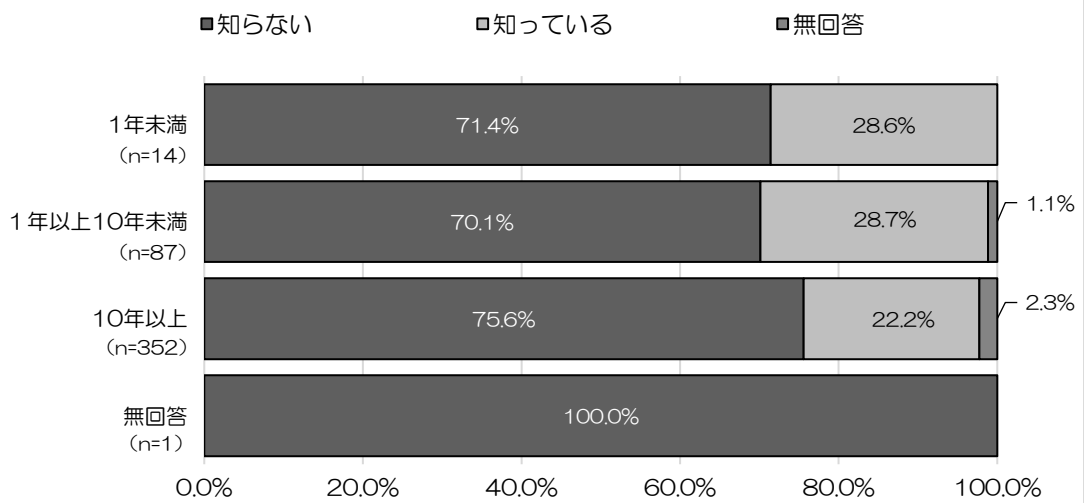
「知っている」方は 23.6%で、性別や居住年数の違いは見られませんでした。年代別では「30～69 歳」の間では年齢が上がるにつれ「知っている」と答えた割合が下がっています。「30～39 歳」は 32.4%の方が「知っている」と答えています。



【年代別】



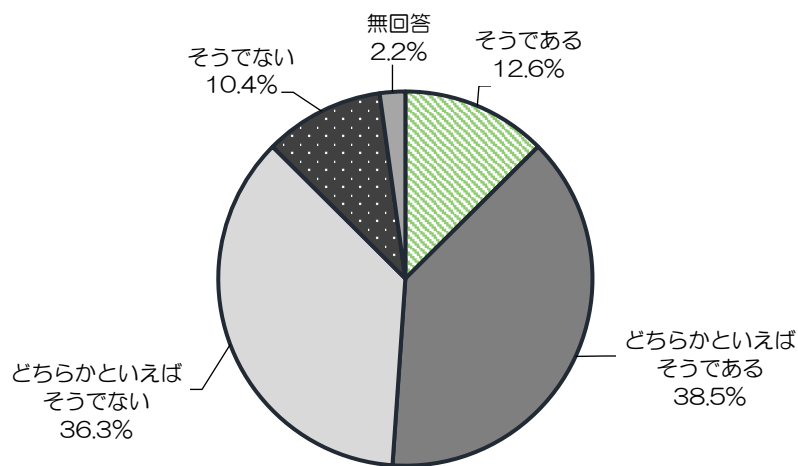
【居住年数別】



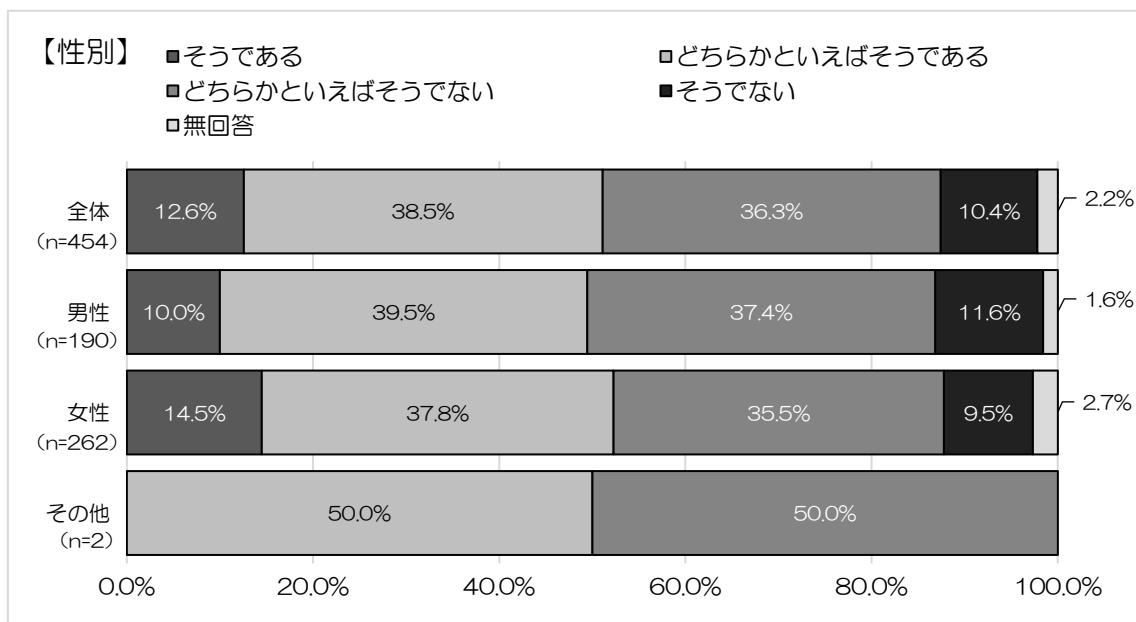
5. まちの魅力・シティプロモーションについて

問 24	あなたは、生野区のまちに地域の賑わいや活気が出てきたと感じますか。	単一回答
------	-----------------------------------	------

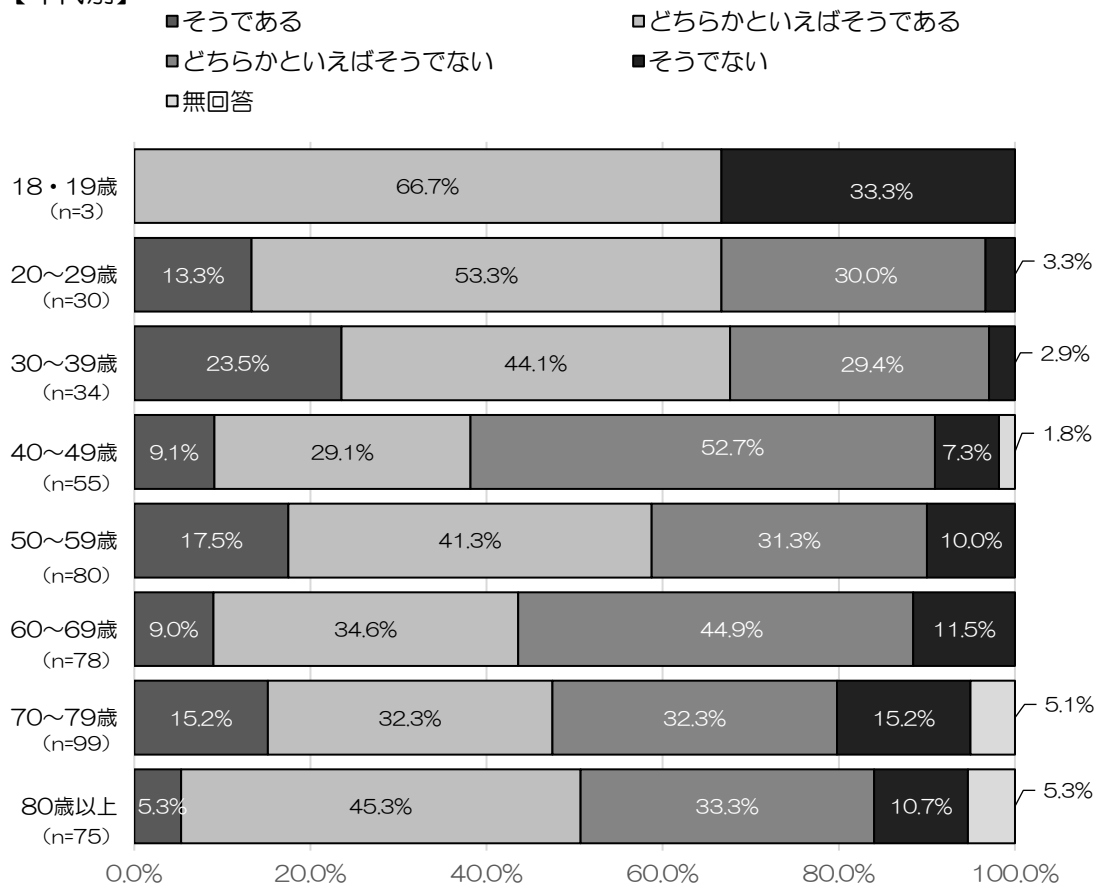
全体の 12.6%が「そうである」と答えています。「そうである」と答えたのは男性より女性が多く 14.5%であり、年代別では「30～39 歳」が多く 23.5%、居住年数別では「1 年未満」が多く 21.4%でした。



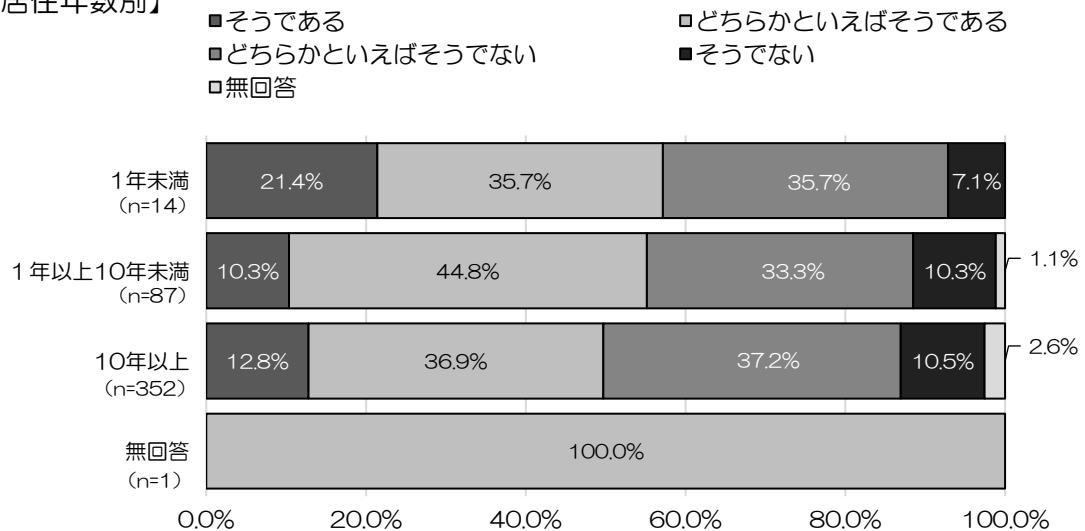
(n=454)



【年代別】



【居住年数別】

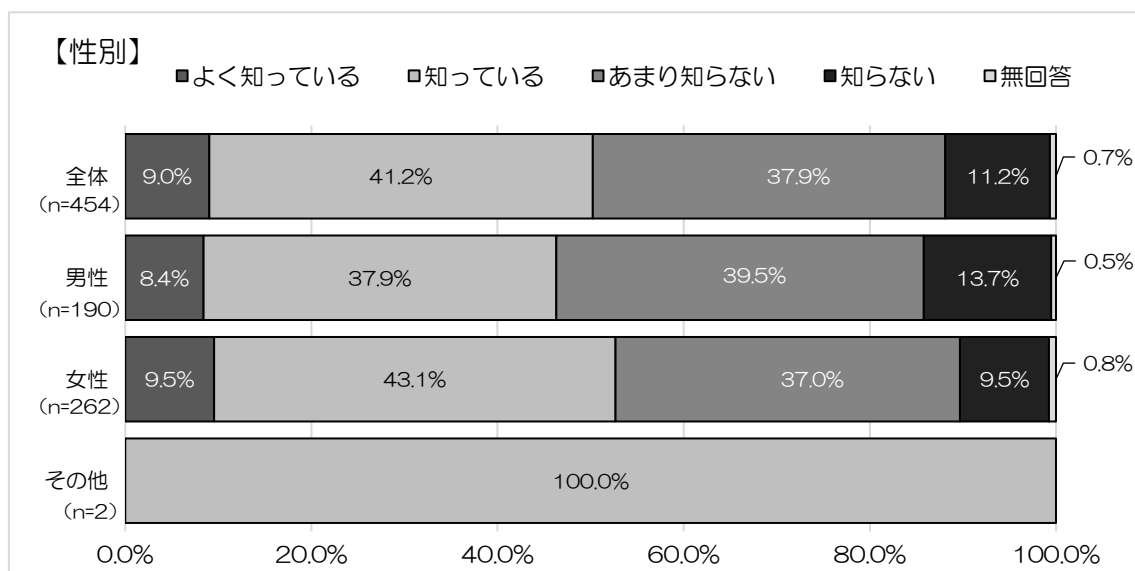
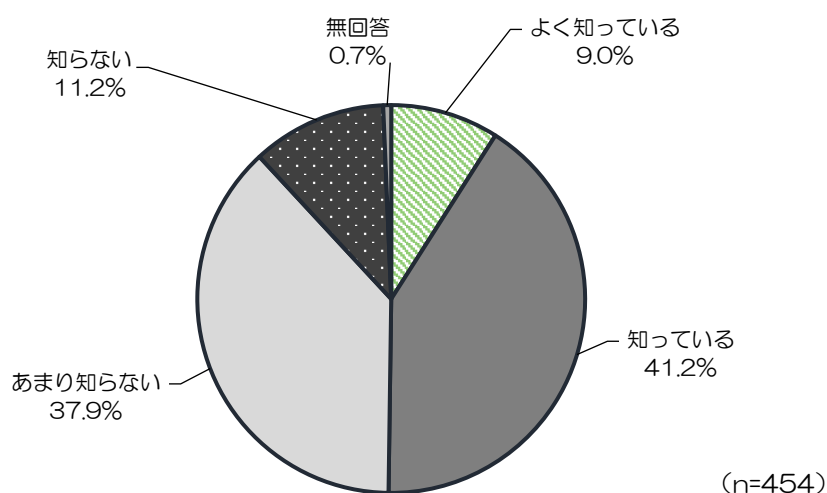


問 25

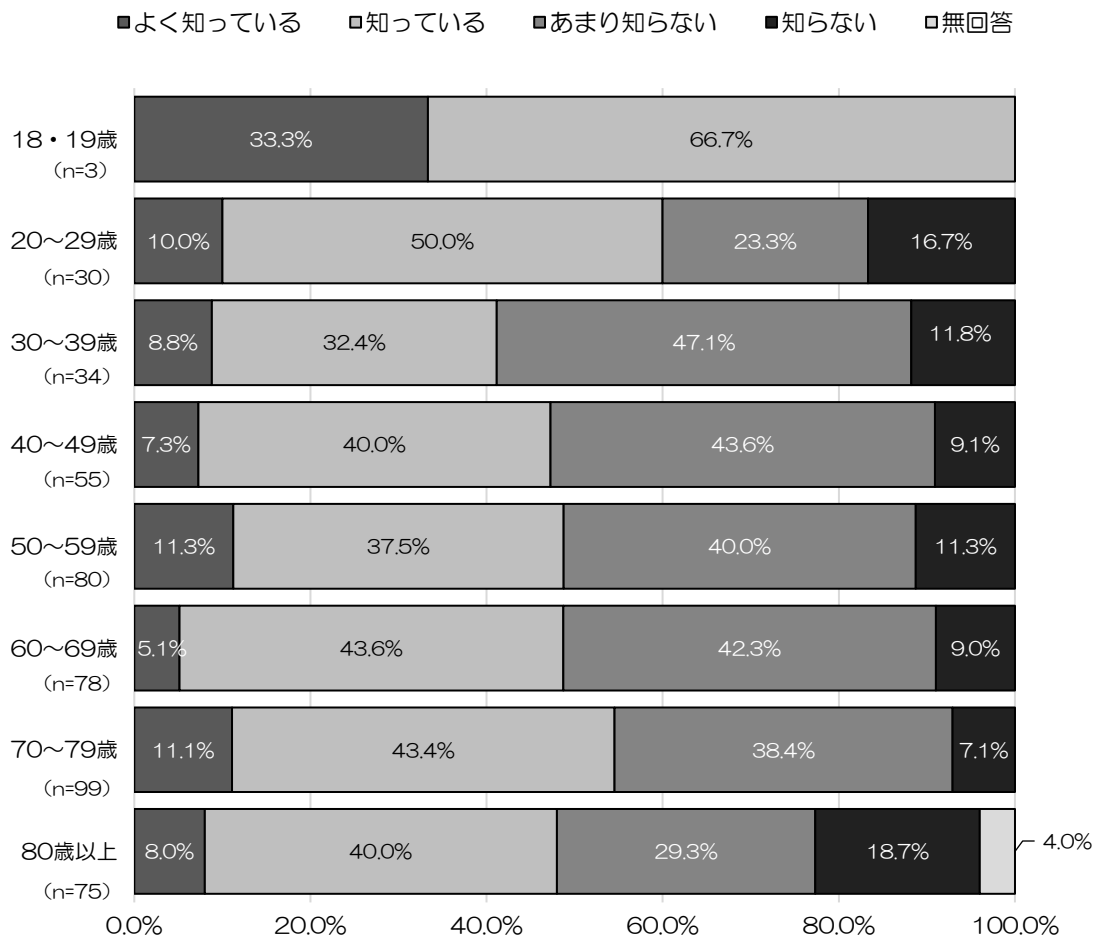
あなたは、生野のまちを盛り上げようと地域でイベントや行事などさまざまな取組みが行われていることを知っていますか。

単一回答

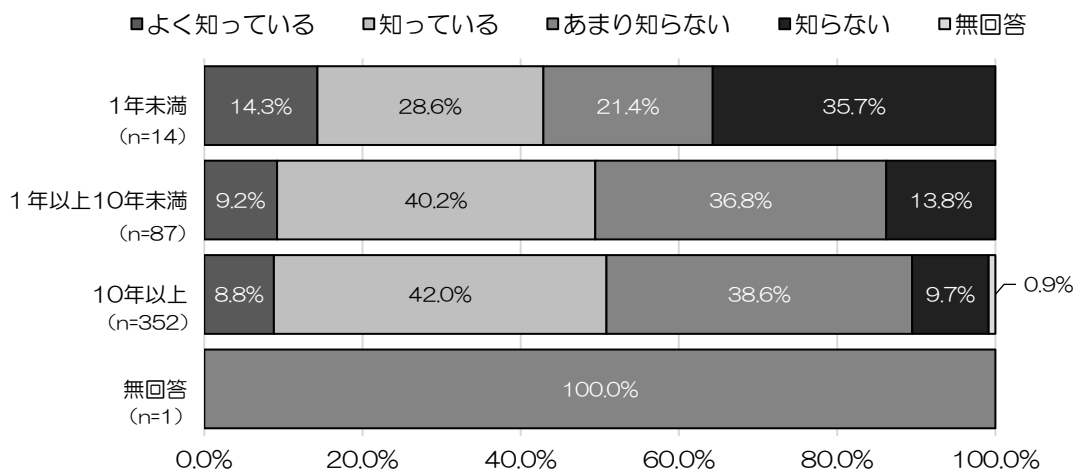
「よく知っている」と「知っている」を合わせ、ほぼ半数の 50.2%が取組みを知っていました。性別、年代別、居住年数別の傾向の違いは大きくありませんが、「30～39 歳」では「あまり知らない」「知らない」の合計が半数を上回っています。



【年代別】



【居住年数別】

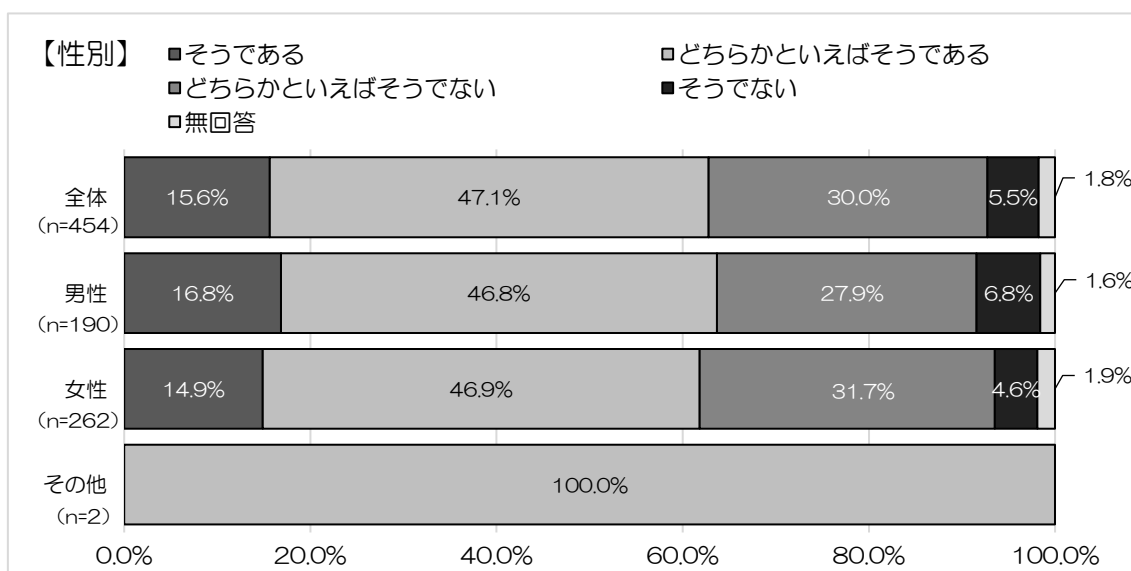
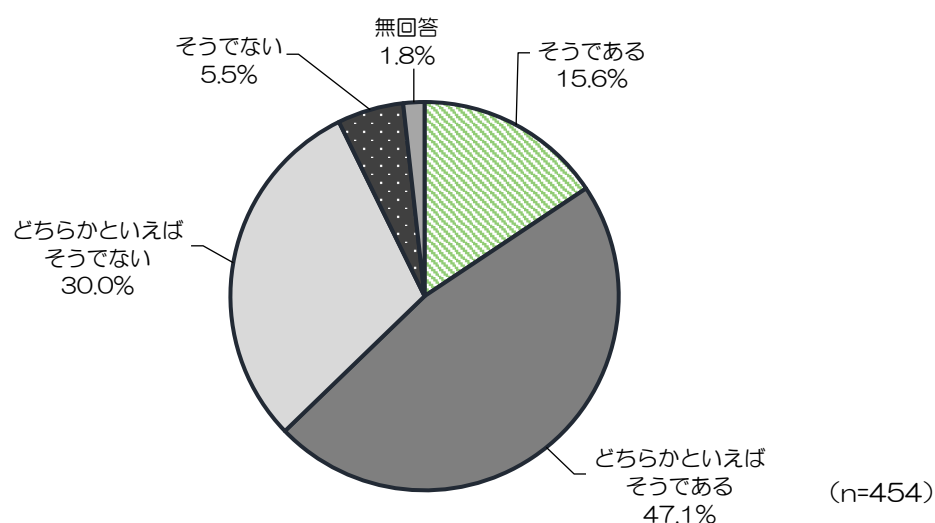


問 26

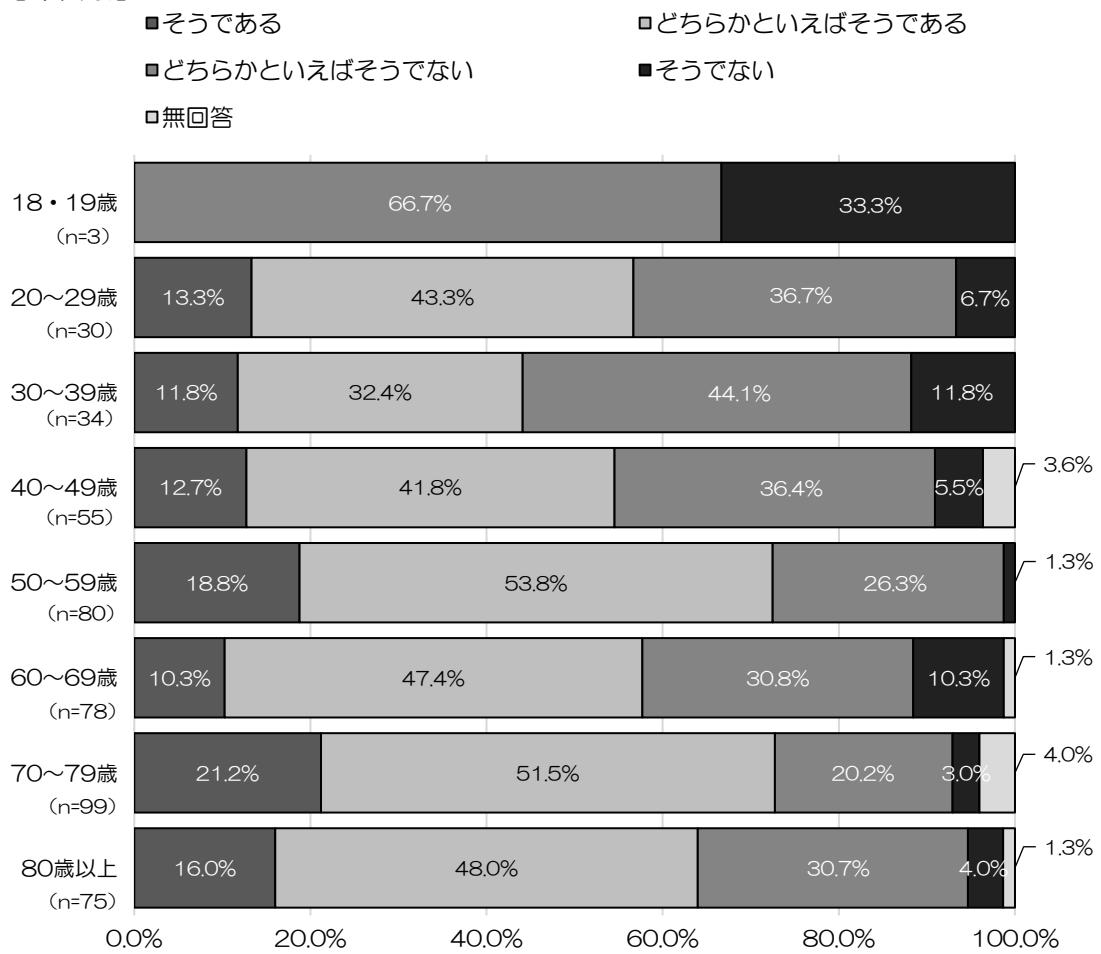
あなたは、生野区が「ものづくりのまち」であることに魅力を感じますか。

単一回答

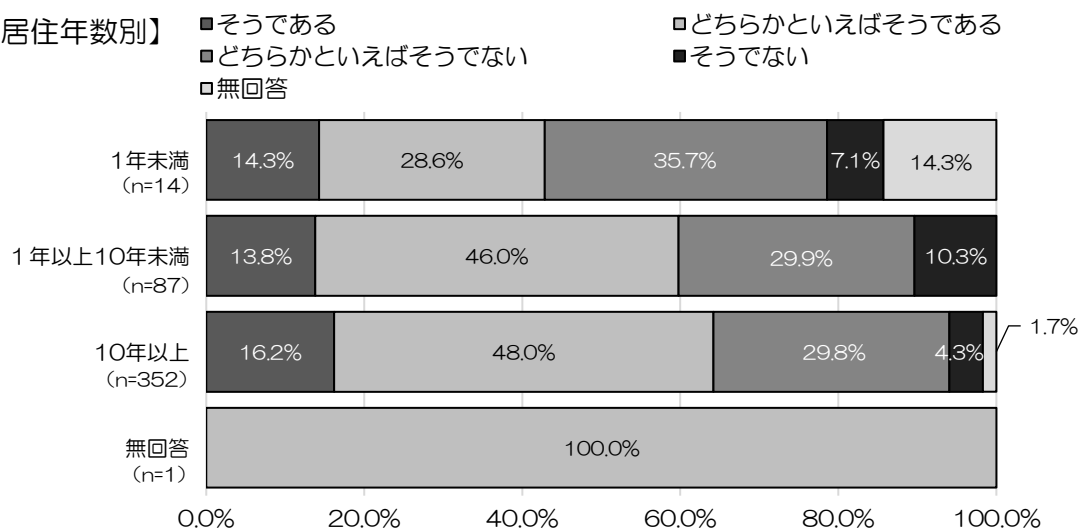
全体では「どちらかといえばそうである」と回答された方の割合が最も多く 47.1%となりました。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は 62.7%となり、6割強の方が魅力を感じている結果となりました。性別では、肯定的意見の大きな差異はありませんでした。年代別では肯定的意見の割合が最も低い年代は「30～39 歳」で 44.2%となりました。居住年数別では「10 年以上」の肯定的意見の割合は 64.2%と最も多い結果となりました。



【年代別】



【居住年数別】

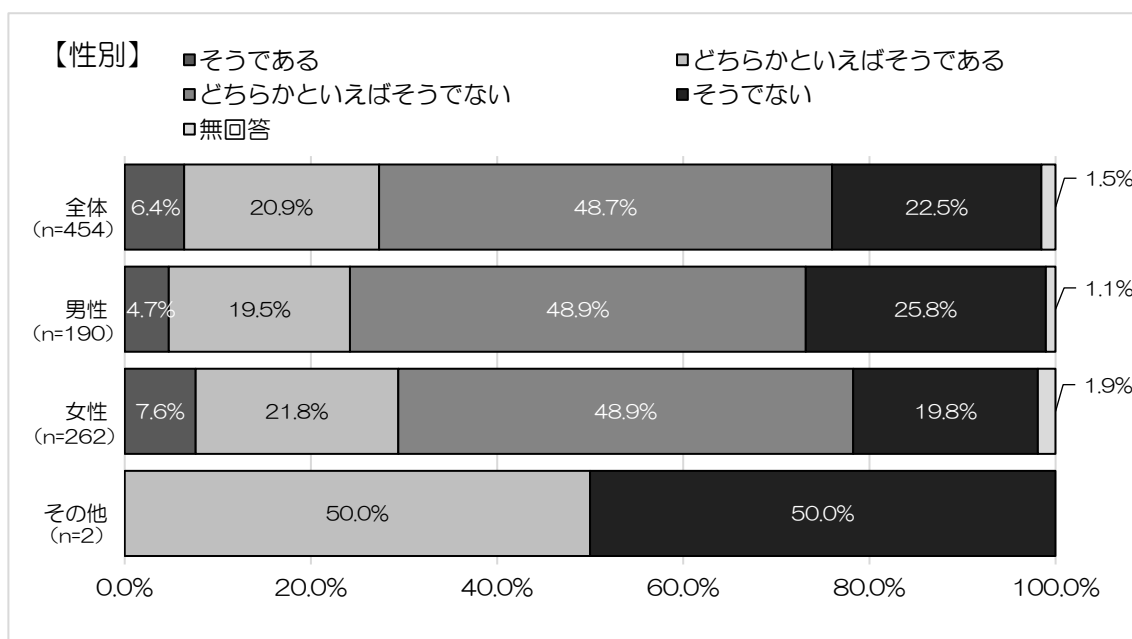
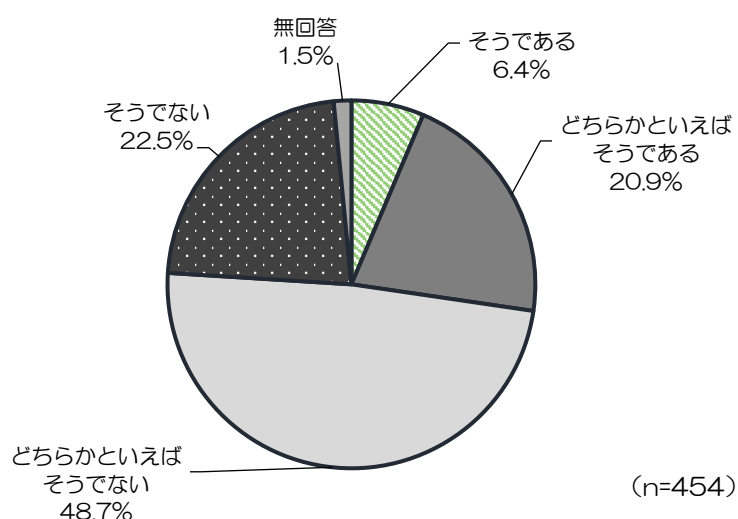


問 27

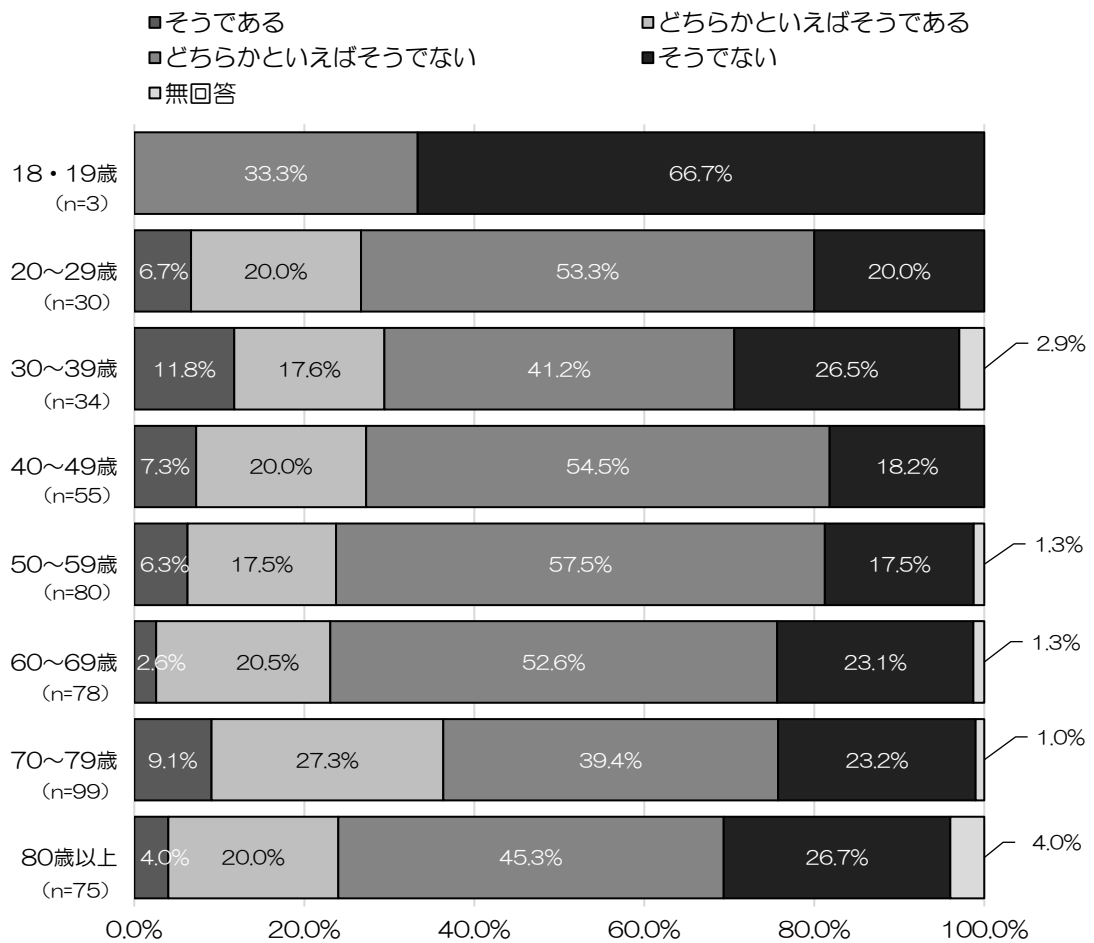
あなたは、生野区内で空き家を活用した取組みが進んでいると感じますか。

単一回答

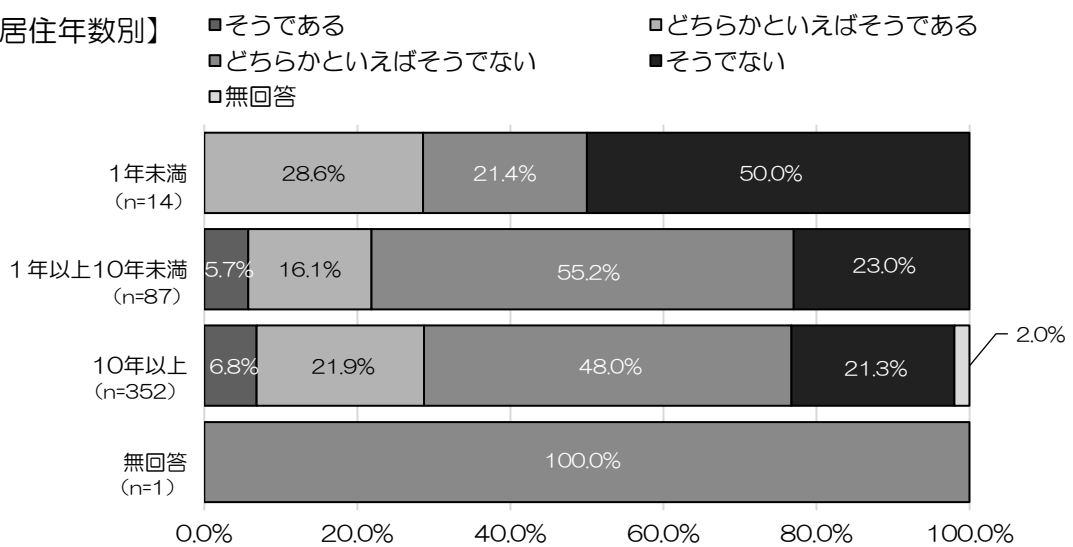
全体では、「どちらかといえばそうでない」と回答された方の割合が 48.7%、「そうでない」は 22.5%となりました。男性女性ともに「どちらかといえばそうでない」と回答された方の割合は 48.9%となり、半数近くの方が取組みは進んでいないと感じています。年代別では「そうである」と回答された方の割合が最も高かった年代は「30～39 歳」で 11.8%となりました。居住年数別では「そうでない」と「どちらかといえばそうでない」の合計は各年数ともに半数を超えています。



【年代別】



【居住年数別】

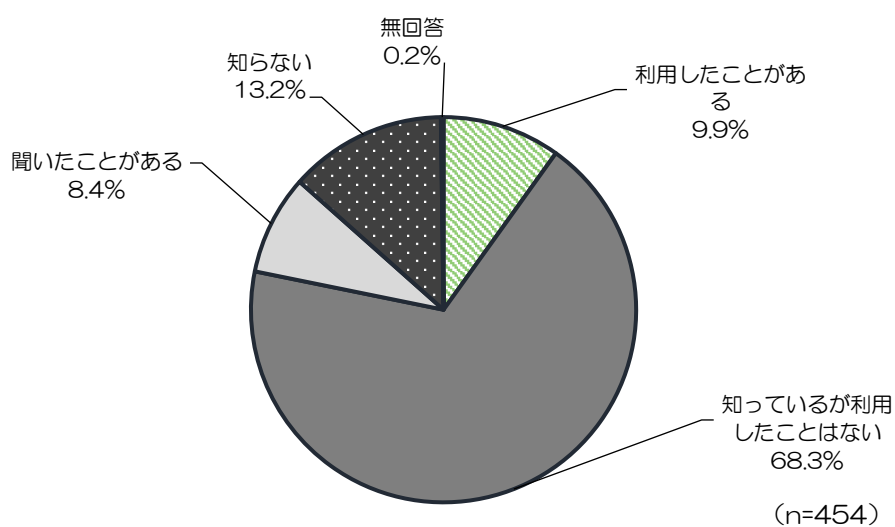


問 28

あなたは、現在、生野区内で運行している「オンデマンドバス」を利用したことがありますか。

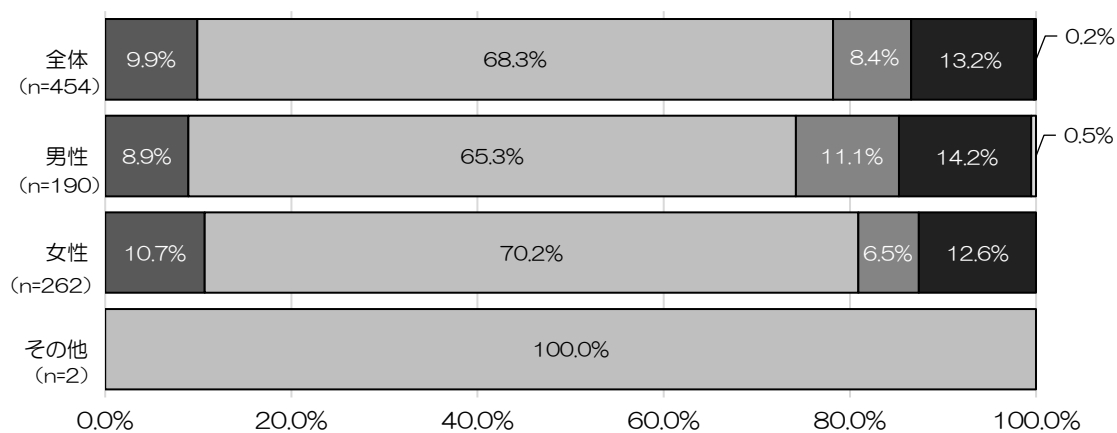
単一回答

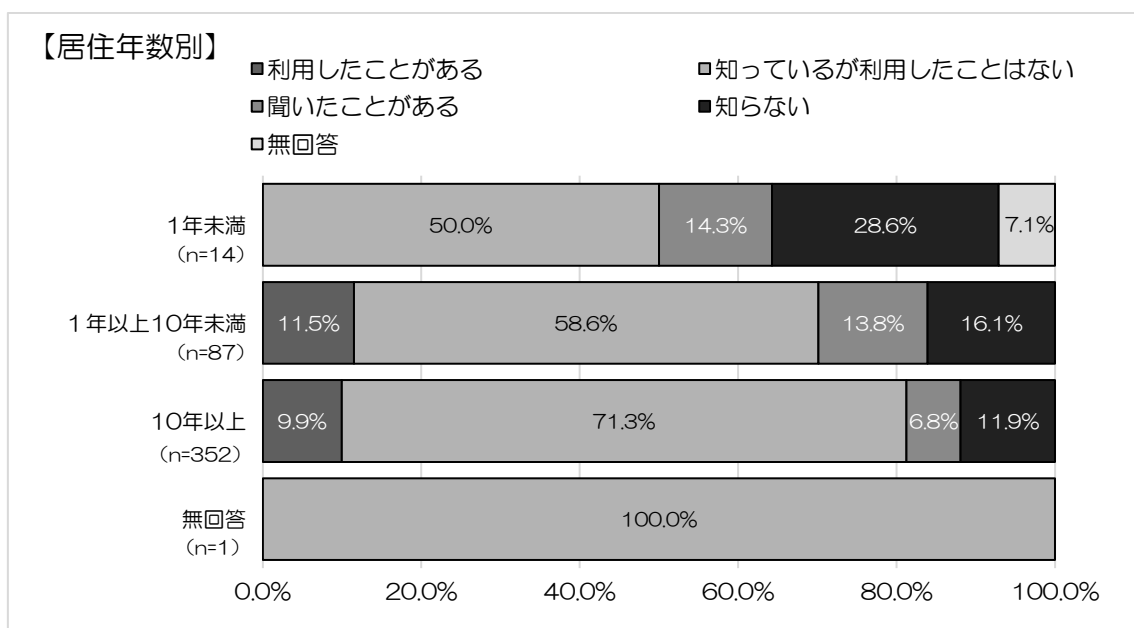
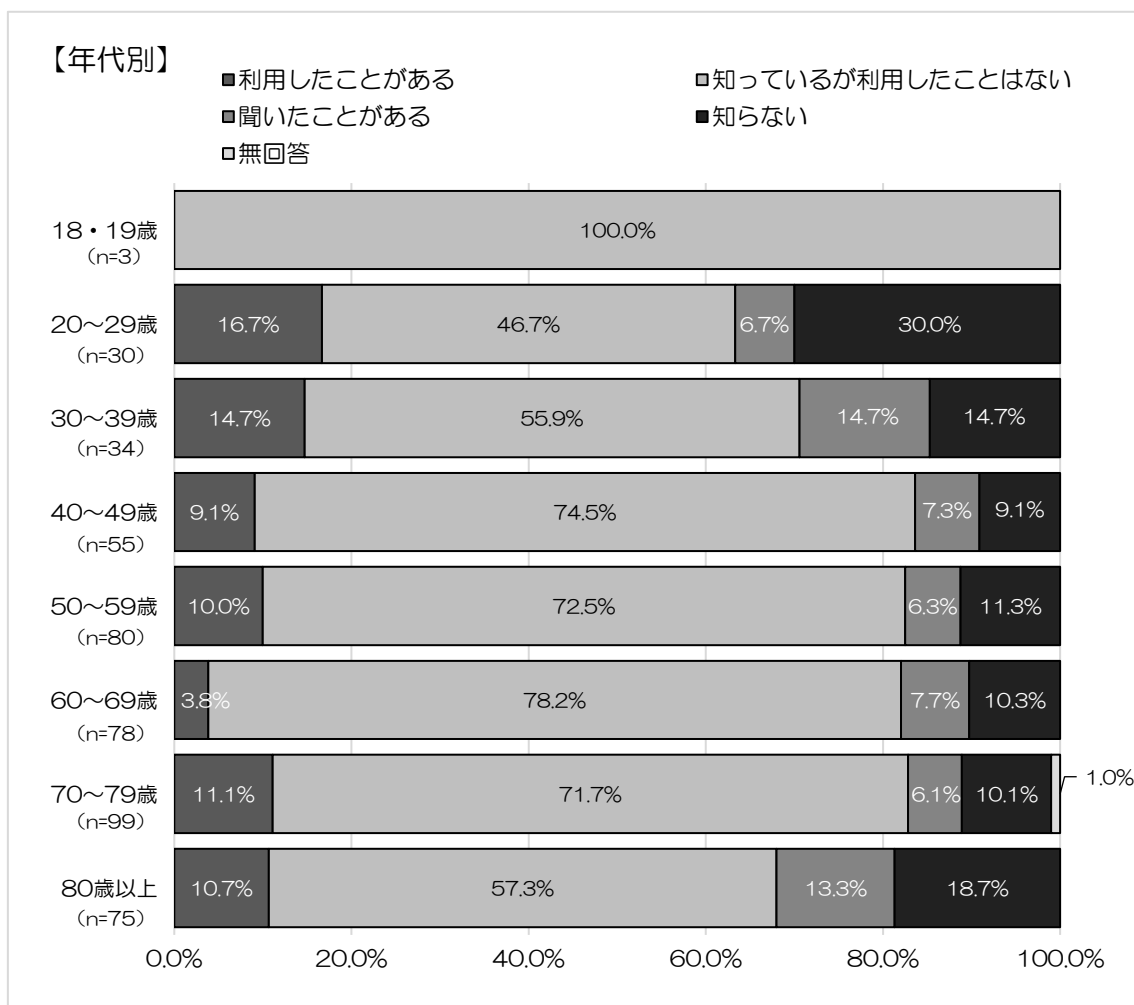
「利用したことがある」の割合は全体では 9.9%で、各年代で見てもオンデマンドバスを利用したことがある人は 17%未満となっています。全体で最も多かった回答は「知っているが利用したことはない」で、その割合は 68.3%となっており、認知状況としてみた場合、「聞いたことがある」とも合わせ、76.7%でした。性別では女性のほうが認知度は若干高く、また、居住年数の長いほうが認知度は高いとの結果となりました。



【性別】

■ 利用したことがある
■ 知っているが利用したことはない
■ 聞いたことがある
■ 知らない
■ 無回答





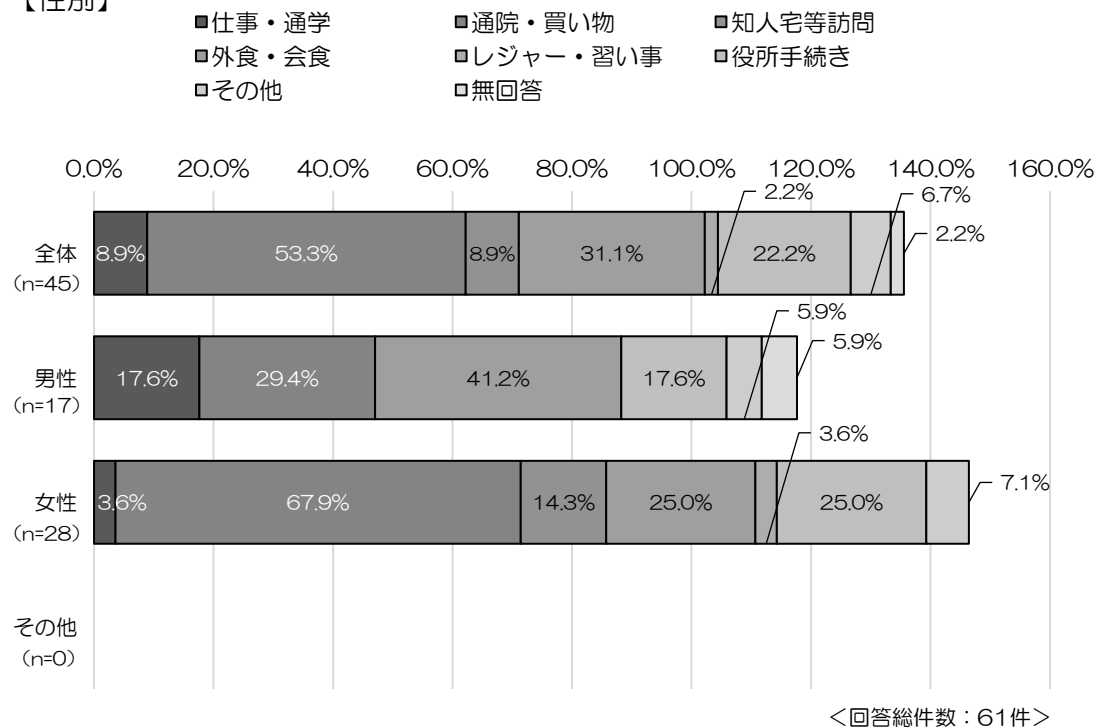
問 29

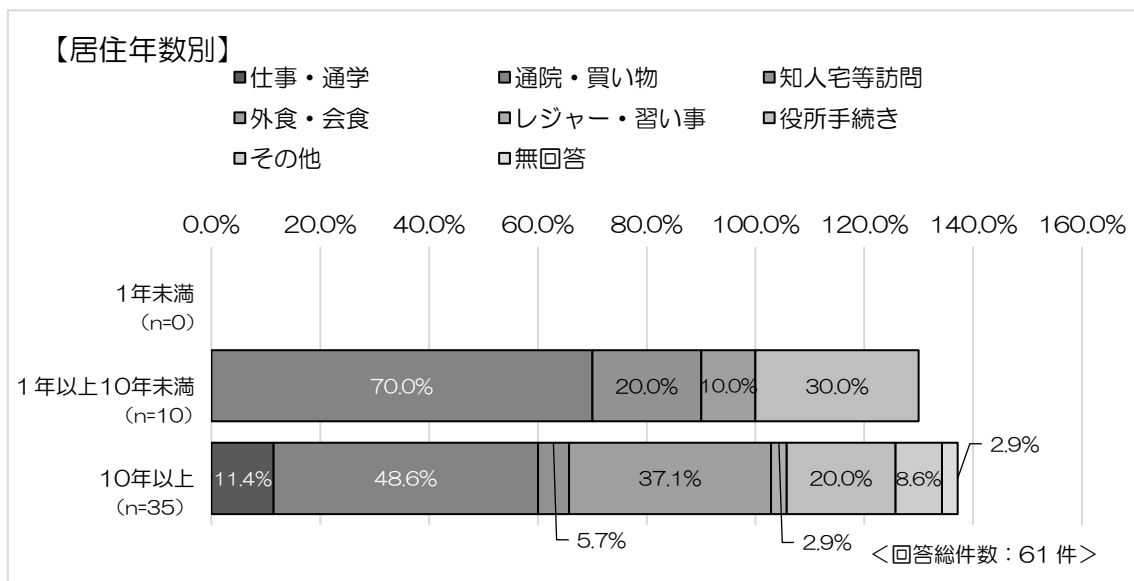
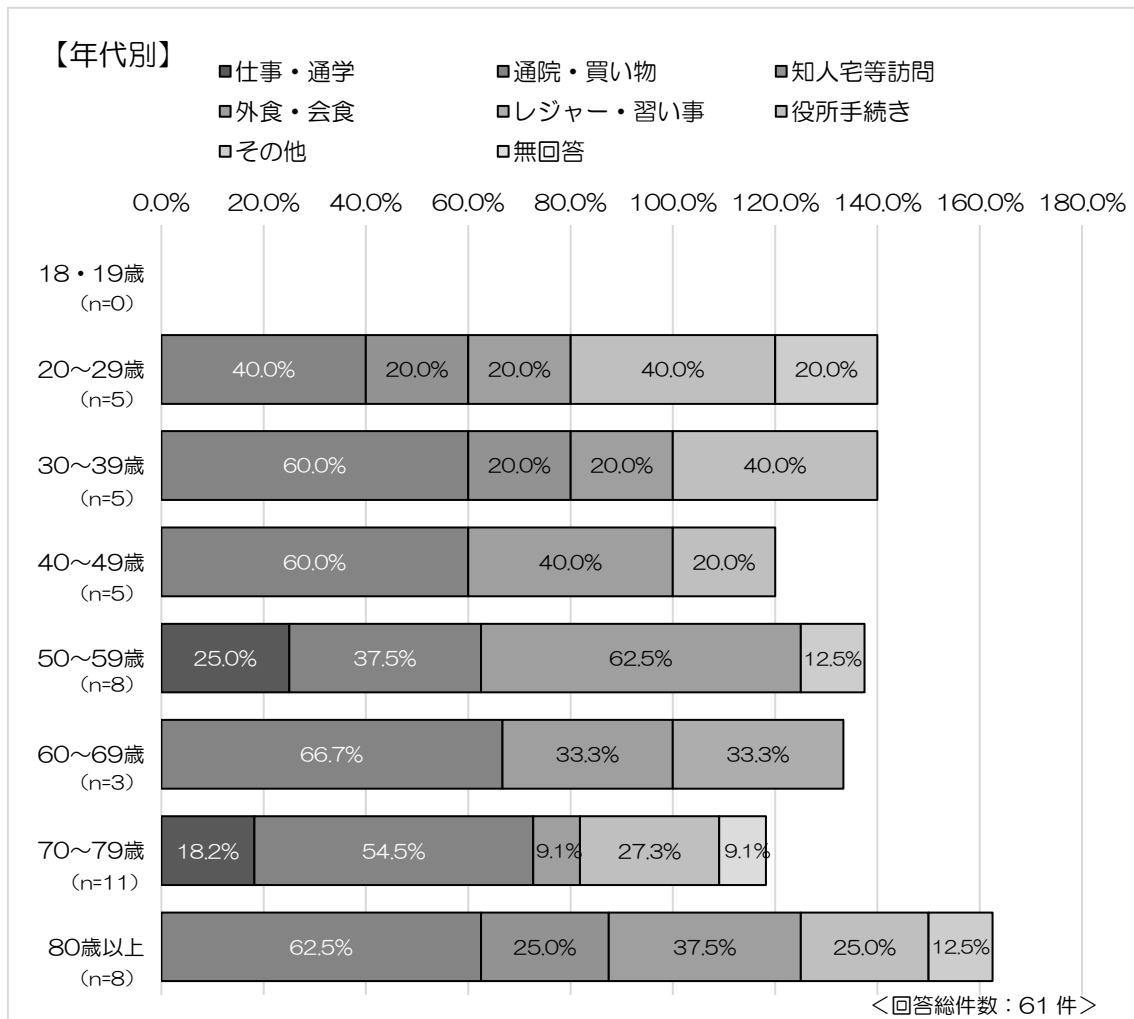
問 28 で、「利用したことがある」とお答えの方へおたずねします。
利用目的はどのようなものでしたか。

複数回答

全体では「通院・買い物」が最も多く 53.3%、「外食・会食」が 31.1%、「役所手続き」が 22.2%、と続きました。「通院・買い物」の割合は「女性」の方が高く 67.9%が、「男性」では「外食・会食」が最も多く 41.2%でした。年代別では「50～59 歳」を除いて各年代で「通院・買い物」が最も多くなりました。居住年数別では「1 年以上 10 年未満」でも「10 年以上」でも、ともに「通院・買い物」が最も多い結果となりました。

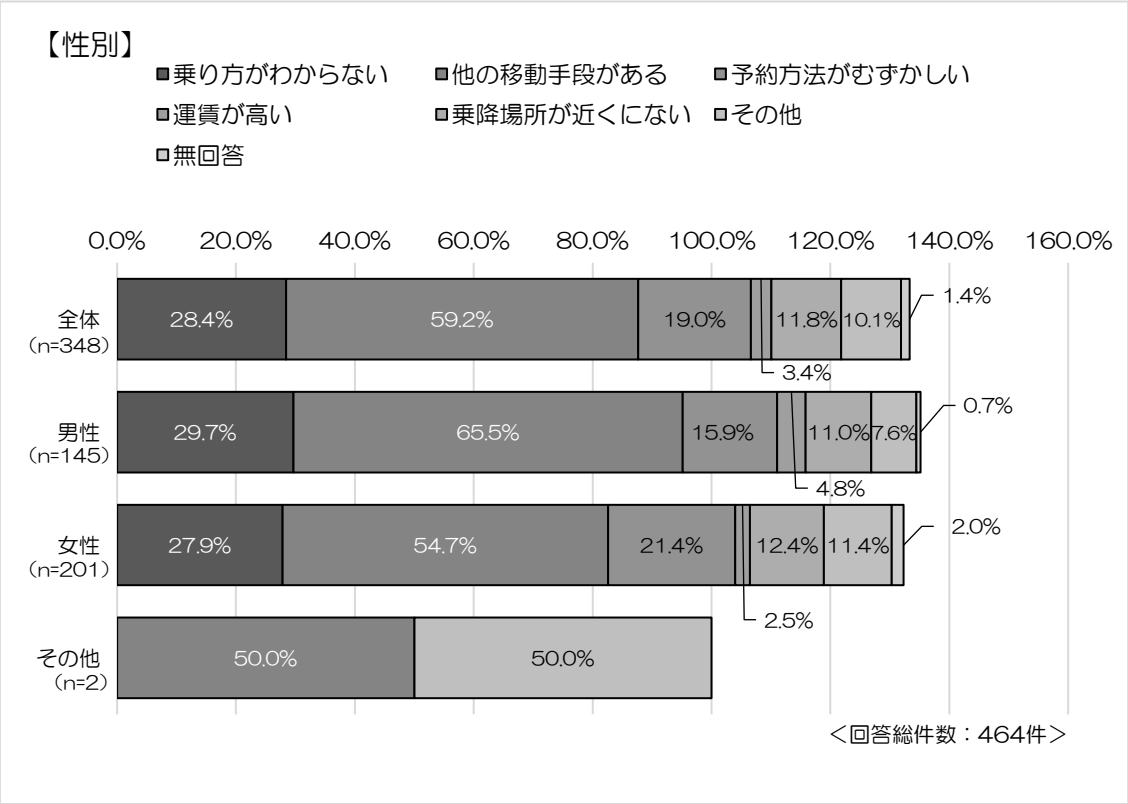
【性別】

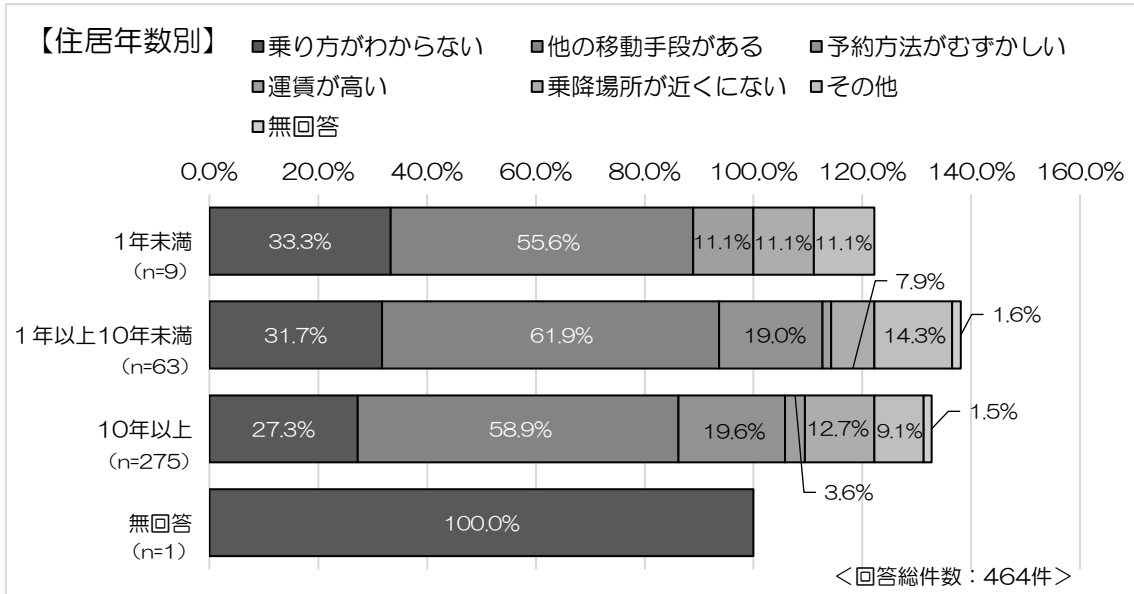
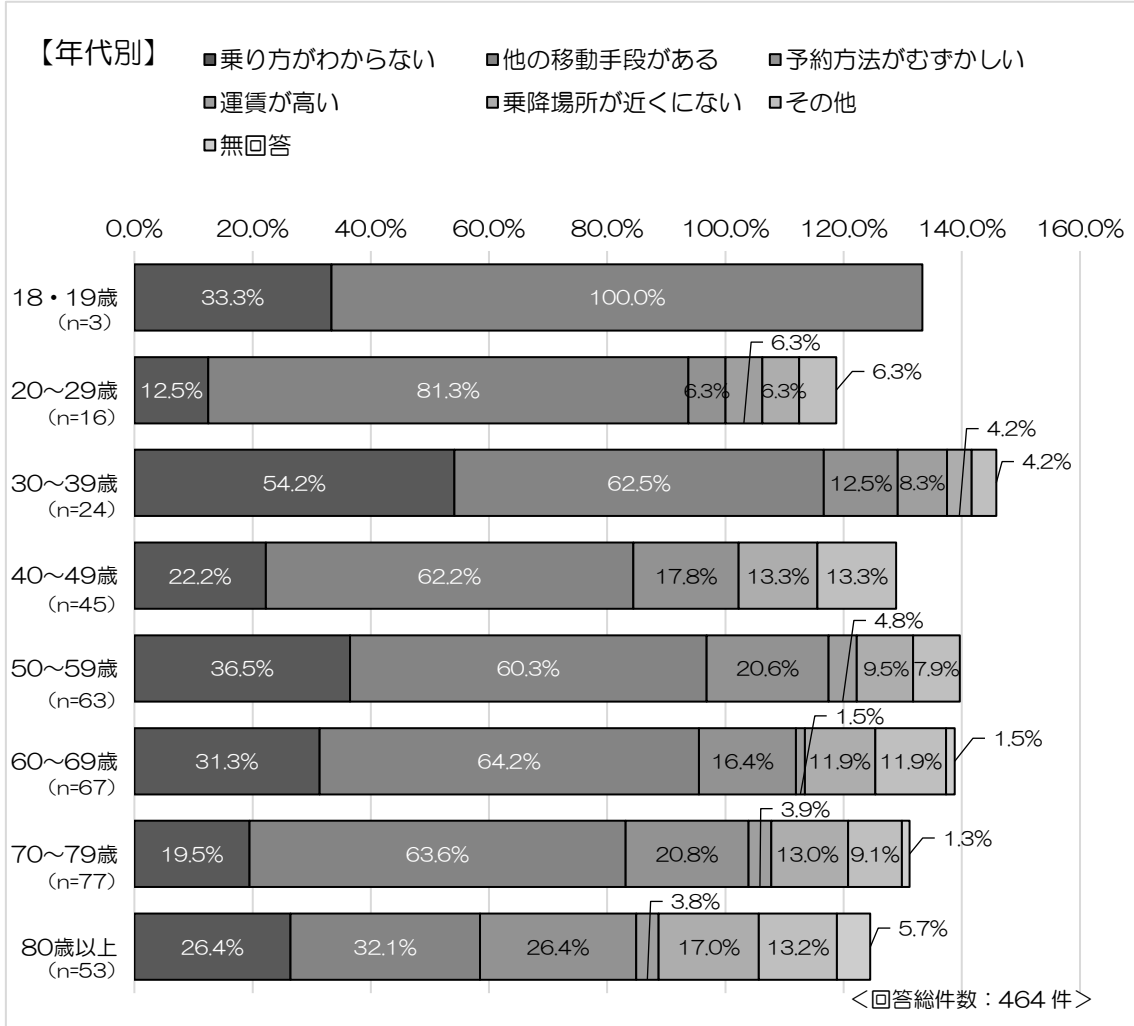




問 30	問 28 で、「知っているが利用したことはない」「聞いたことがある」とお答えの方へおたずねします。利用しなかった理由は何ですか。	複数回答
------	--	------

全体では「他の移動手段がある」が 59.2%、「乗り方が分からない」が 28.4%「予約方法がむずかしい」が 19.0%と続きました。年代別（18 歳・19 歳を除く）では「他の移動手段がある」と回答した方の割合が「20～29 歳」で 81.3%と最も高くなっています。どの居住年数も、「乗り方が分からない」、「他の移動手段がある」と回答された割合が最も多く、また、性別では大きな差異は見られませんでした。



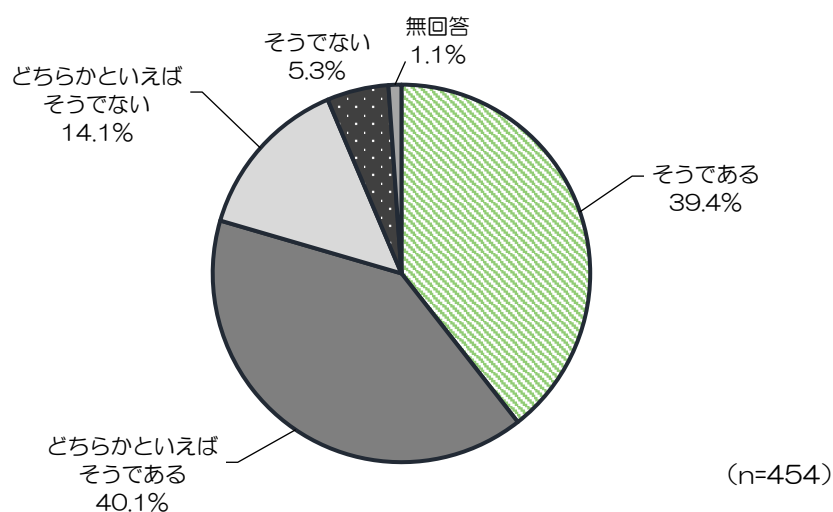


問 31

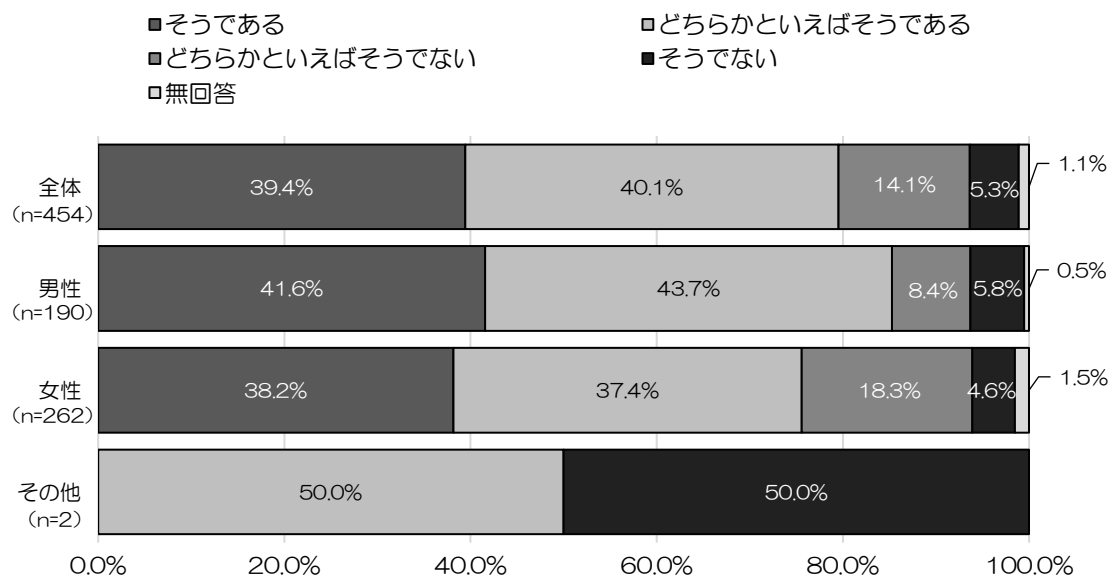
あなたは、生野のまちに愛着を感じ、これからも住み続けたいと思いますか。

単一回答

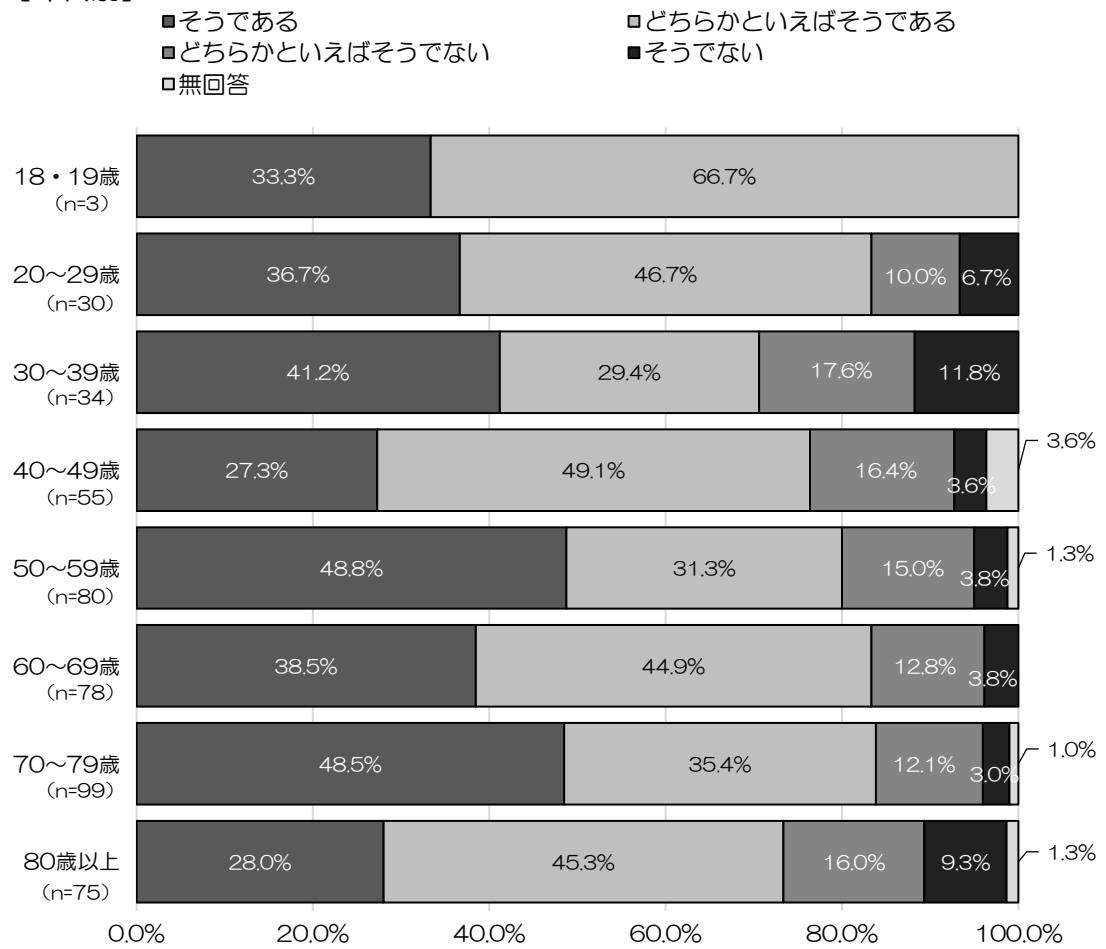
全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」でその割合は 40.1%でした。「そうである」と合わせ、肯定的な意見の割合は 79.5%となり、魅力あるまちだと感じている方はほぼ8割という結果となりました。どの年代でも、肯定的意見の割合が最も高い結果となりました。性別による違いは少なく、また居住年数が長いほど肯定的な意見の割合が高くなっています。



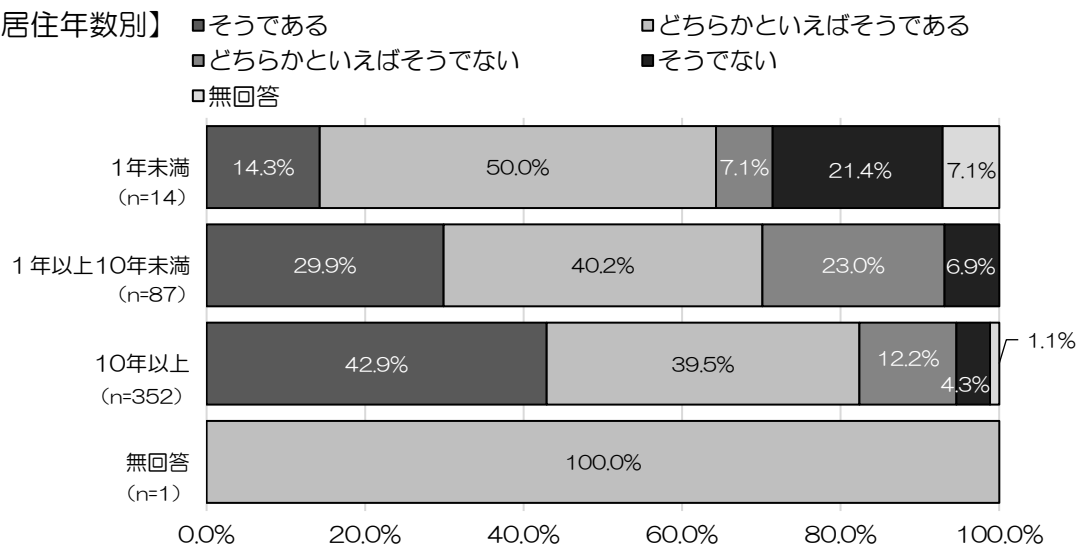
【性別】



【年代別】



【居住年数別】

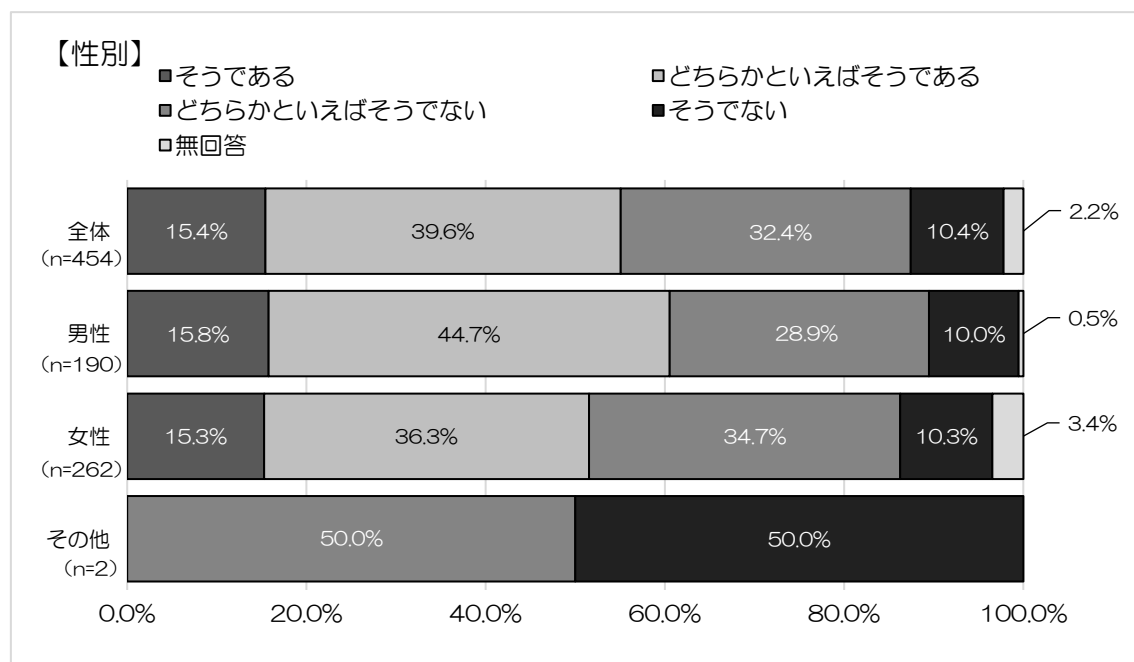
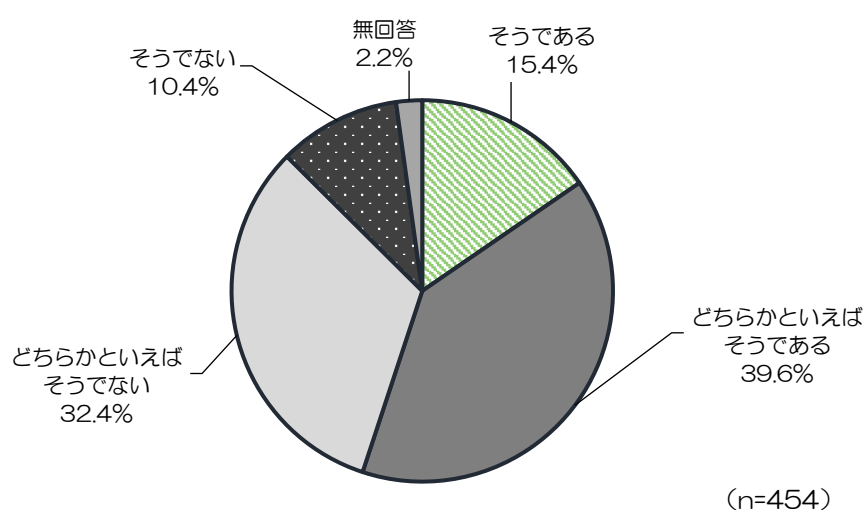


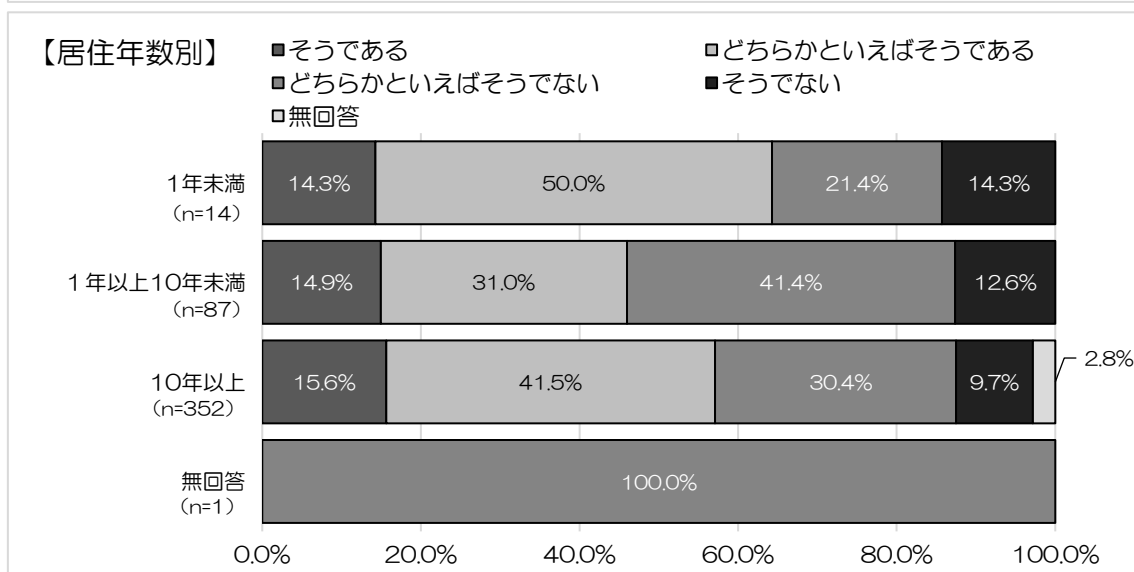
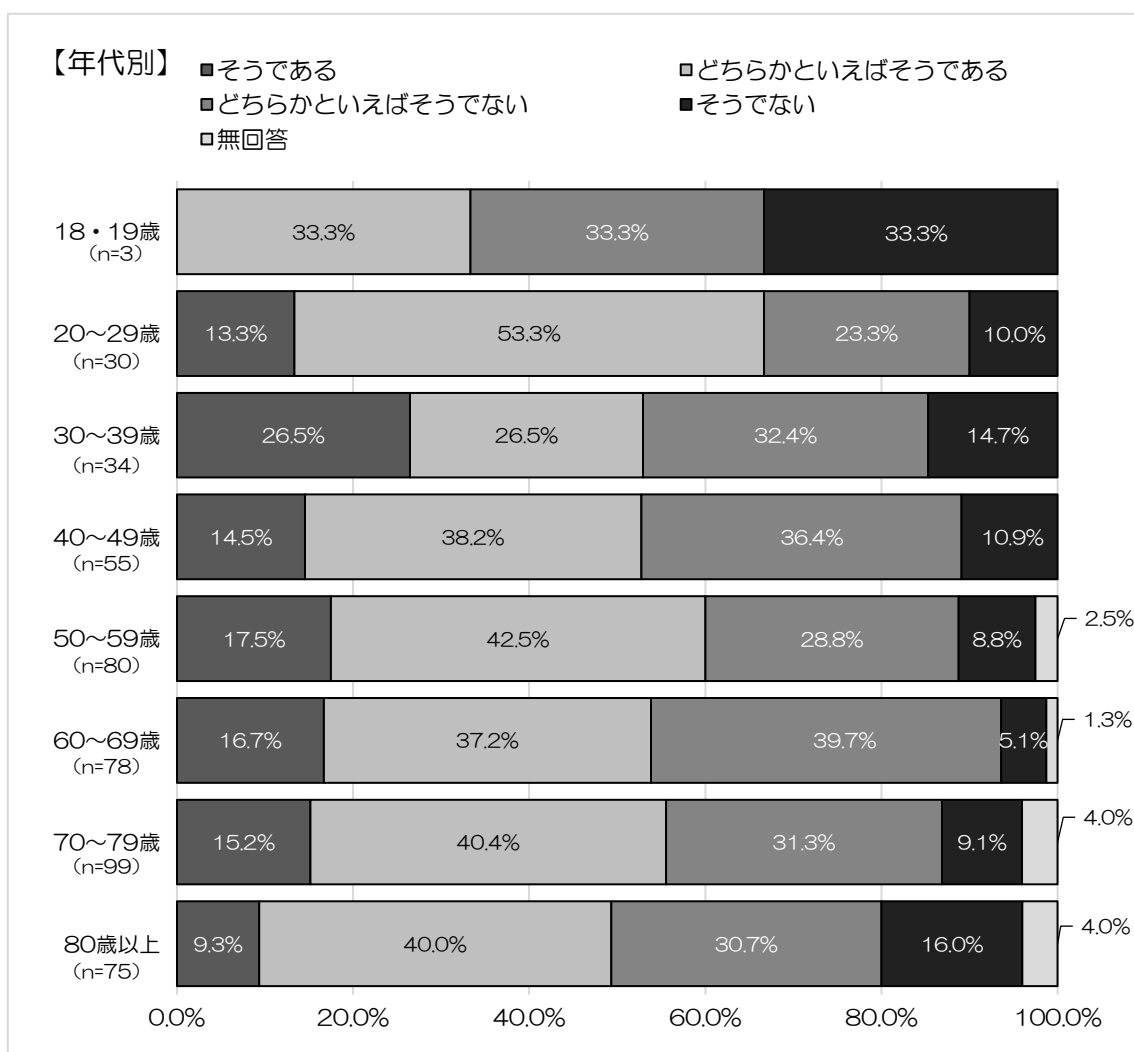
問 32

あなたは、生野のまちが「訪れたい、住みたい」と感じられるような魅力あるまちだと感じますか。

単一回答

全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」でその割合は 39.6%でした。「そうである」と合わせ、肯定的意見の割合は 55.0%となり、半数以上の方が魅力あるまちだと感じている結果となりました。年代別では、肯定的意見の割合が最も高かった年代は「20～29 歳」で 66.6%となりました。居住年数別では「1 年以上 10 年未満」でやや肯定的な意見が少なく、否定的な意見が 54.0%と半数を超えています。





問 33

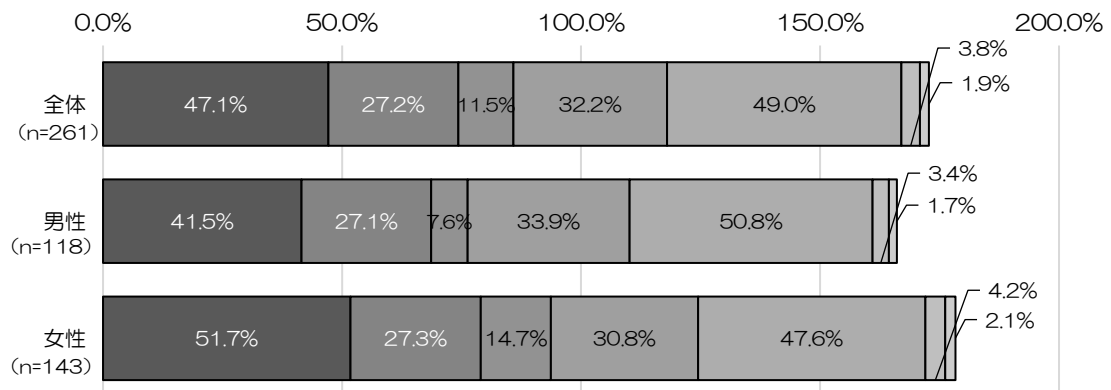
問 32 で「そうである」「どちらかといえばそうである」とお答えの方におたずねします。そのように感じる理由は何ですか。

複数回答

全体では、「交通の便がよい」が49.0%、「人情味がある」が47.1%と多く、合わせると53.7%でした。年代によっては「人情味がある」が最大になることもありました。性別、居住年数別では大きな差異は見られませんでした。

【性別】

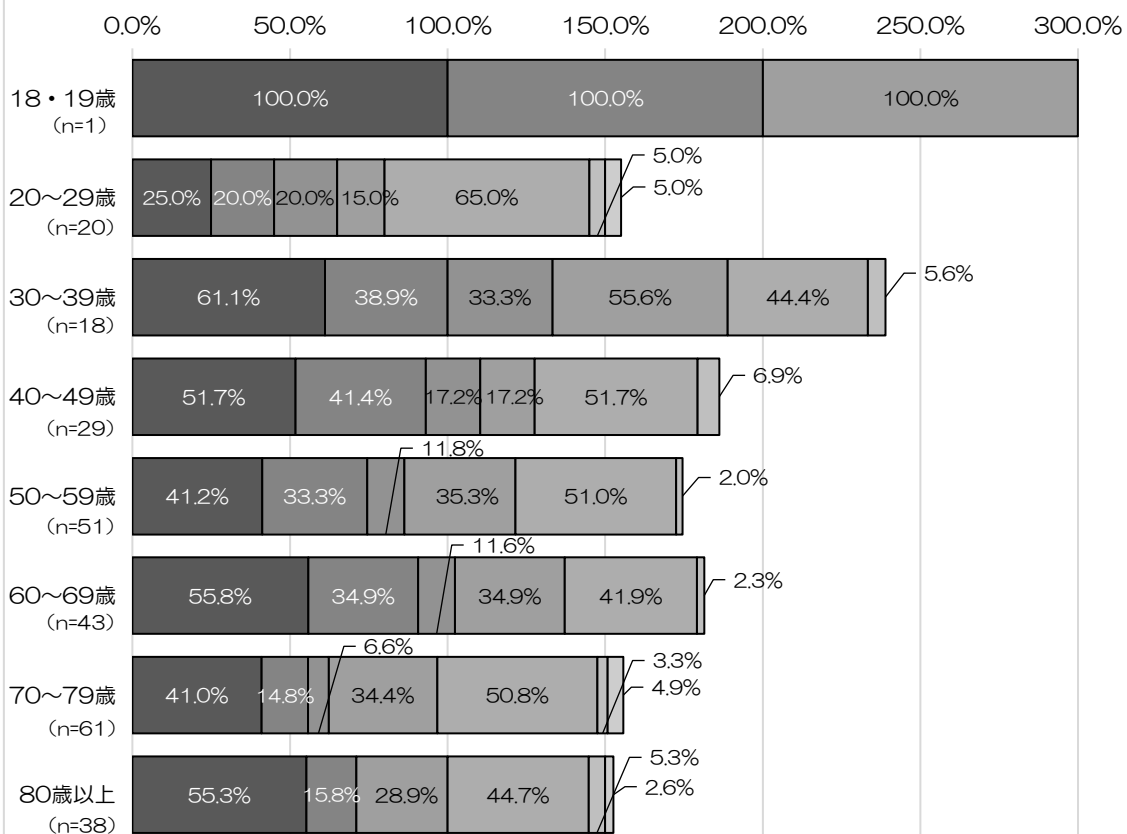
- 人情味がある ■ 国際色豊か ■ 子育てしやすい ■ 物価が安い
- 交通の便がよい ■ その他 ■ 無回答



<回答総件数：451 件>

【年代別】

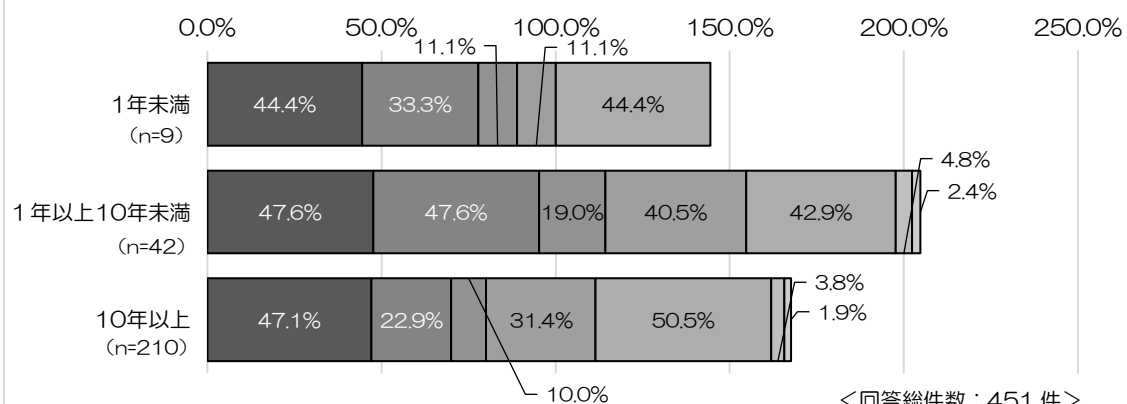
■人情味がある ■国際色豊か ■子育てしやすい ■物価が安い
 ■交通の便がよい ■その他 ■無回答



<回答総件数：451件>

【居住年数別】

■人情味がある ■国際色豊か ■子育てしやすい ■物価が安い
 ■交通の便がよい ■その他 ■無回答



<回答総件数：451件>

問 34	問 32 で「どちらかといえばそうでない」「そうでない」と回答された方におたずねします。そのように感じる理由は何ですか。具体的な理由をご記入ください。	自由記述
------	---	------

生野区を住みたいと感じられるような魅力あるまちだと感じない理由について、157 名の方から 166 件の回答がありました。

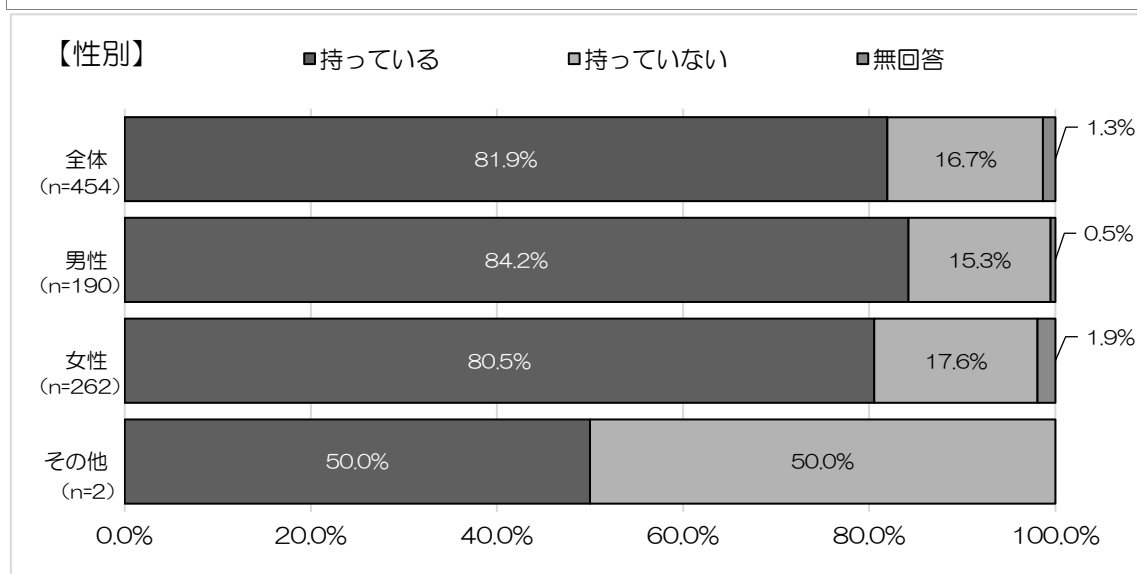
主な内容	件数
マナーが悪い・品がない	27
外国人が多く不安	23
街がきれいでない・雑然としている・窮屈である	15
治安が悪い	15
イメージが悪い	13
商業施設が少ない	11
魅力・特徴がない	11
交通が不便	10
なんとなく・わからない	6
高齢化・少子化	6
住民の交流がない・人間関係がよくない	6
活気がない・住環境がよくない	5
道路整備が悪い	5
空き家が多い	2
子育てしにくい・不安	2
自然・緑が少ない	2
交通マナーが悪い	1
公園・子どもの遊び場がない	1
公共施設が不便	1
行政・区役所の対応が悪い	1
不衛生	1
その他	2
合計	166

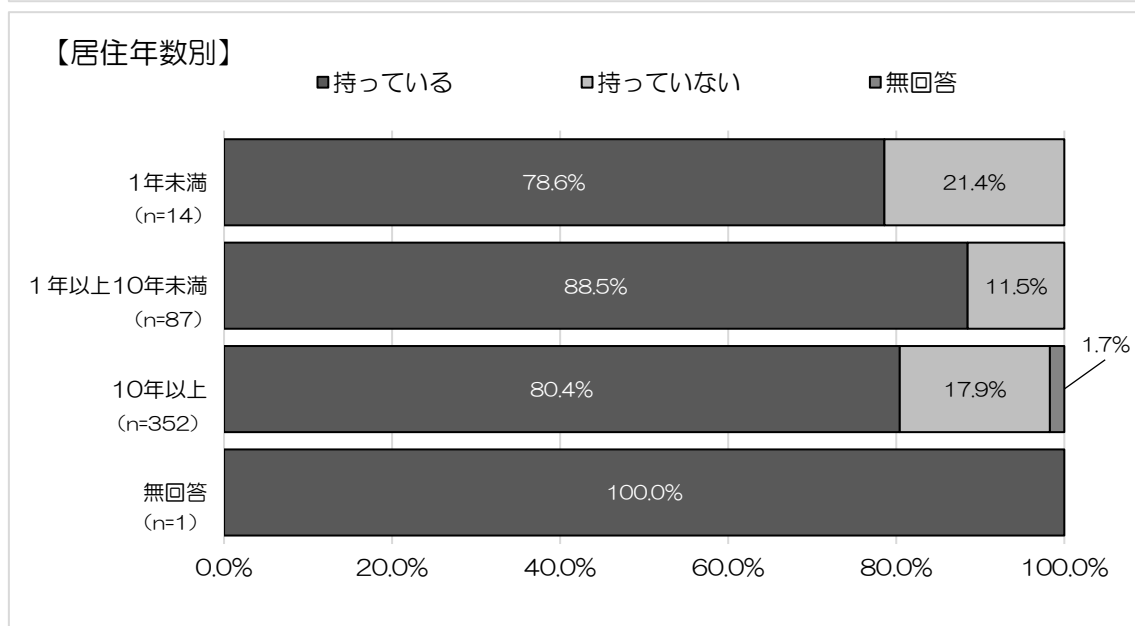
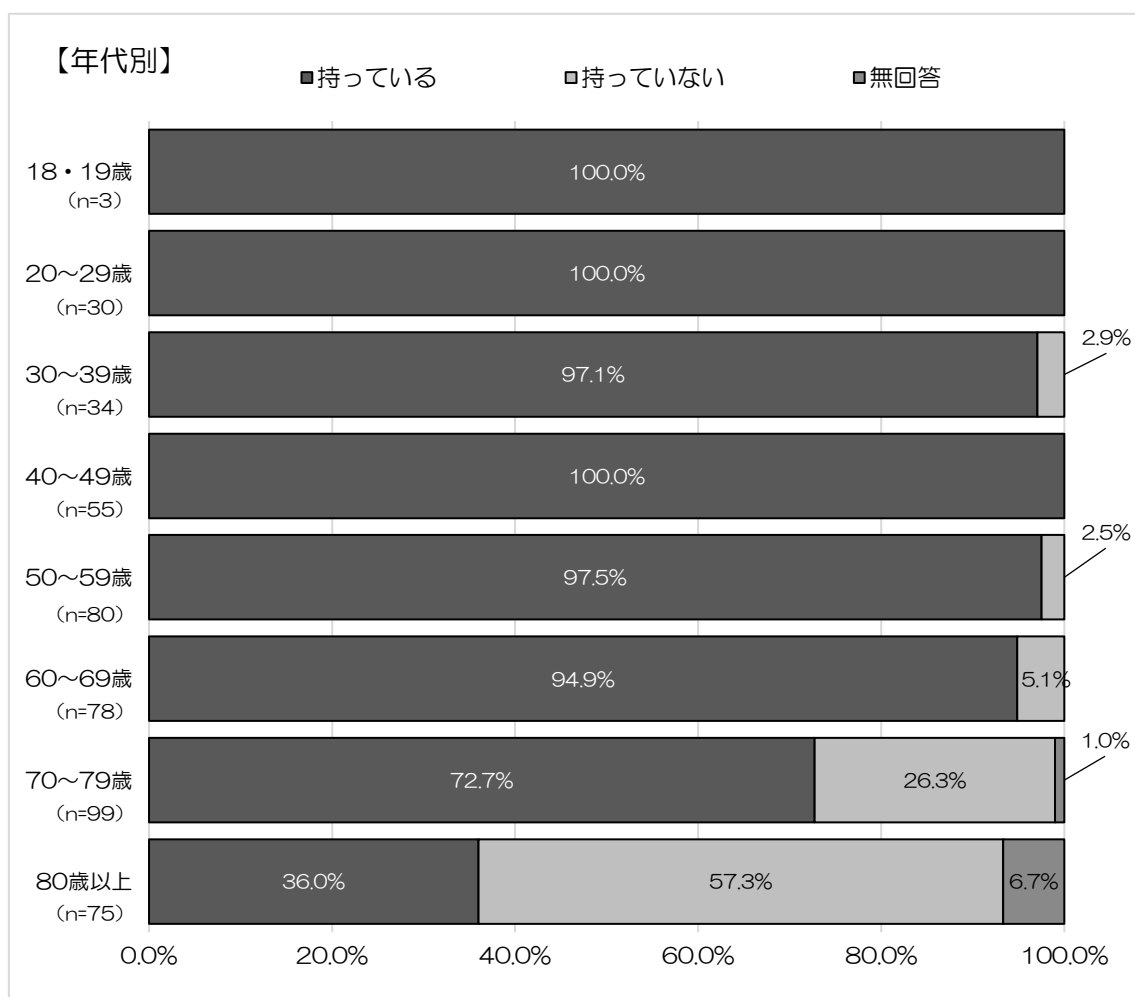
問 35

あなたは、スマートフォンを持っていますか。また、持っていない場合、その理由は何ですか。

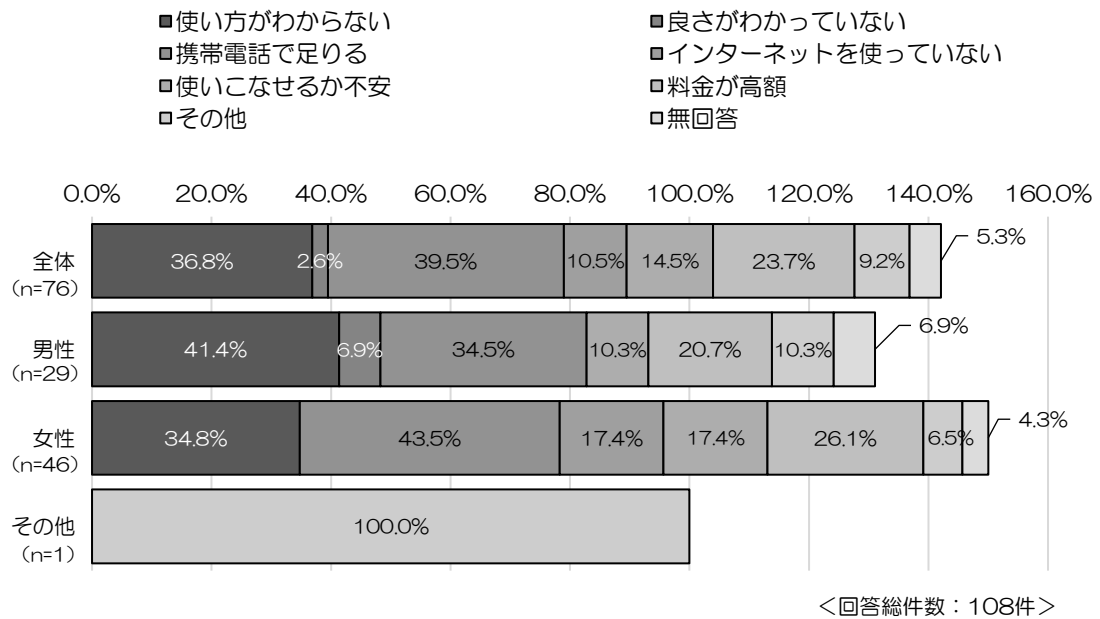
複数回答

全体の 81.9%がスマートフォンを持っていました。年代別では 70 代以上で保有率が下がり「80 歳以上」の保有率は 36.0%でした。男性より女性の保有率が若干低く、また居住歴「10 年以上」では保有率が 80.4%でした。（高齢者の比率が上がるためと考えられます）スマートフォンを持っていない理由は「携帯電話で足りる」、「使い方がわからない」、「料金が高額」という回答が多くありました。

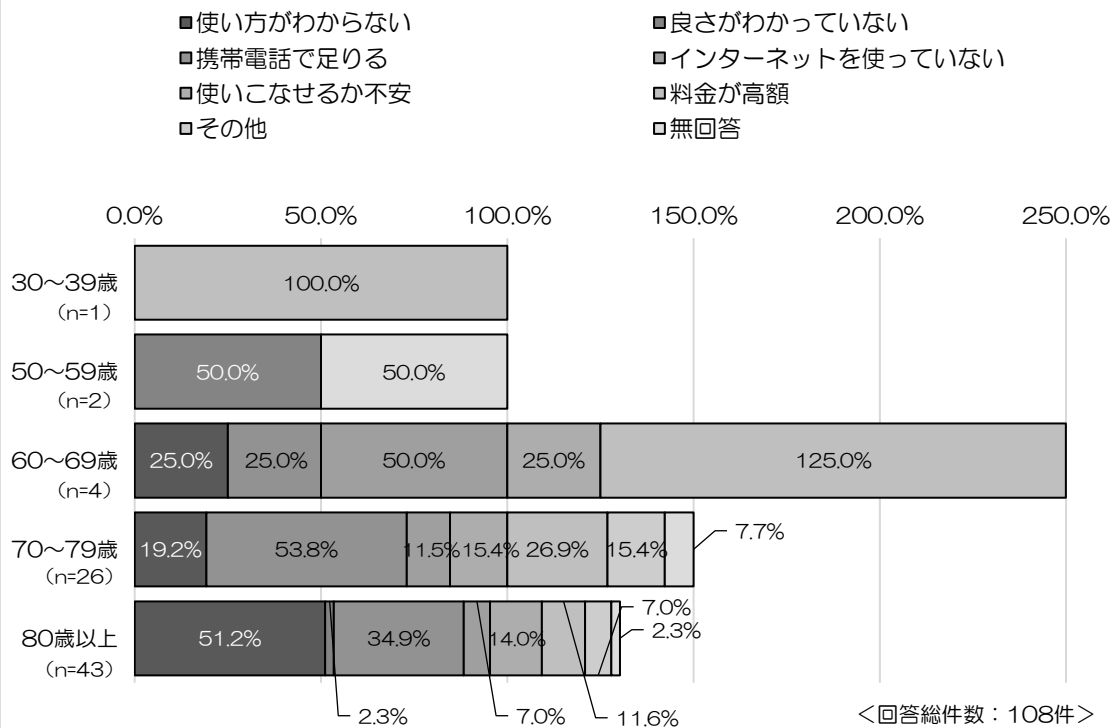




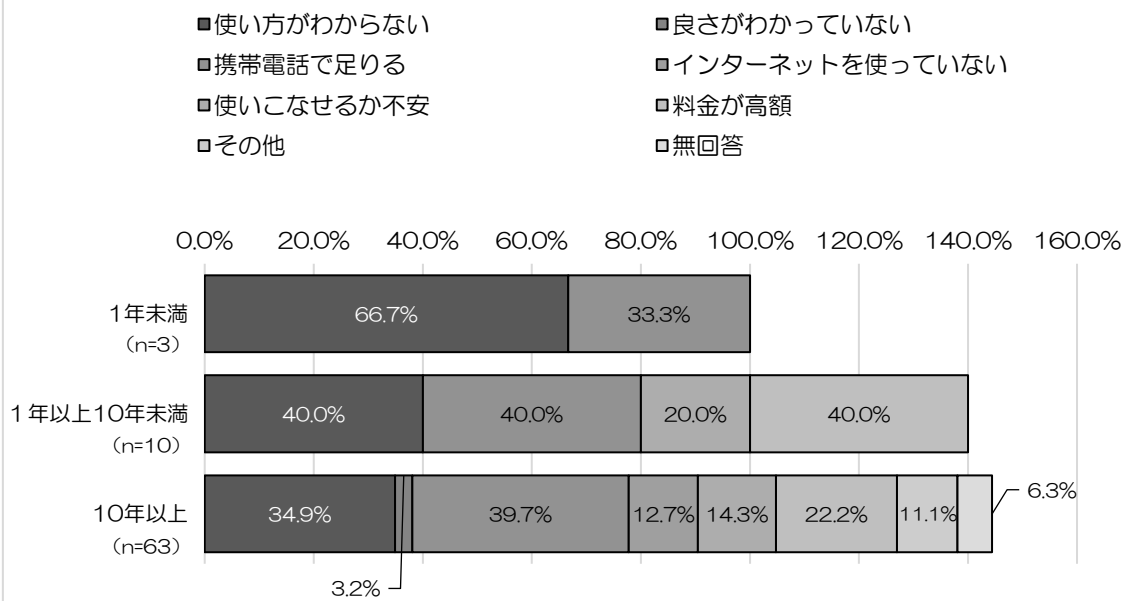
★スマートフォンを持たない理由【性別】



★スマートフォンを持たない理由【年代別】



★スマートフォンを持たない理由【居住年数別】



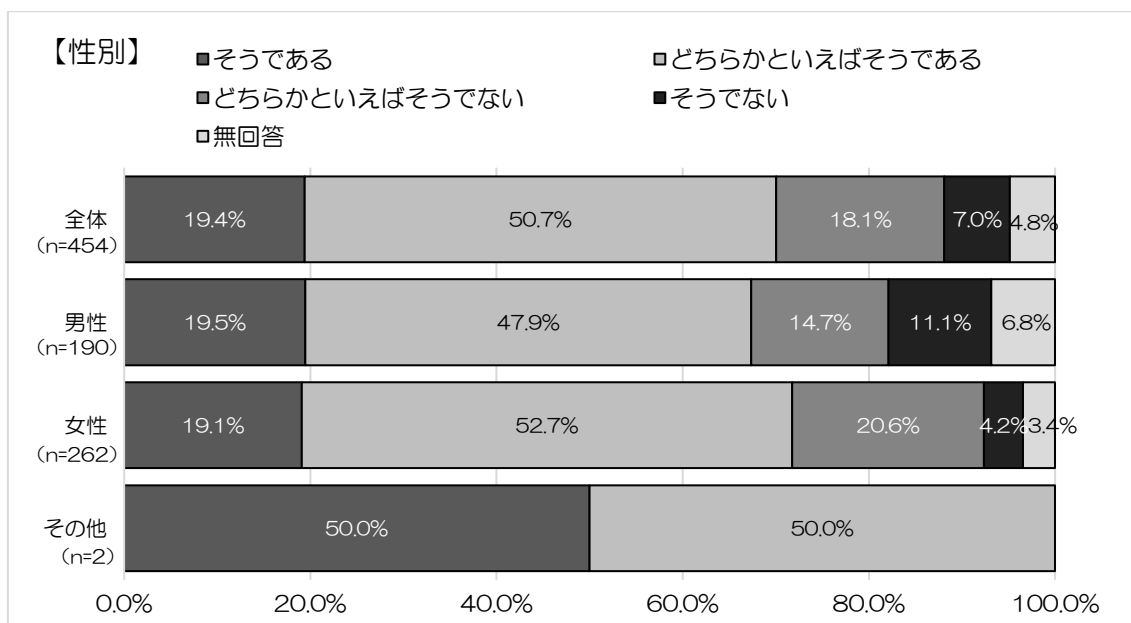
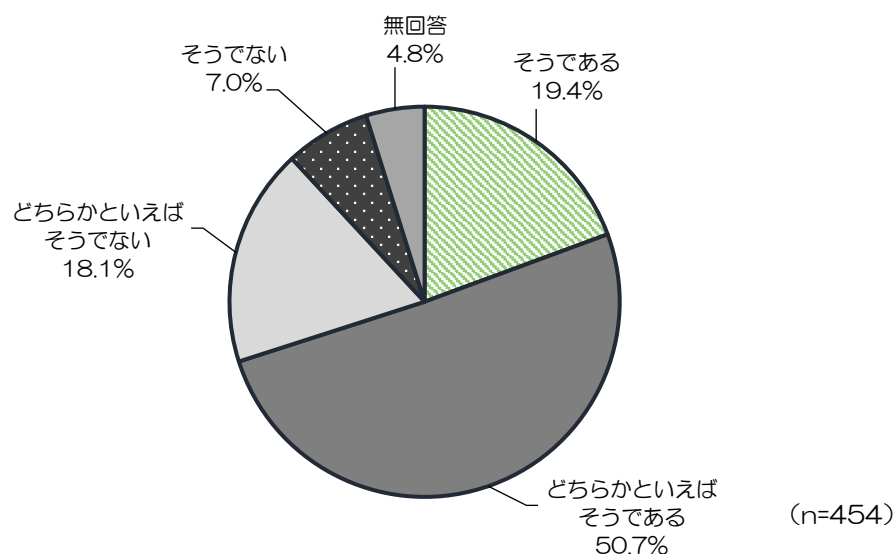
<回答総件数：108件>

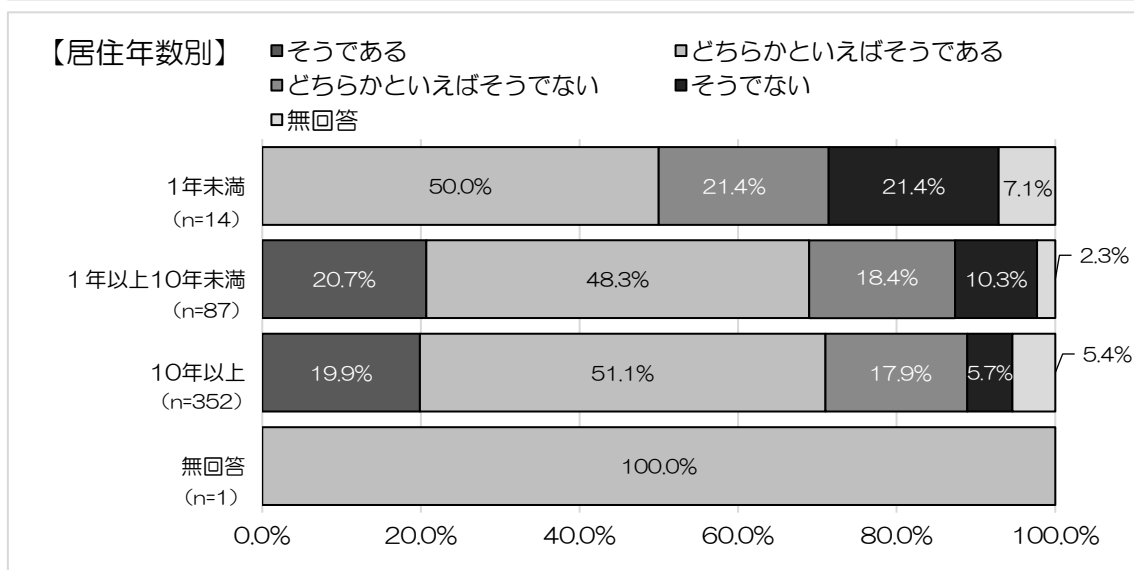
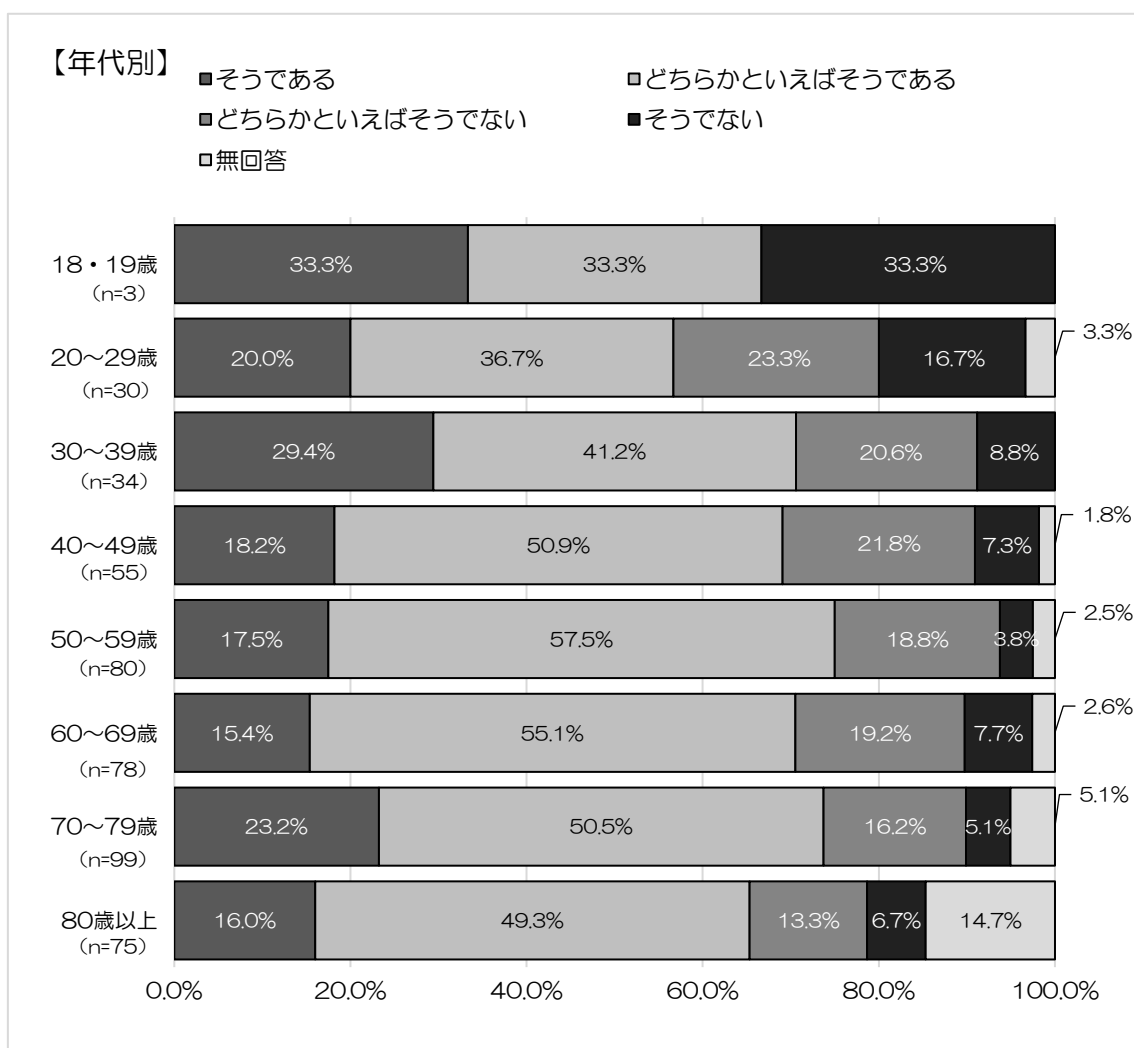
問 36

あなたは、広報紙「広報いくの」は、区民の皆さんにとって魅力ある内容になっていると感じますか。

単一回答

全体で最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」で、その割合は50.7%でした。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は70.1%となり、広報紙「広報いくの」が魅力ある内容になっていると感じられていることがわかります。性別、年代別、居住年数別の傾向の差は見られませんでした。





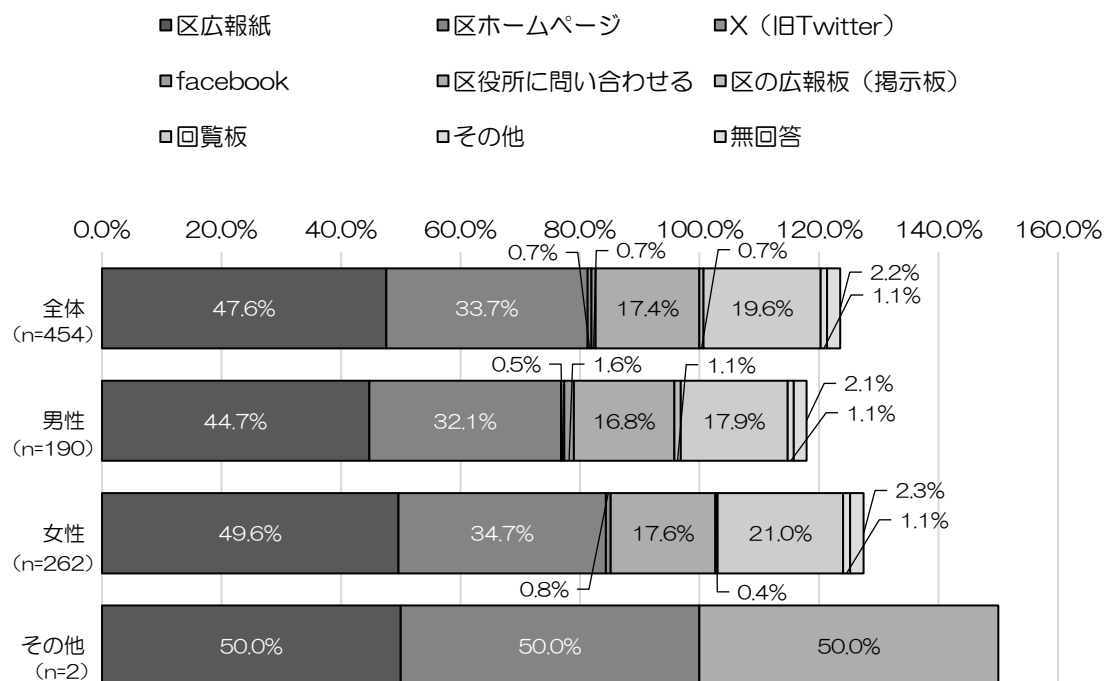
問 37

あなたが生野区役所からの情報を知りたい場合、どこから情報を得ますか。

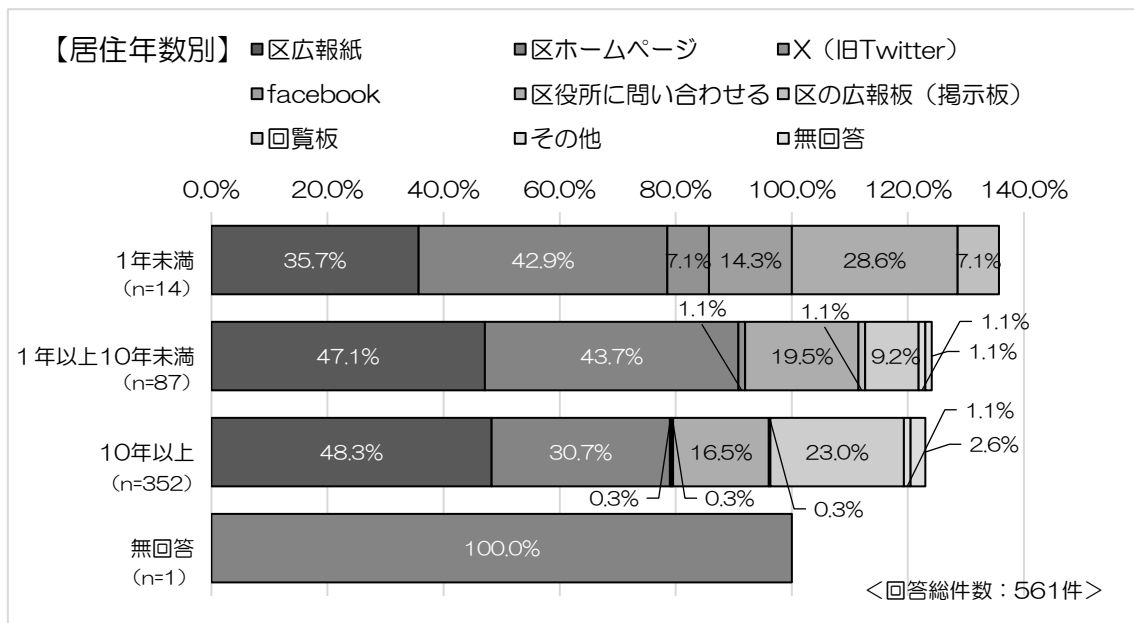
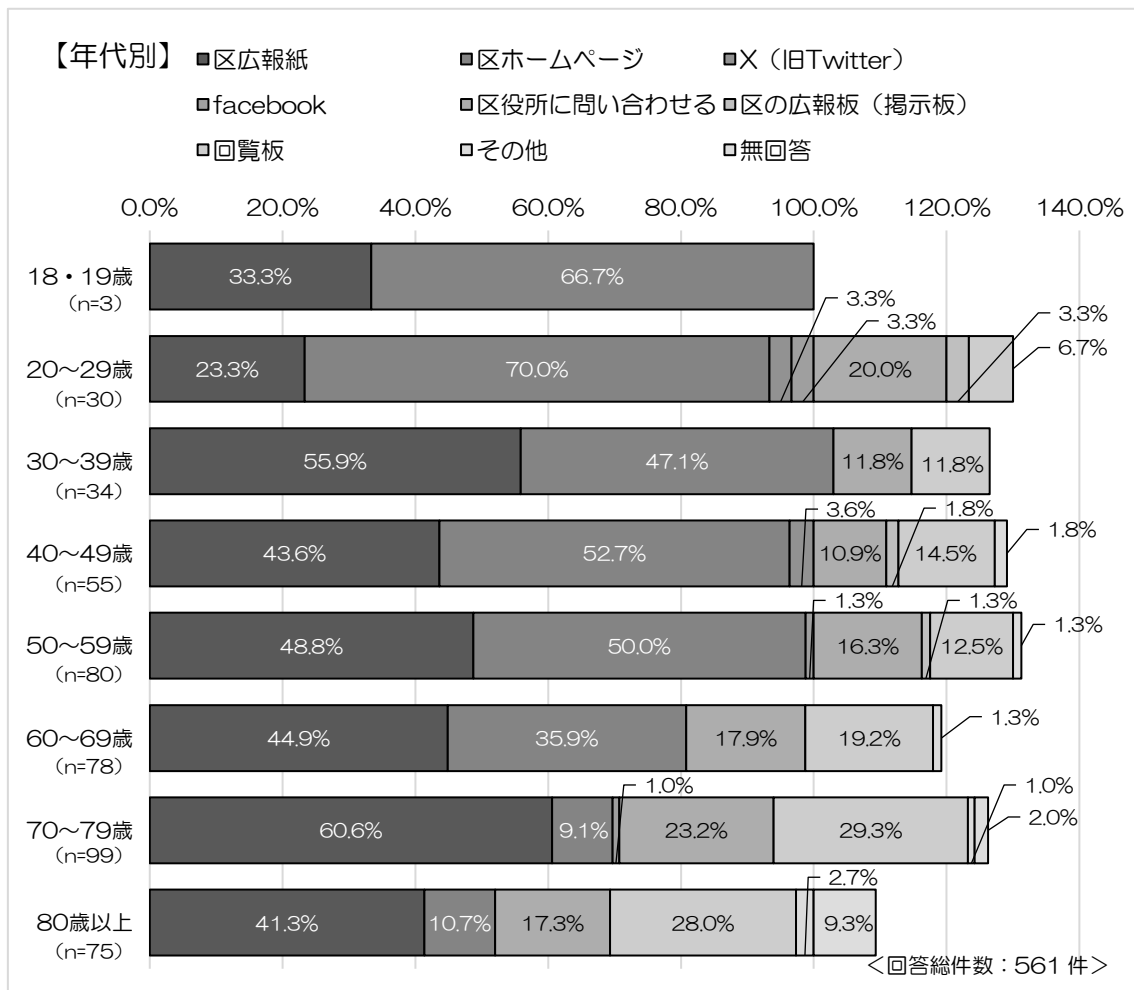
複数回答

全体では、最も多かった回答は「区広報紙」で、その割合は47.6%でした。次いで「区ホームページ」の33.7%という結果となりました。男女ともに「区広報紙」がトップで、年代別では60歳以上で「区広報紙」が「区ホームページ」を上回ります（30～39歳を除く）。居住年数別では居住年数が長いほうが「区広報紙」の比率が高くなります。

【性別】



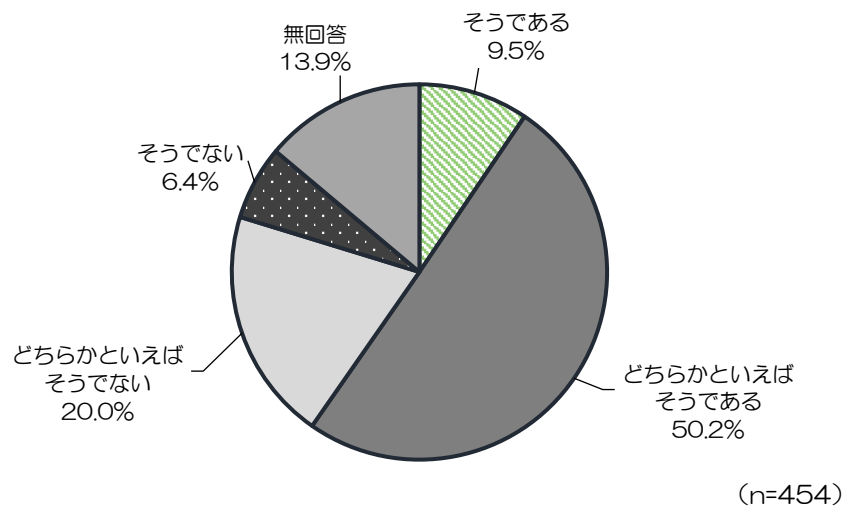
<回答総件数：561件>

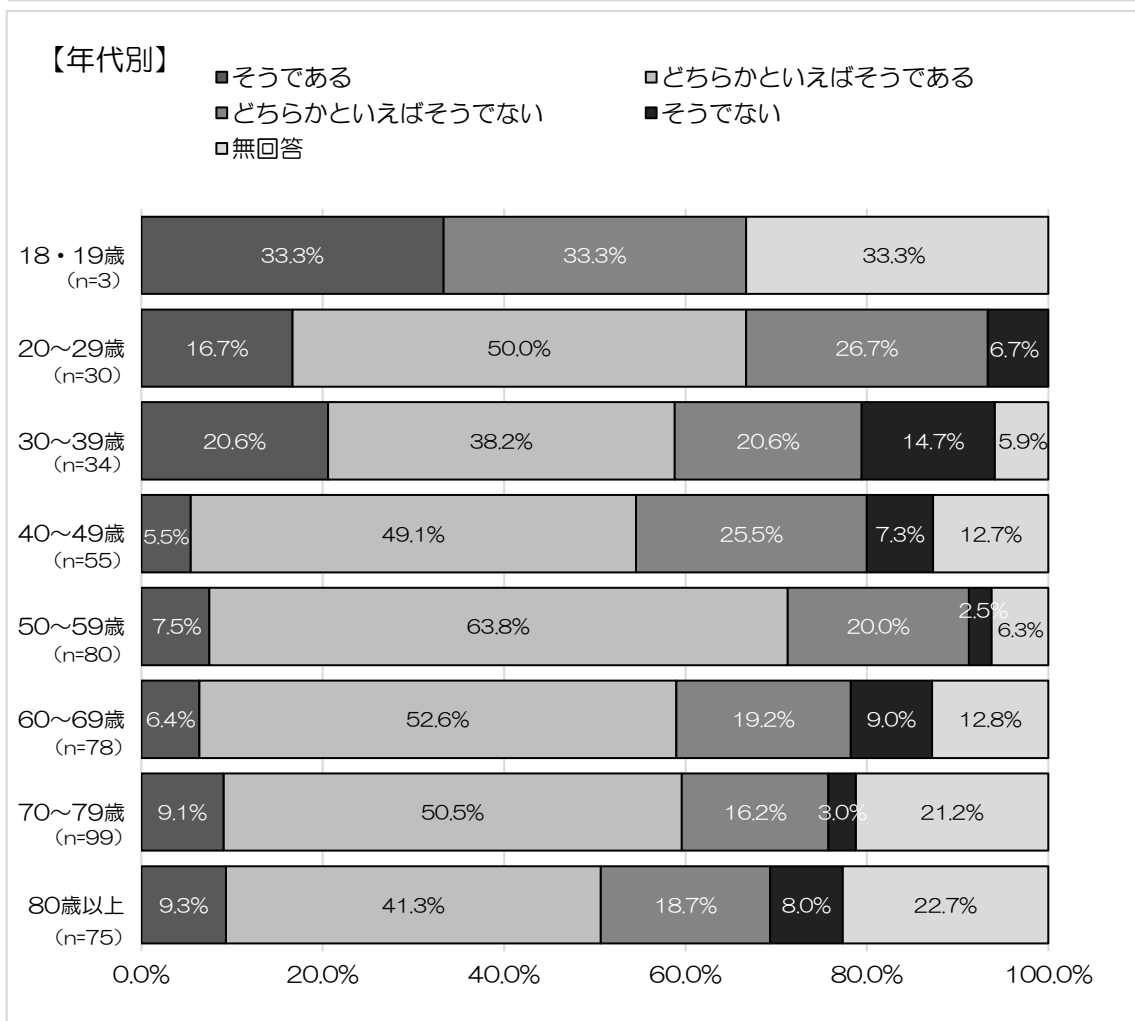
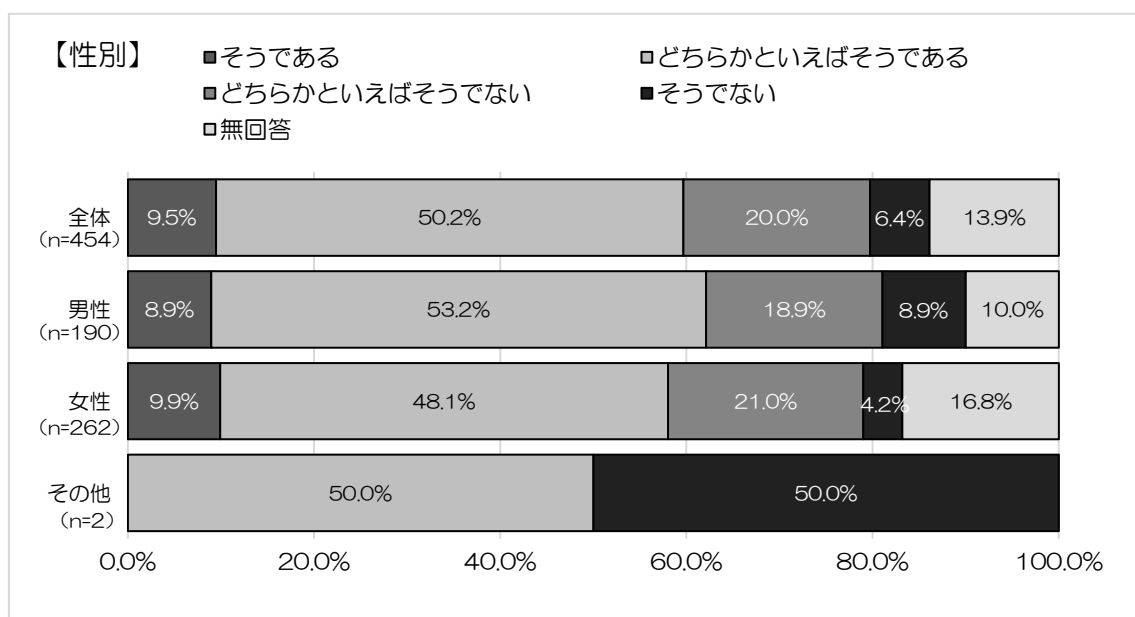


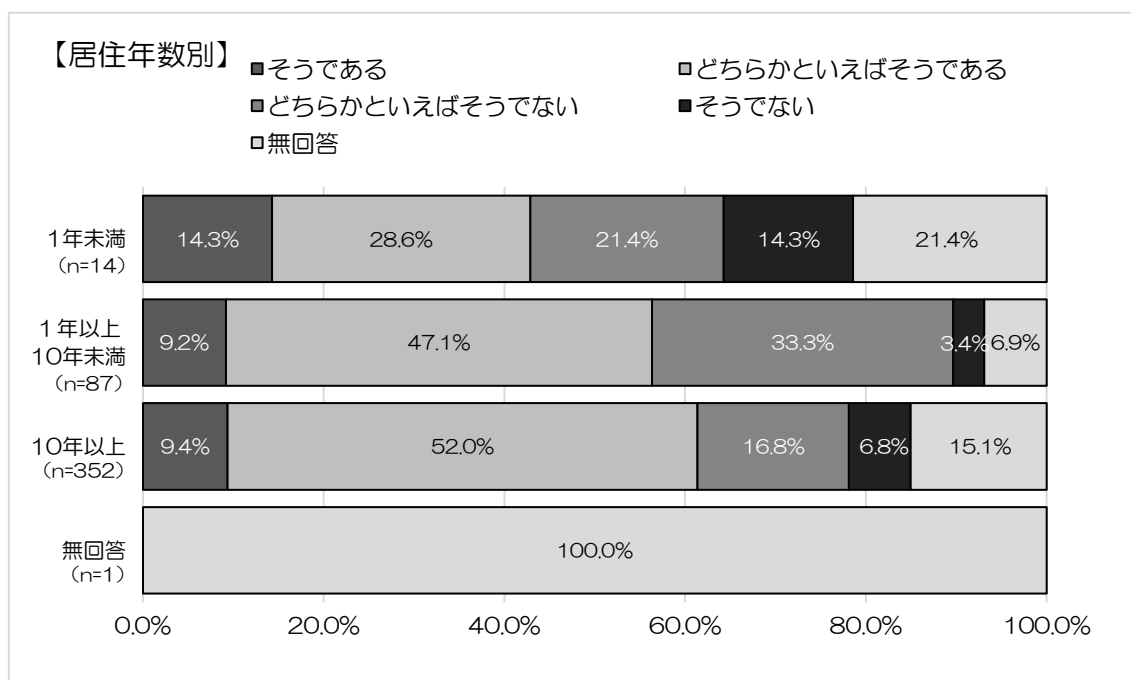
6. 子育て・教育について

問 38	あなたは、生野区が子育てしやすいまちと感じますか。	単一回答
------	---------------------------	------

全体では、9.5%が「そうである」と答え、「どちらかといえばそうである」と合わせて6割近くの方が肯定的な意見でした。性別では男女差で大きな違いは見られません。年代別では39歳までの区分は「そうである」の割合が高く、40歳以上と大きな差があります。居住年数別では、居住年数が長いほうが「どちらかといえばそうである」と答えた割合が上がっていきます。





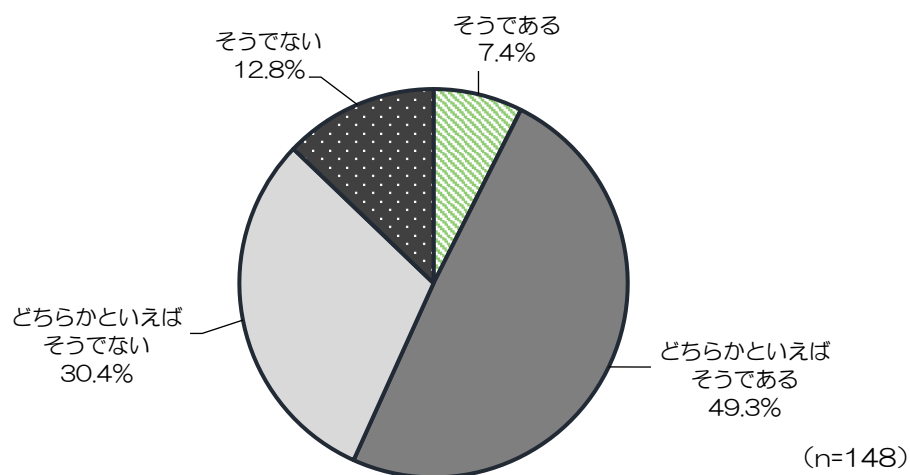


問 39

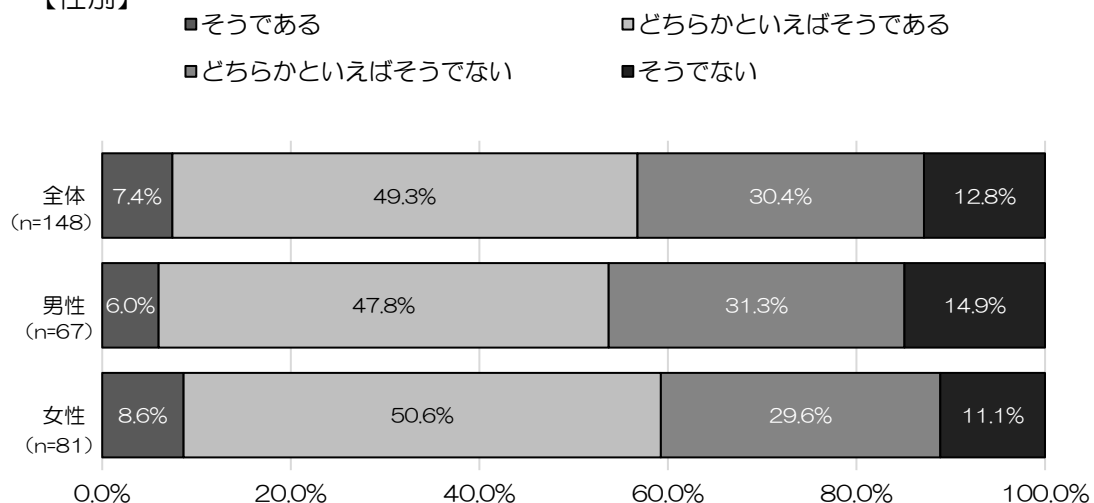
現在、子育てに関わっている方にお聞きます。生野区では、子育てに関する情報が入りやすいと感じていますか。

単一回答

全体では「そうである」が7.4%で、「どちらかといえばそうである」が最も多く49.3%、合わせて56.7%が肯定的な意見でした。性別では肯定的な意見は女性の方がやや多く59.2%、年代別では「30～39歳」で肯定的な意見が多く65.2%、また居住年数別では「1年以上10年未満」で61.0%が肯定的な意見でした。

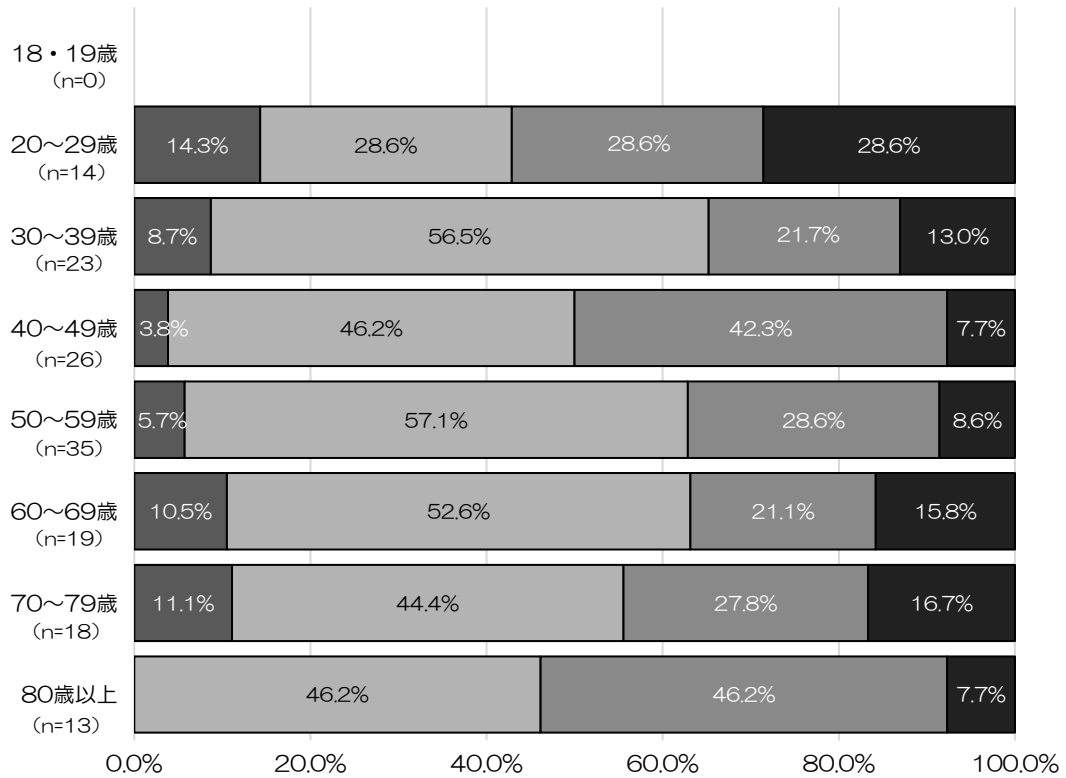


【性別】



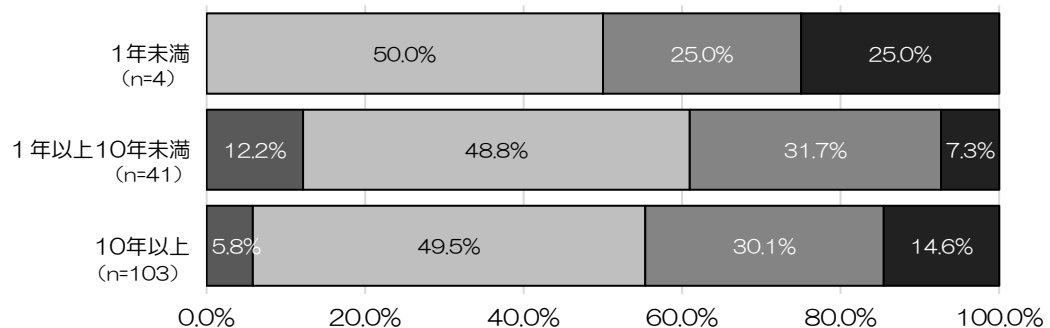
【年代別】

■そうである □どちらかといえばそうである
 □どちらかといえばそうでない ■そうでない



【住居年数別】

■そうである □どちらかといえばそうである
 □どちらかといえばそうでない ■そうでない

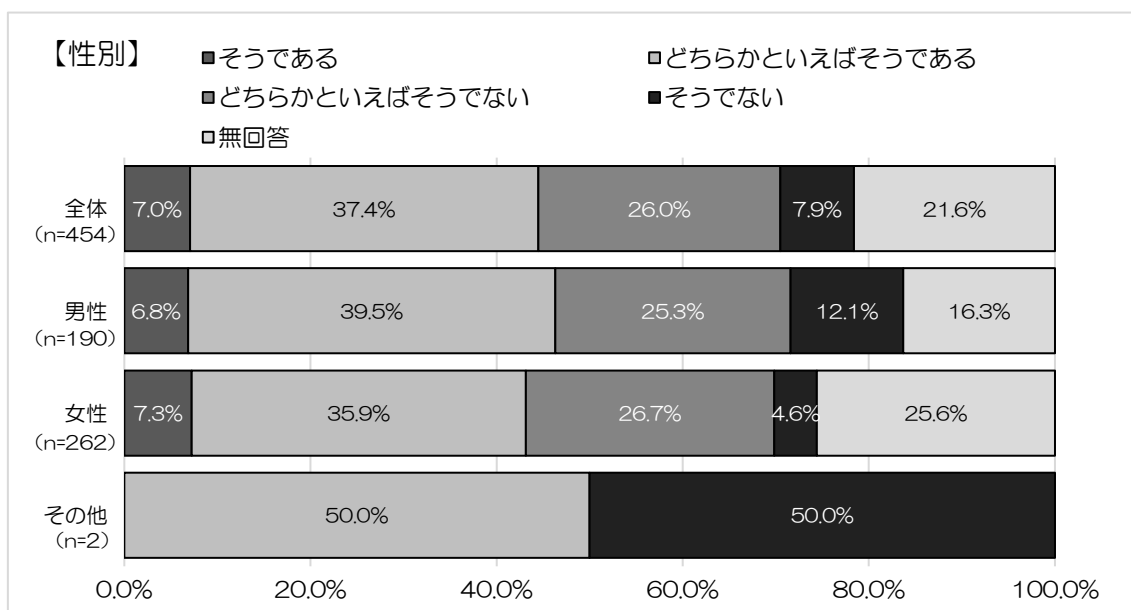
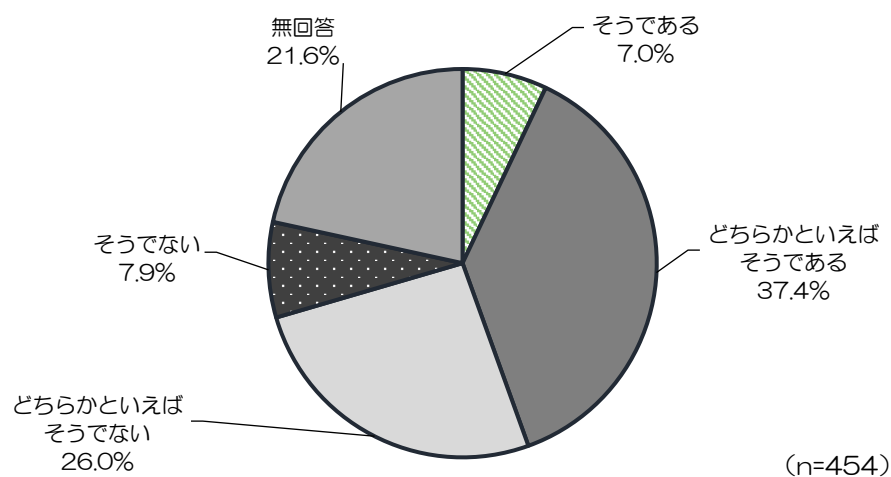


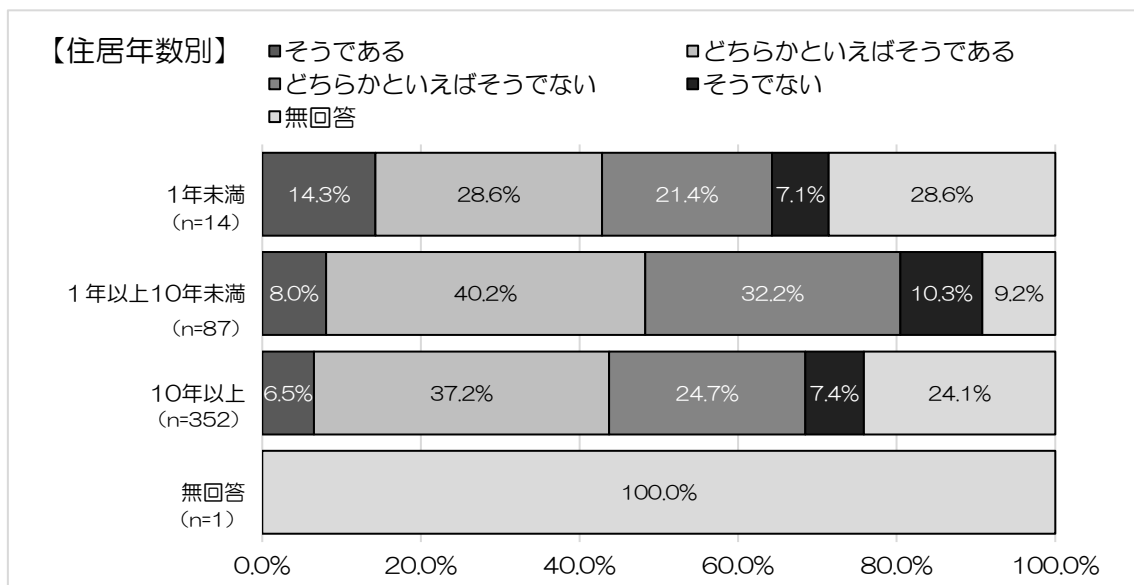
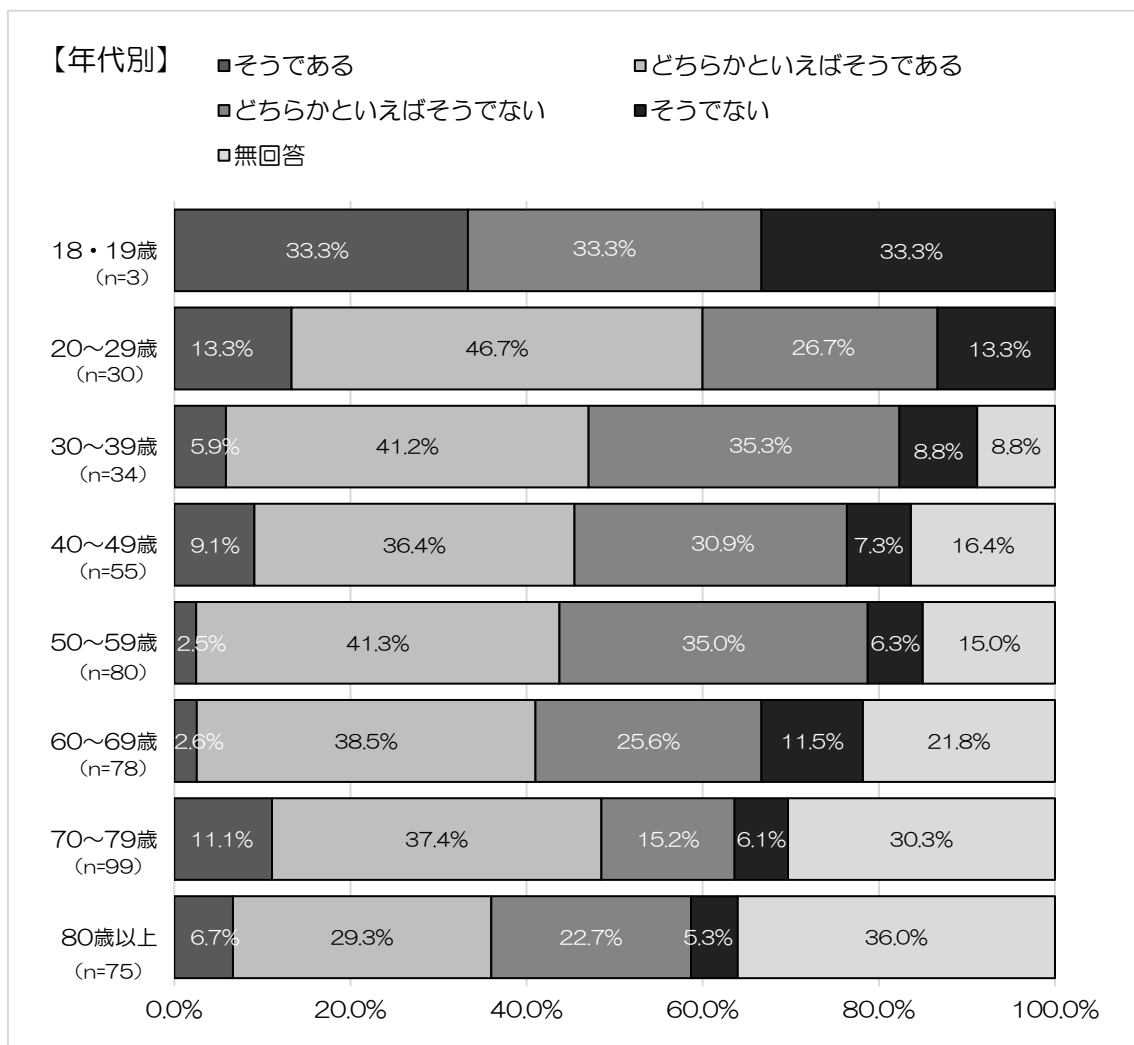
問 40

あなたは、区内の各小中学校で、地域との連携や学校独自の取組みなど特色ある学校づくりが進められていると感じますか。

単一回答

全体では「どちらかといえばそうである」と回答された方の割合が最も多く 37.4%でした。「そうである」と合わせた肯定的意見の割合は 44.4%と半数を下回っています。性別では、大きな傾向の違いはなく、年代別では、おおむね年代の向上とともに肯定的な意見の割合が低下しています。また居住年数別では居住年数が長いほど「そうである」の割合が低下しています。





問 41

あなたは、生野区では子どもや大人が学校だけでなく地域でさまざまな学習、体験や交流ができる機会があると感じますか。

単一回答

全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」で割合は 33.5%でした。「そうである」と合わせた肯定的な意見の割合と、「どちらかといえばそうでない」と「そうでない」の合計の割合は、ほぼ同程度でした。性別では男女の差に大きな違いは見られません。年代別ではおおむね年齢とともに肯定的な意見の割合が低下しています。居住年数別では「1 年以上 10 年未満」で肯定的な意見の割合が最も高くなっています。

